

# 令和7年度第3回

## 新宿区

### 区政モニターアンケート報告書

- テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について
- テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて
- テーマ3 健康づくりについて
- テーマ4 ユニバーサルデザインについて
- テーマ5 区へのお問い合わせについて
- テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について



新宿区



# 目 次

I 調査の概要 .....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 集計・分析結果を読む際の注意点 .....	1
4 回答者の属性.....	2
II 調査の結果 .....	5
テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について .....	5
(1) 歌舞伎町に行く目的.....	5
(2) 今後の、歌舞伎町への来街意向.....	7
(3) 歌舞伎町ルネッサンスの認知状況.....	10
(4) 歌舞伎町の印象の変化 .....	11
テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて .....	20
(1) 「女性の健康支援センター」の認知状況.....	20
(2) 女性の健康専門相談の認知状況.....	23
(3) 乳がん月間に実施している取組の認知状況 .....	25
テーマ3 健康づくりについて .....	26
(1) 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況.....	26
(2) 1日に食べる野菜料理の量.....	28
(3) 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つをそろえて食べること .....	30
(4) 運動の頻度 .....	32
(5) 運動の期間 .....	33
(6) 日常生活で体を動かす時間.....	36
(7) 現在の健康状態 .....	38
(8) 飲酒頻度.....	40
(9) 1日あたりの飲酒量.....	41
(10) 喫煙状況.....	44
(11) 睡眠での十分な休養.....	46
(12) 5つの生活習慣に気をつけると、がんになるリスクが大幅に低下すること .....	48
(13) かかりつけ歯科医の有無 .....	50
(14) こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について .....	52
(15) 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるか.....	54
(16) 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由 .....	56
(17) がんになった時に在宅で治療を受けながら生活をしていく際の相談先として 知っているもの .....	58
テーマ4 ユニバーサルデザインについて .....	60
(1) ユニバーサルデザインの認知状況.....	60
(2) ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの.....	62

(3) ユニバーサルデザインについて区に期待すること .....	64
<b>テーマ5 区へのお問い合わせについて.....</b>	<b>66</b>
(1) 「しんじゅくコール」の認知度 .....	66
(2) 「しんじゅくコール」利用の有無.....	68
(3) オペレーターの案内について .....	69
(4) 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の認知度.....	70
(5) 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用経験の有無 .....	72
(6) 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用目的 .....	74
(7) 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」による必要な情報の取得について.....	75
<b>テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について.....</b>	<b>76</b>
(1) 「新宿区区民の声委員会」の認知度 .....	76
(2) 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無.....	77
<b>III 資料（調査票） .....</b>	<b>78</b>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

## 2 調査の概要

《第3回》	調査対象	区政モニター 992名
	調査内容	テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について
		テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて
		テーマ3 健康づくりについて
		テーマ4 ユニバーサルデザインについて
		テーマ5 区へのお問い合わせについて
		テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について
	調査期間	令和7年10月1日～令和7年10月15日
調査方法	郵送配布・郵送回収	
回答数	882票（回収率88.9%）	

## 3 集計・分析結果を読む際の注意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 「MT」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
- 回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。
- 複数の選択肢をあわせた項目の構成比（%）は、その選択肢の選択者数を基数で除して算出している。そのため、各選択肢の構成比を足し上げた数値と差が生じることがある。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

(例)	(表現)
80.1～80.9%	⇒ 約8割
81.0～82.9%	⇒ 8割強
83.0～84.9%	⇒ 8割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒ 8割台半ば
86.0～87.9%	⇒ 8割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒ 9割近く
89.0～89.9%	⇒ 9割弱

## I 調査の概要

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期：40歳未満の独身者

家族形成期：子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期：64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人  
(生計を別にした子どもがいる人を含む)

高齢期：65歳以上の人(生計を別にした子どもがいる人を含む)

その他：40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

### 4 回答者の属性

#### (1) 居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 四谷	103	11.7	6 戸塚	104	11.8
2 簗笥町	123	13.9	7 落合第一	93	10.5
3 榎町	97	11.0	8 落合第二	85	9.6
4 若松町	80	9.1	9 柏木	63	7.1
5 大久保	94	10.7	10 角筈・区役所	40	4.5
			計	882	100.0%

#### (2) 性別

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 男性	337	38.2	3 自由回答	1	0.1
2 女性	481	54.5	無回答	63	7.1
			計	882	100.0%

#### (3) 年齢

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 18~19歳	5	0.6	9 55~59歳	79	9.0
2 20~24歳	18	2.0	10 60~64歳	84	9.5
3 25~29歳	29	3.3	11 65~69歳	70	7.9
4 30~34歳	53	6.0	12 70~74歳	55	6.2
5 35~39歳	51	5.8	13 75~79歳	60	6.8
6 40~44歳	78	8.8	14 80歳以上	72	8.2
7 45~49歳	95	10.8	無回答	10	1.1
8 50~54歳	123	13.9	計	882	100.0%

(4) 職業

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 会社員・団体職員	344	39.0	5 学生	19	2.2
2 会社役員・団体役員	49	5.6	6 専業主婦・主夫	110	12.5
3 パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など	120	13.6	7 無職	137	15.5
			8 その他	8	0.9
4 自営業、自由業	81	9.2	無回答	14	1.6
			計	882	100.0%

(5) 職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合 (%)
1 新宿区内	232	37.8
2 新宿区外	378	61.7
無回答	3	0.5
計	613	100.0%

(6) 同居している家族等

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 子	324	36.7	6 兄弟姉妹	30	3.4
2 妻または夫	523	59.3	7 その他	25	2.8
3 親	83	9.4	8 ひとり暮らし	204	23.1
4 祖父母	1	0.1	無回答	16	1.8
5 孫	12	1.4	回答総計	1218	138.1%
			計	882	100.0%

(7) 同居者数

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1人	313	47.3	4 4人	24	3.6
2 2人	187	28.2	5 5人以上	15	2.3
3 3人	120	18.1	不明	3	0.5
			計	662	100.0%

(8) 同居している子

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 一番上の子が小学校入学前	56	17.3	4 一番上の子が学校を卒業	97	29.9
2 一番上の子が小・中学生	91	28.1	無回答	9	2.8
3 一番上の子が高校・大学生	71	21.9	計	324	100.0%

## I 調査の概要

### (9) 新宿区での居住年数

選択肢		回答数	割合 (%)	選択肢		回答数	割合 (%)
1	1年未満	0	0.0	5	10年以上20年未満	205	23.2
2	1年以上3年未満	65	7.4	6	20年以上30年未満	138	15.6
3	3年以上5年未満	64	7.3	7	30年以上	272	30.8
4	5年以上10年未満	126	14.3		無回答	12	1.4
				計		882	100.0%

### (10) 住居形態

選択肢		回答数	割合 (%)
一戸建て	1 持ち家の一戸建て	212	24.0
	2 賃貸の一戸建て	13	1.5
	3 社宅・公務員官舎の一戸建て	6	0.7
	4 その他	4	0.5
集合住宅	5 分譲マンション・アパート（自己所有のものを含む）	317	35.9
	6 賃貸マンション・アパート	255	28.9
	7 賃貸のUR都市機構（旧公団）・会社のマンション・アパート	4	0.5
	8 賃貸の都営・区営住宅	36	4.1
	9 社宅・公務員官舎	23	2.6
	10 その他	2	0.2
無回答		10	1.1
計		882	100.0%

### (11) ライフステージ

選択肢		回答数	割合 (%)	選択肢		回答数	割合 (%)
1	独身期	91	10.3	5	家族成熟期	58	6.6
2	家族形成期	71	8.0	6	高齢期	257	29.1
3	家族成長前期	90	10.2	7	その他	245	27.8
4	家族成長後期	70	7.9		無回答	0	0.0
				計		882	100.0%

## Ⅱ 調査の結果

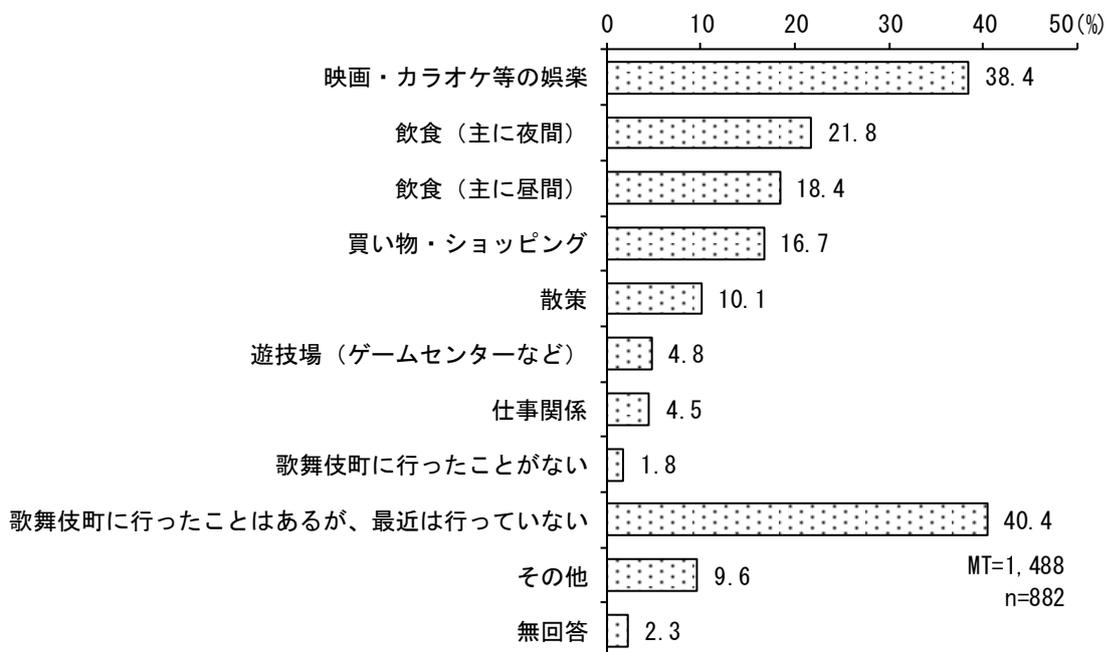
### テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について

#### (1) 歌舞伎町に行く目的

◎「映画・カラオケ等の娯楽」が4割近く

問1 歌舞伎町に行く主な目的は何ですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)		(n=882)
1	買い物・ショッピング	16.7%
2	映画・カラオケ等の娯楽	38.4
3	散策	10.1
4	遊技場(ゲームセンターなど)	4.8
5	仕事関係	4.5
6	飲食(主に昼間)	18.4
7	飲食(主に夜間)	21.8
8	歌舞伎町に行ったことがない	1.8
9	歌舞伎町に行ったことはあるが、最近は行っていない	40.4
10	その他	9.6
	無回答	2.3

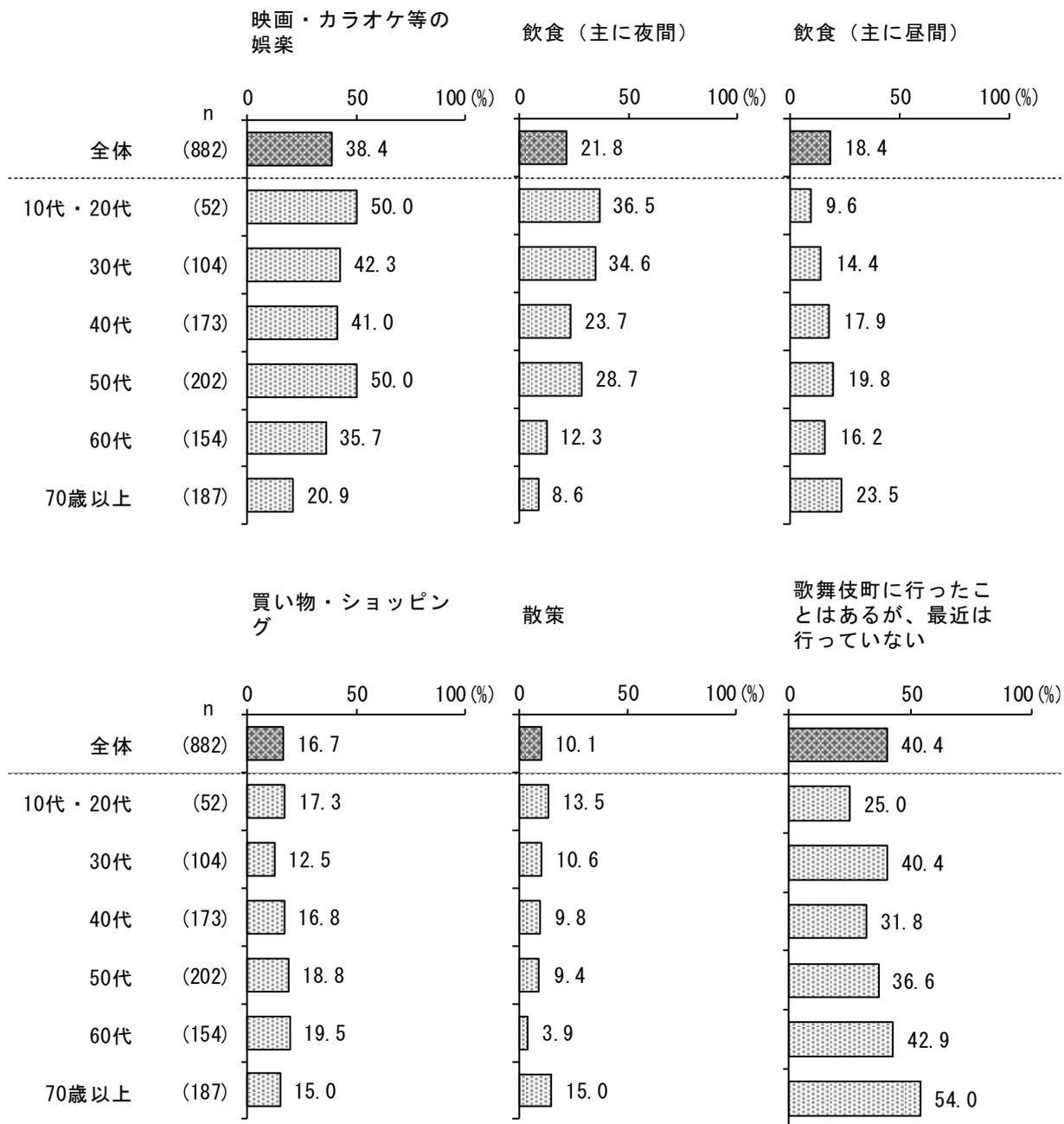
図1-1-1 歌舞伎町に行く目的



歌舞伎町に行く目的について、「映画・カラオケ等の娯楽」(38.4%)が4割近くで最も高く、次いで「飲食(主に夜間)」(21.8%)が2割強、「飲食(主に昼間)」(18.4%)が2割近く、「買い物・ショッピング」(16.7%)が1割台半ばを超えと続いている。(図1-1-1)

図1-1-2 歌舞伎町に行く目的  
（年代別）

上位5項目+「歌舞伎町に行ったことはあるが、最近は行っていない」



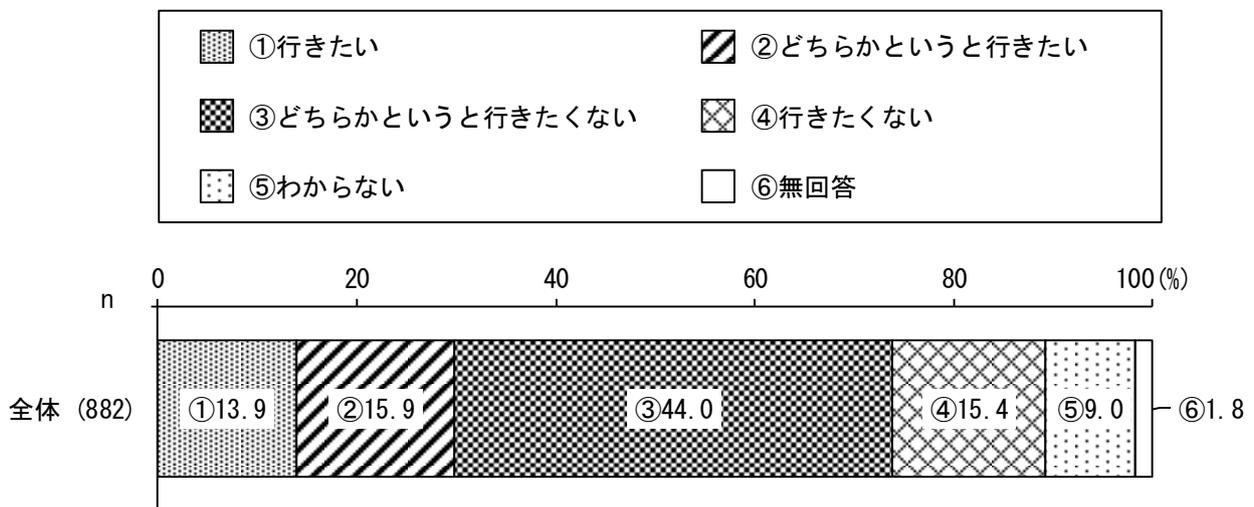
上位5項目及び「歌舞伎町に行ったことはあるが、最近は行っていない」について、年代別でみると、「映画・カラオケ等の娯楽」は70歳以上（20.9%）が約2割と、全体（38.4%）を17.5ポイント下回っている。（図1-1-2）

(2) 今後の、歌舞伎町への来街意向

◎今後、「どちらかという行きたくない」が4割台半ば近く

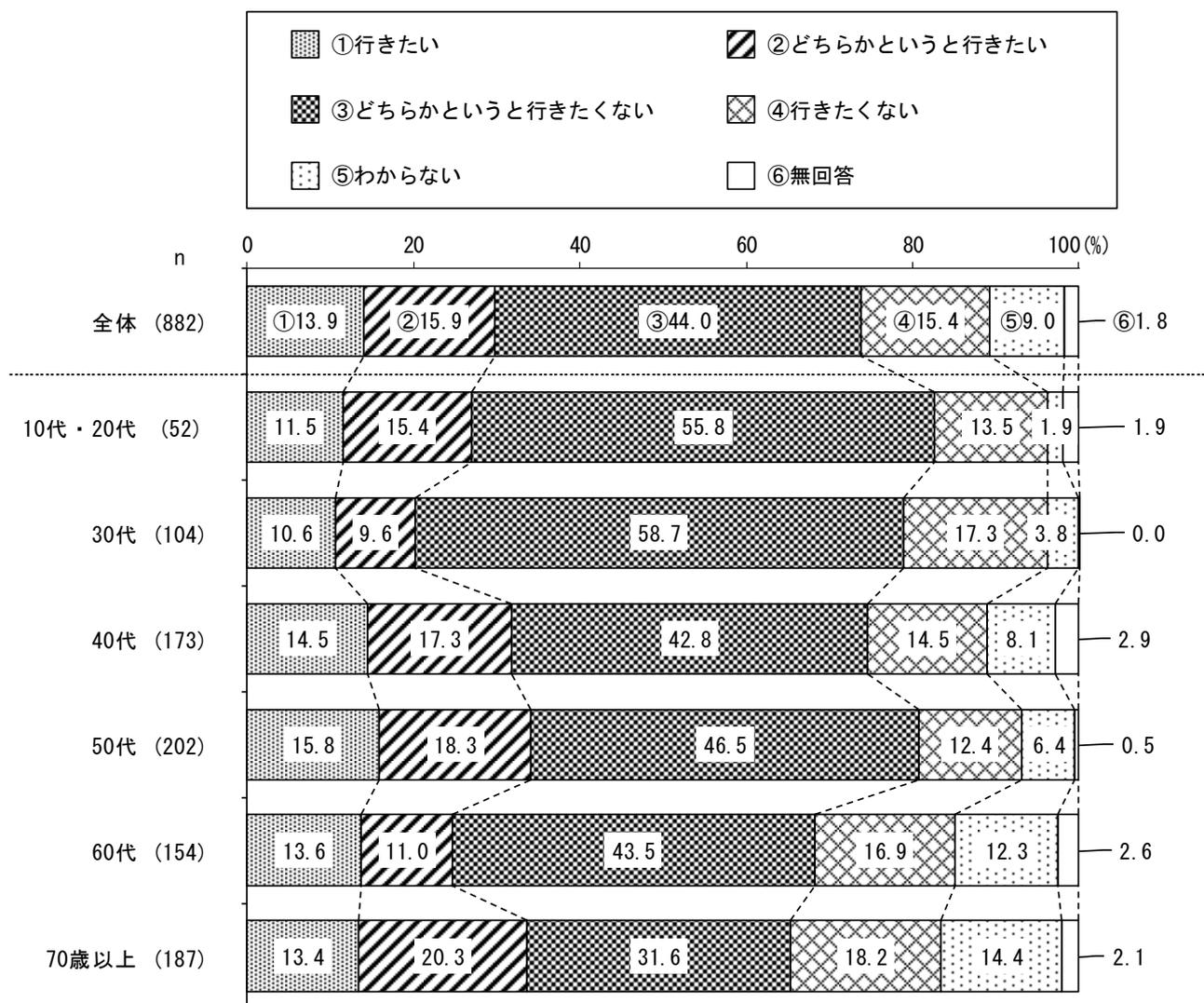
問2 あなたは今後、歌舞伎町へ行きたいと思いますか。(〇は1つ)		(n=882)
1	行きたい	13.9%
2	どちらかという行きたい	15.9
3	どちらかという行きたくない	44.0
4	行きたくない	15.4
5	わからない	9.0
	無回答	1.8

図1-2-1 今後の、歌舞伎町への来街意向



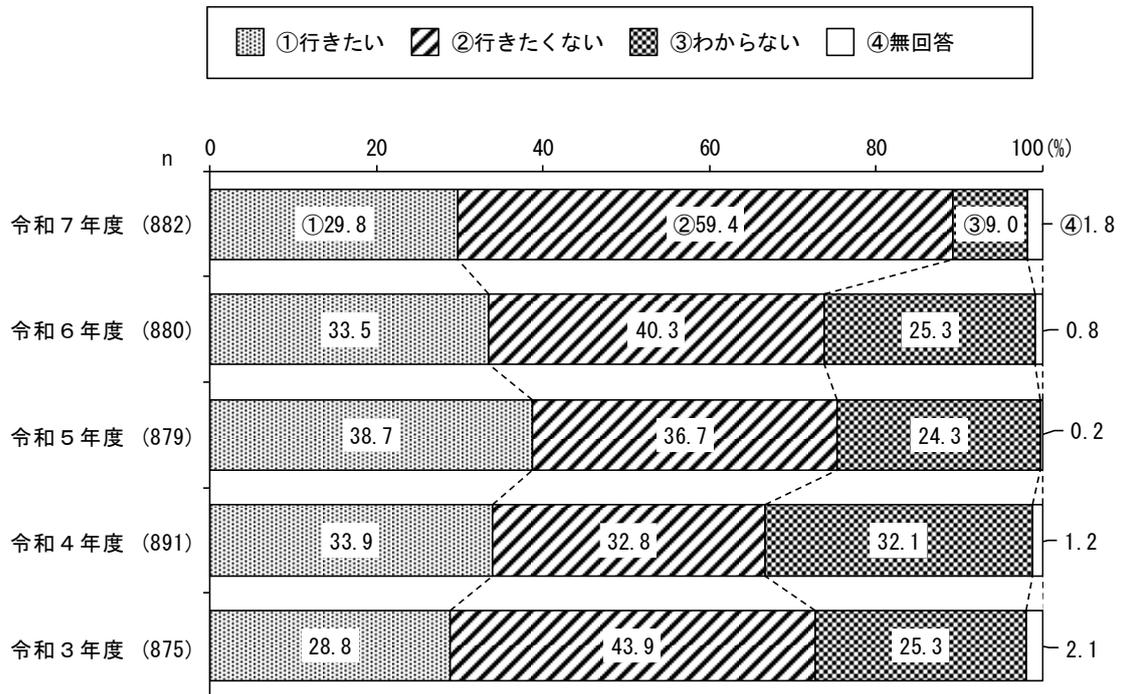
今後の、歌舞伎町への来街意向について、「どちらかという行きたくない」(44.0%)が4割台半ば近くで、「行きたくない」(15.4%)と合わせると6割弱となっている。(図1-2-1)

図1-2-2 今後の、歌舞伎町への来街意向  
(年代別)



年代別で見ると、「どちらかというに行きたくない」は30代(58.7%)が6割近くと、全体(44.0%)を14.7ポイント上回っている。「どちらかというに行きたい」は70歳以上(20.3%)が約2割と、全体(15.9%)を4.4ポイント上回っている。(図1-2-2)

図1-2-3 今後の、歌舞伎町への来街意向  
(経年推移)



経年推移をみると、「行きたくない」では、令和3年度（43.9%）から令和4年度（32.8%）にかけて11.1ポイント低下し、令和4年度から令和7年度（59.4%）にかけて26.6ポイント高くなっている。  
(図1-2-3)

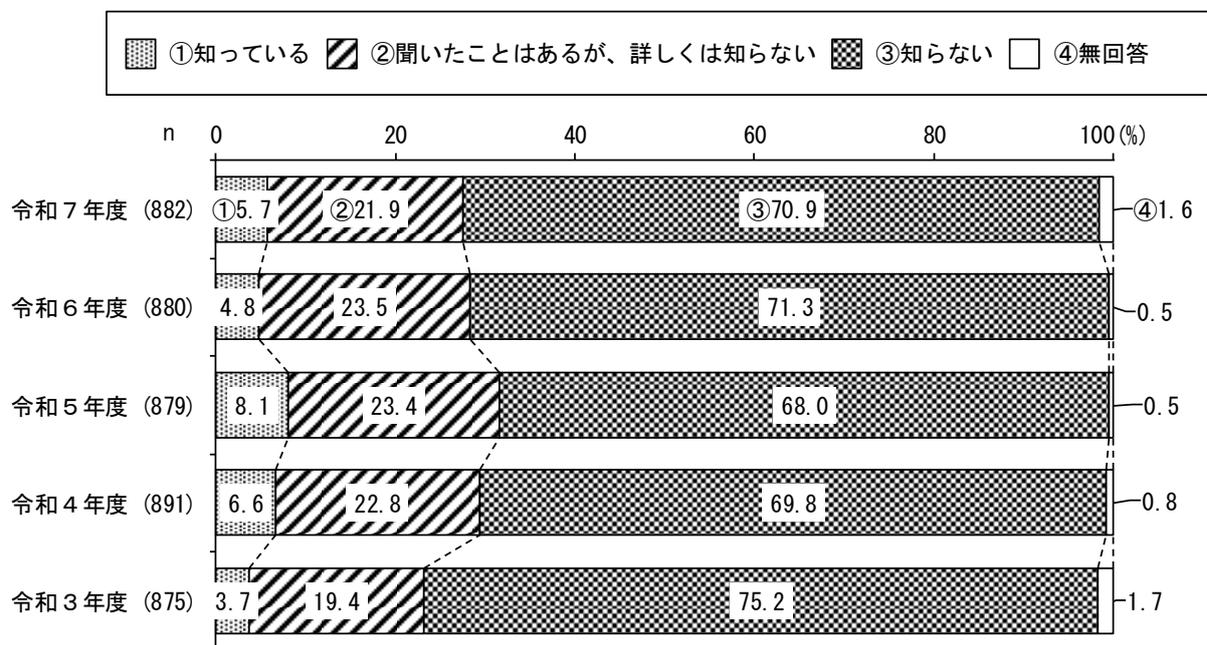
※令和6年度までは「行きたい」「行きたくない」「わからない」のみのため、  
「行きたい」（「行きたい」＋「どちらかというに行きたい」）  
「行きたくない」（「行きたくない」＋「どちらかというに行きたくない」）とした。

（3）歌舞伎町ルネッサンスの認知状況

◎「知らない」が約7割

問3 あなたは、「歌舞伎町ルネッサンス」の取組を知っていますか。（○は1つ）	(n=882)
1 知っている	5.7%
2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	21.9
3 知らない	70.9
無回答	1.6

図1-3 歌舞伎町ルネッサンスの認知状況  
(経年推移)



歌舞伎町ルネッサンスの認知状況について、「知っている」(5.7%)が1割未満、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(21.9%)が2割強、「知らない」(70.9%)が約7割となっている。

経年推移をみると、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」では、令和6年度(23.5%)から令和7年度(21.9%)にかけて1.6ポイント低くなっている。(図1-3)

(4) 歌舞伎町の印象の変化

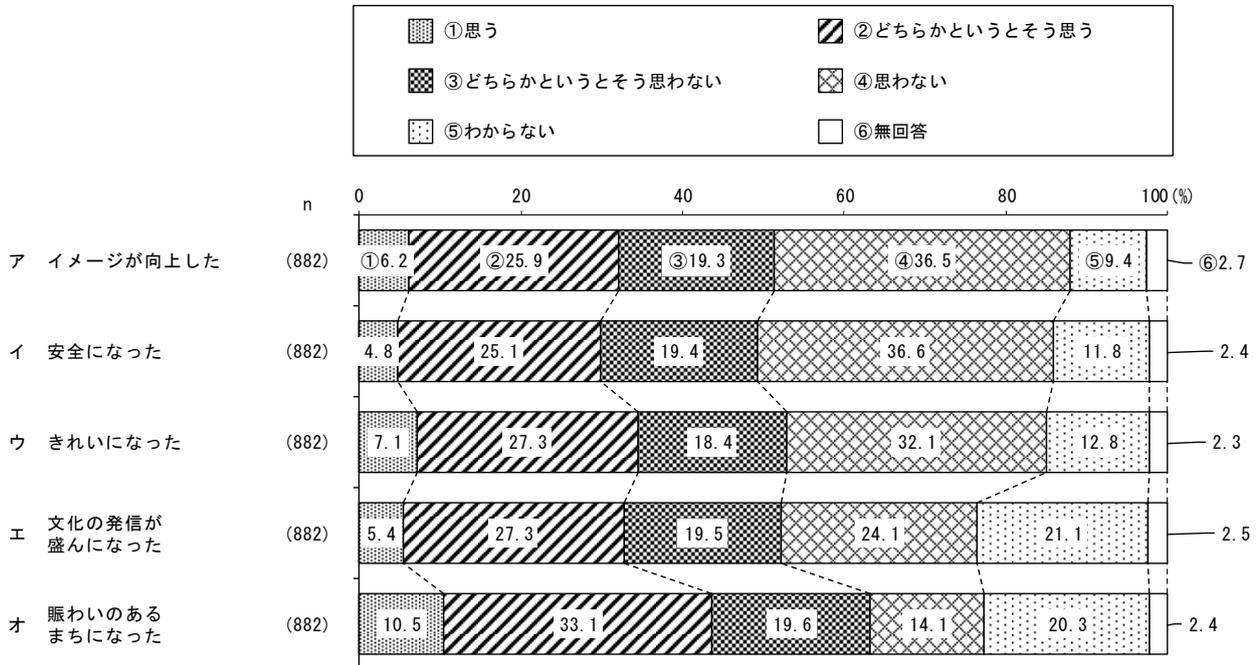
◎『賑わいのあるまちになった』で、「どちらかというと思う」が3割台半ば近く

問4 あなたの歌舞伎町の印象は、以前と比べて変わったと思いますか。  
(ア～オそれぞれで、1～5に1つだけ○をつけてください)

(n=882)

	思う	どちらかという と思う	どちらかという と思わない	思わない	わからない	無 回答
ア イメージが向上した	6.2%	25.9%	19.3%	36.5%	9.4%	2.7%
イ 安全になった	4.8	25.1	19.4	36.6	11.8	2.4
ウ きれいになった	7.1	27.3	18.4	32.1	12.8	2.3
エ 文化の発信が盛んになった	5.4	27.3	19.5	24.1	21.1	2.5
オ 賑わいのあるまちになった	10.5	33.1	19.6	14.1	20.3	2.4

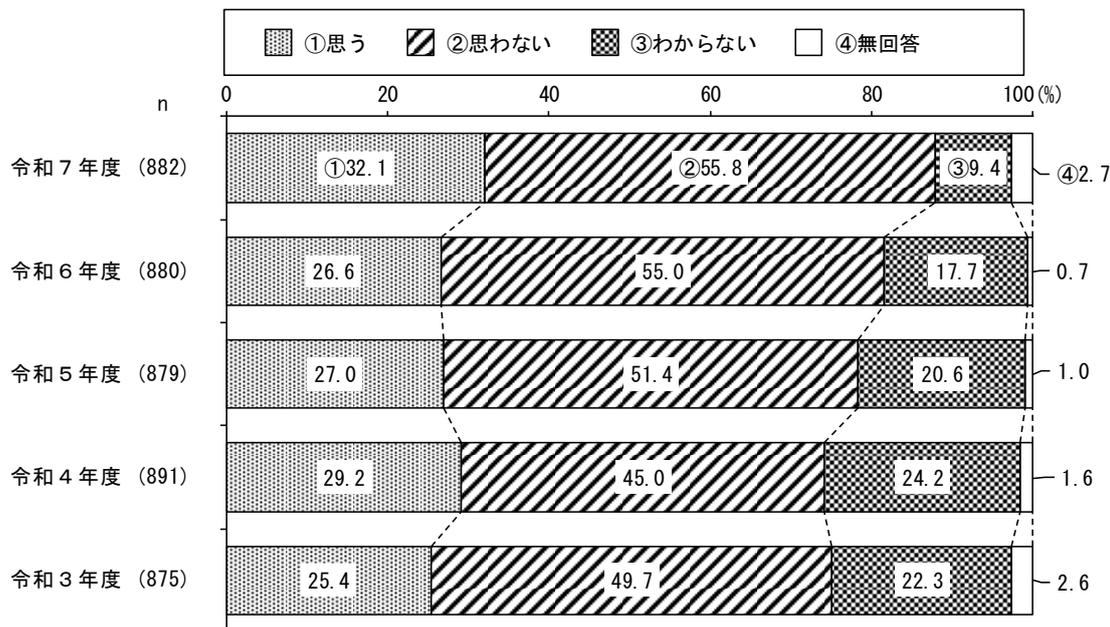
図1-4-1 歌舞伎町の印象の変化



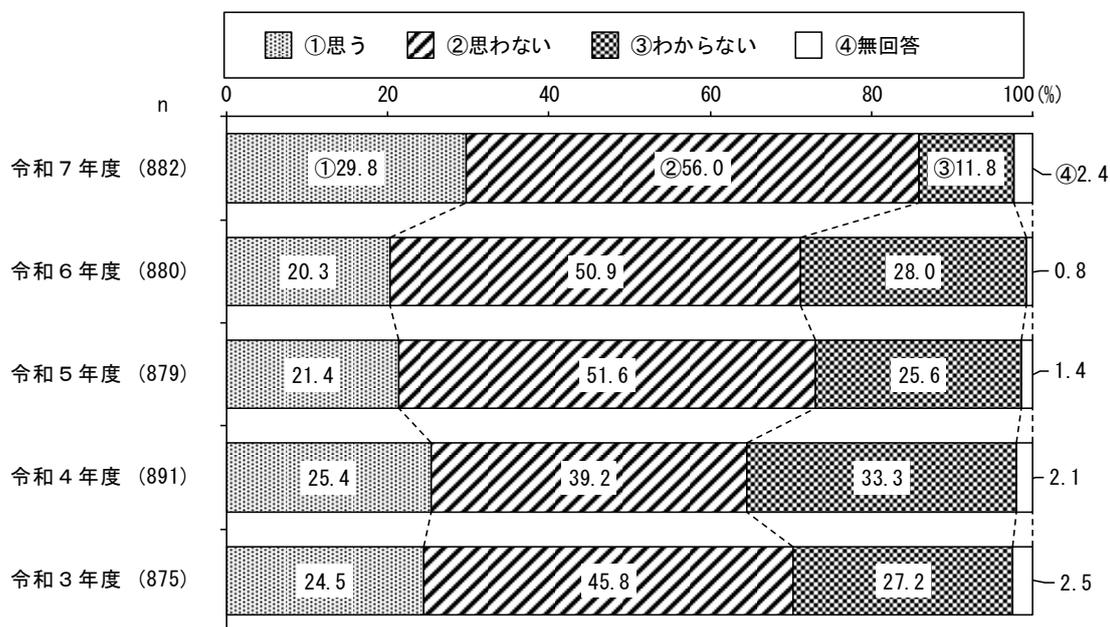
歌舞伎町の印象の変化について、「思う」と「どちらかというと思う」の合計は『賑わいのあるまちになった』(43.7%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで『きれいになった』(34.5%)が3割台半ば近く、『文化の発信が盛んになった』(32.8%)が3割強となっている。(図1-4-1)

図1-4-2 歌舞伎町の印象の変化  
(経年推移)

『ア イメージが向上した』



『イ 安全になった』

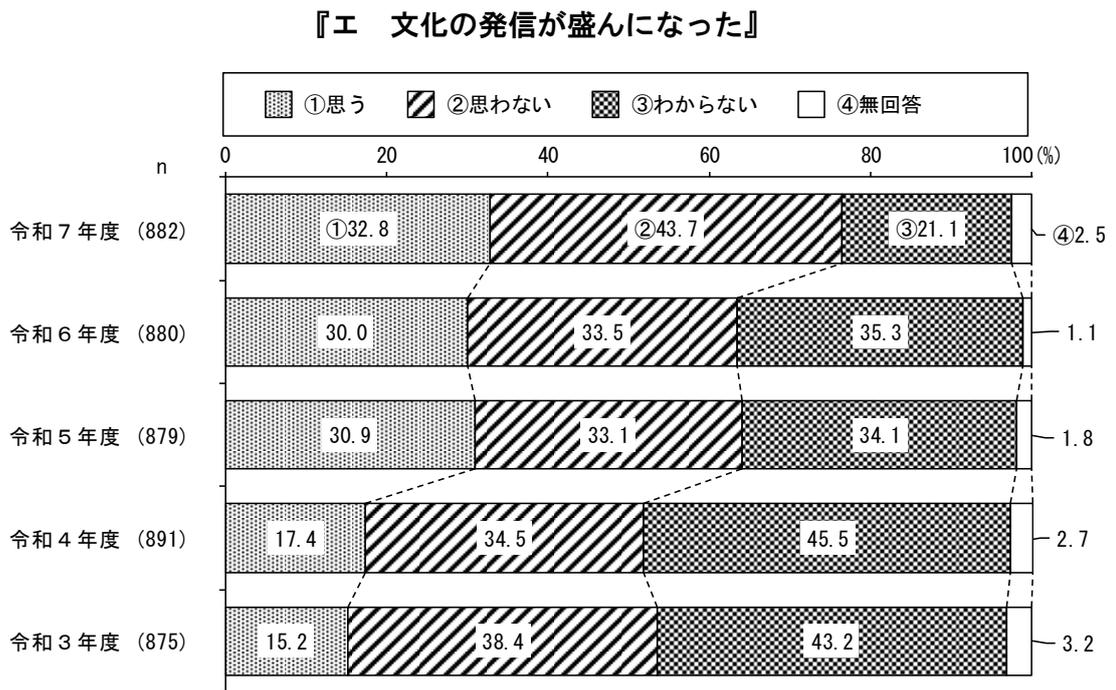
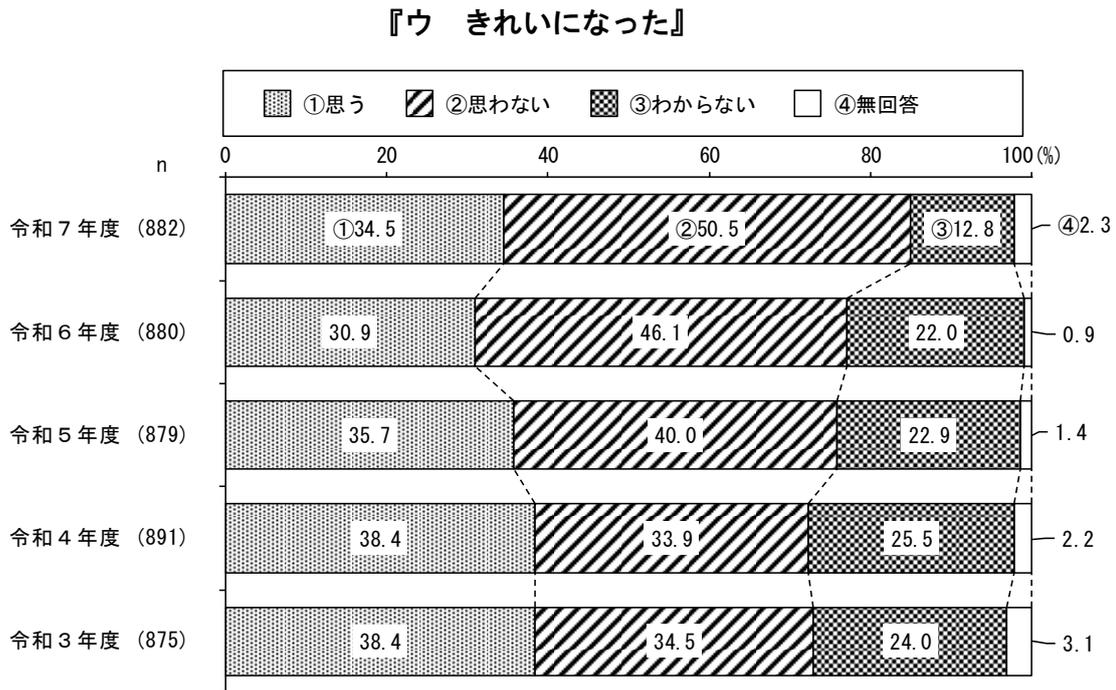


それぞれの項目ごとに経年推移をみると、すべての項目において「思う」「思わない」の割合が令和6年度より高くなっている。

『イメージが向上した』において、「思う」は、令和6年度（26.6%）から令和7年度（32.1%）にかけて5.5ポイント高くなっている。

『安全になった』において、「思う」は、令和6年度（20.3%）から令和7年度（29.8%）にかけて9.5ポイント高くなっている。一方、「思わない」は令和6年度（50.9%）から令和7年度（56.0%）にかけて5.1ポイント高くなっている。（図1-4-2）

図1-4-3 歌舞伎町の印象の変化  
(経年推移)

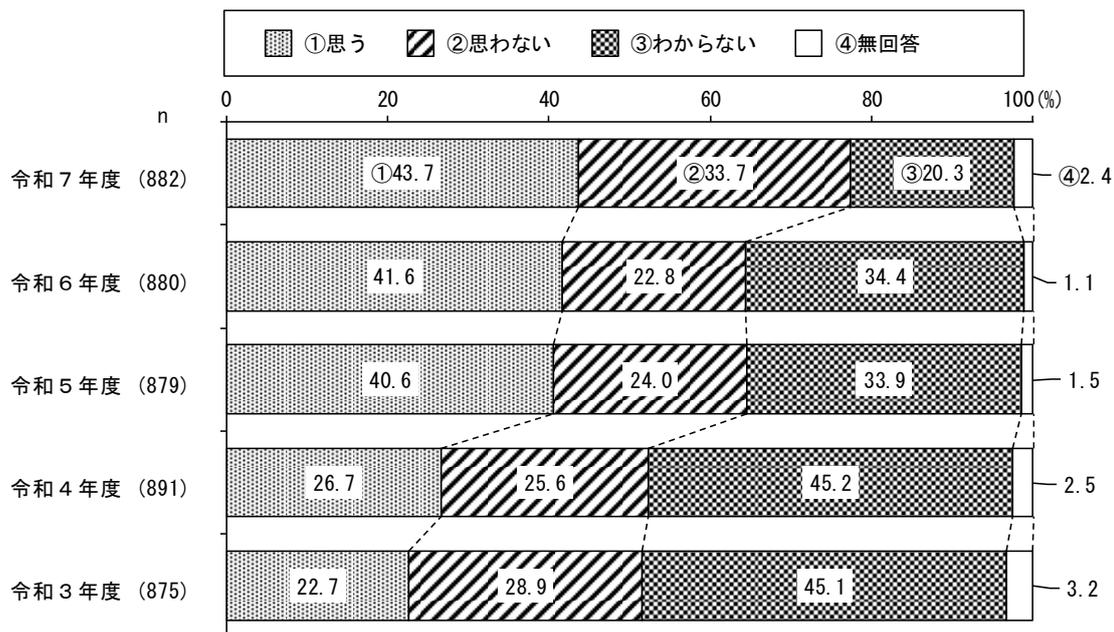


『きれいになった』において、「思わない」は、令和4年度(33.9%)から令和7年度(50.5%)にかけて16.6ポイント高くなっている。

『文化の発信が盛んになった』において、「思わない」は、令和6年度(33.5%)から令和7年度(43.7%)にかけて10.2ポイント高くなっている。「思う」は、令和4年度(17.4%)から令和5年度(30.9%)にかけて13.5ポイント高くなったが、令和7年度にかけては大きな変化はみられない。(図1-4-3)

図1-4-4 歌舞伎町の印象の変化  
(経年推移)

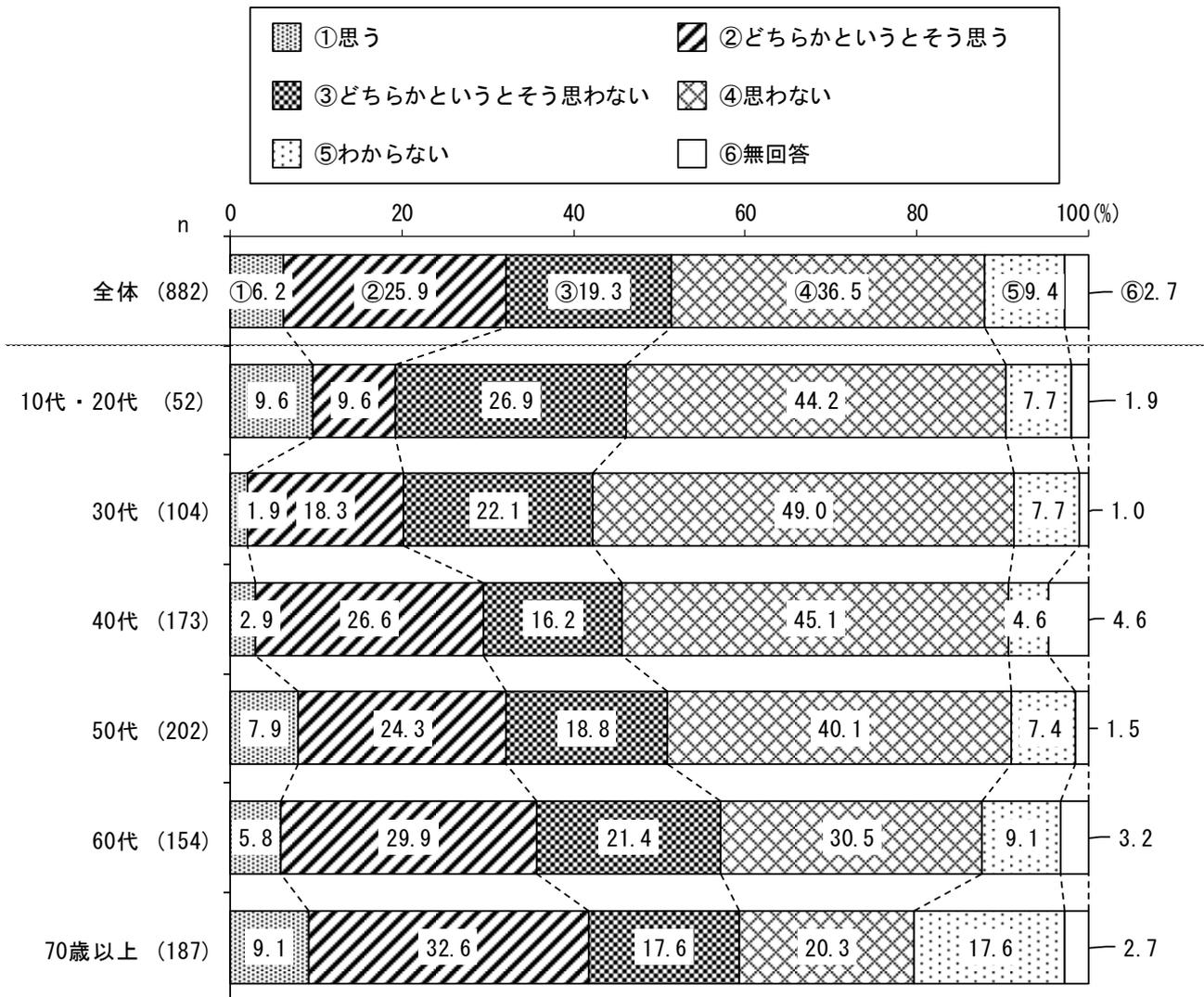
『オ 賑わいのあるまちになった』



『賑わいのあるまちになった』において、「思わない」は、令和6年度(22.8%)から令和7年度(33.7%)にかけて10.9ポイント高くなっている。(図1-4-4)

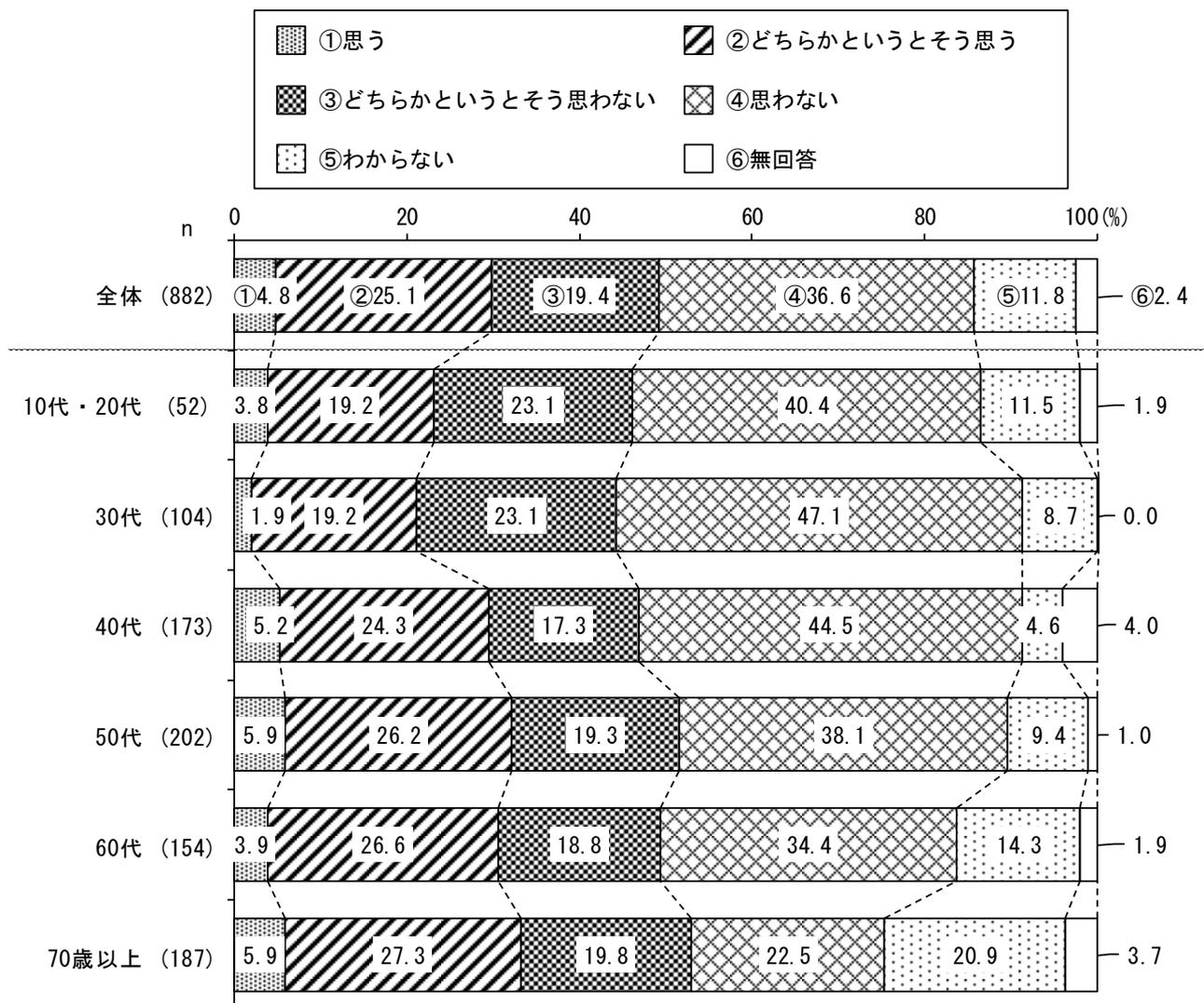
※令和6年度までは「思う」「思わない」「わからない」のみのため、  
「思う」(「思う」+「どちらかというと思う」)  
「思わない」(「思わない」+「どちらかというと思わない」)とした。

図1-4-5 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)  
『ア イメージが向上した』



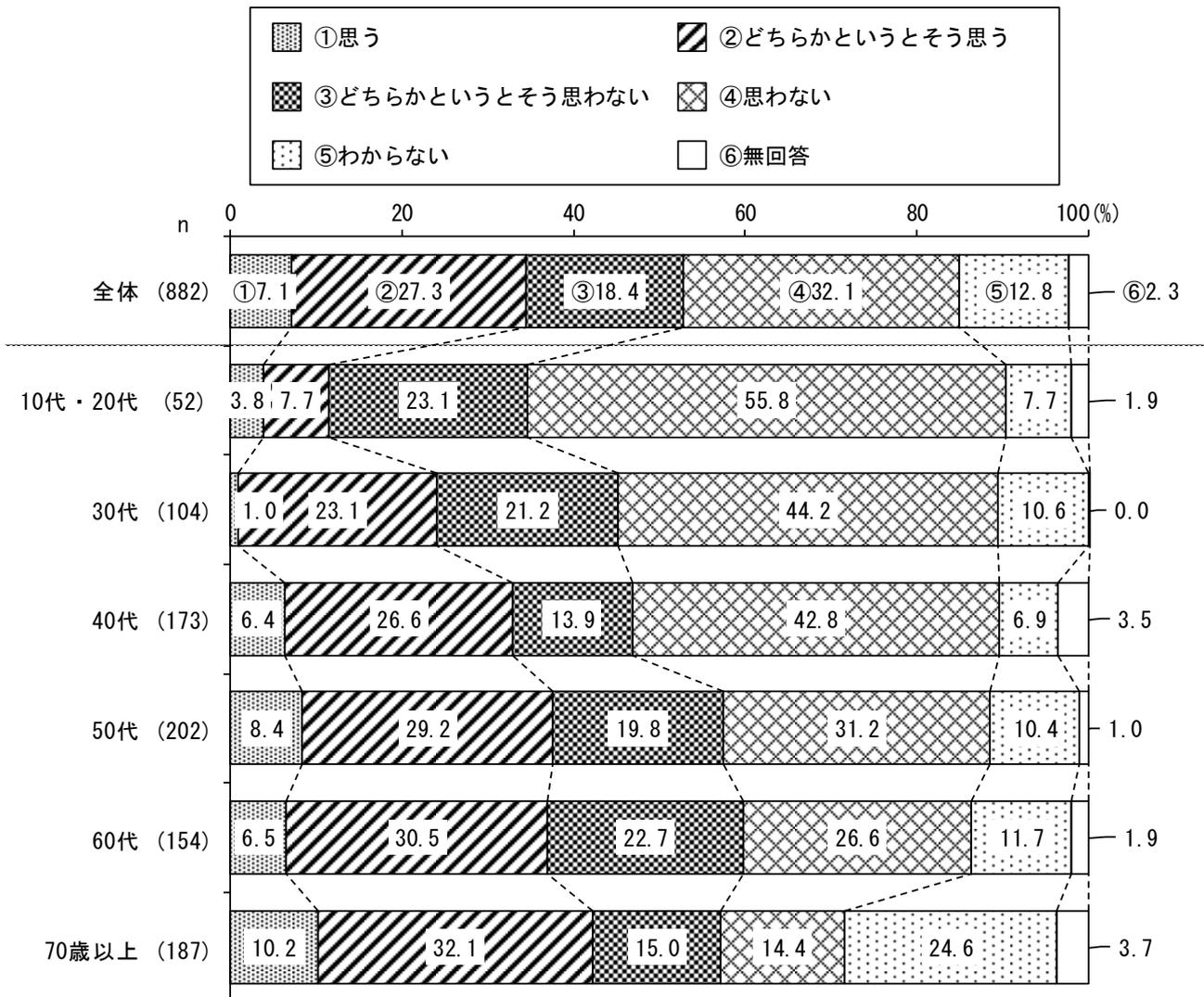
年代別で見ると、「どちらかというと思う」は、10代・20代(9.6%)が1割弱で、全体(25.9%)を16.3ポイント下回っている。「思わない」は70歳以上(20.3%)が約2割で、全体(36.5%)を16.2ポイント下回っている。(図1-4-5)

図1-4-6 歌舞伎町の印象の変化  
（年代別）  
『イ 安全になった』



年代別で見ると、「思わない」は70歳以上（22.5%）が2割強と、全体（36.6%）を14.1ポイント下回っている。（図1-4-6）

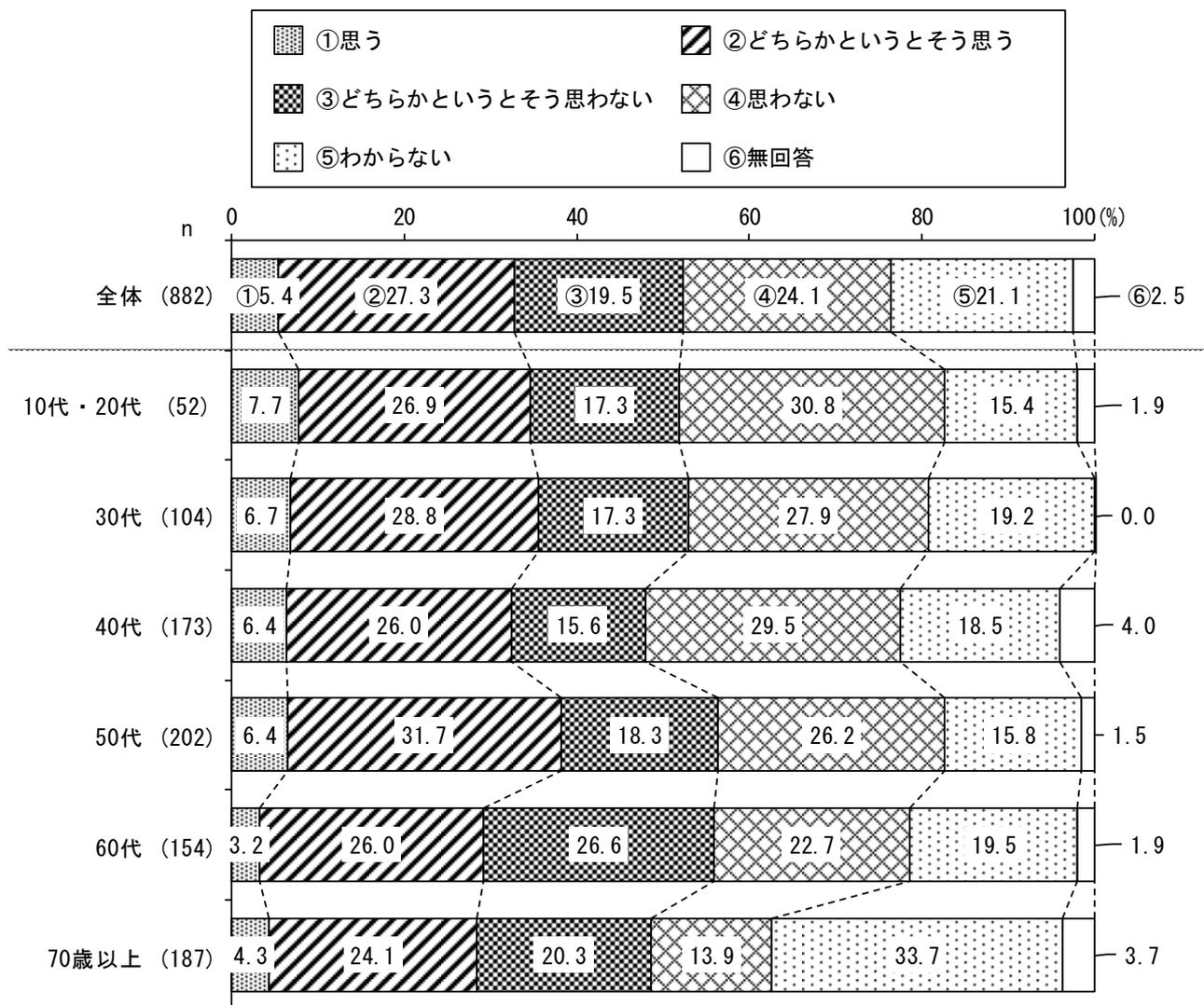
図1-4-7 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)  
『ウ きれいになった』



年代別で見ると、「思わない」は10代・20代(55.8%)が5割台半ばと、全体(32.1%)を23.7ポイント上回っており、「どちらかというと思わない」(23.1%)と合わせると8割近く(78.8%)で、全体(50.5%)を28.3ポイント上回っている。(図1-4-7)

図1-4-8 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

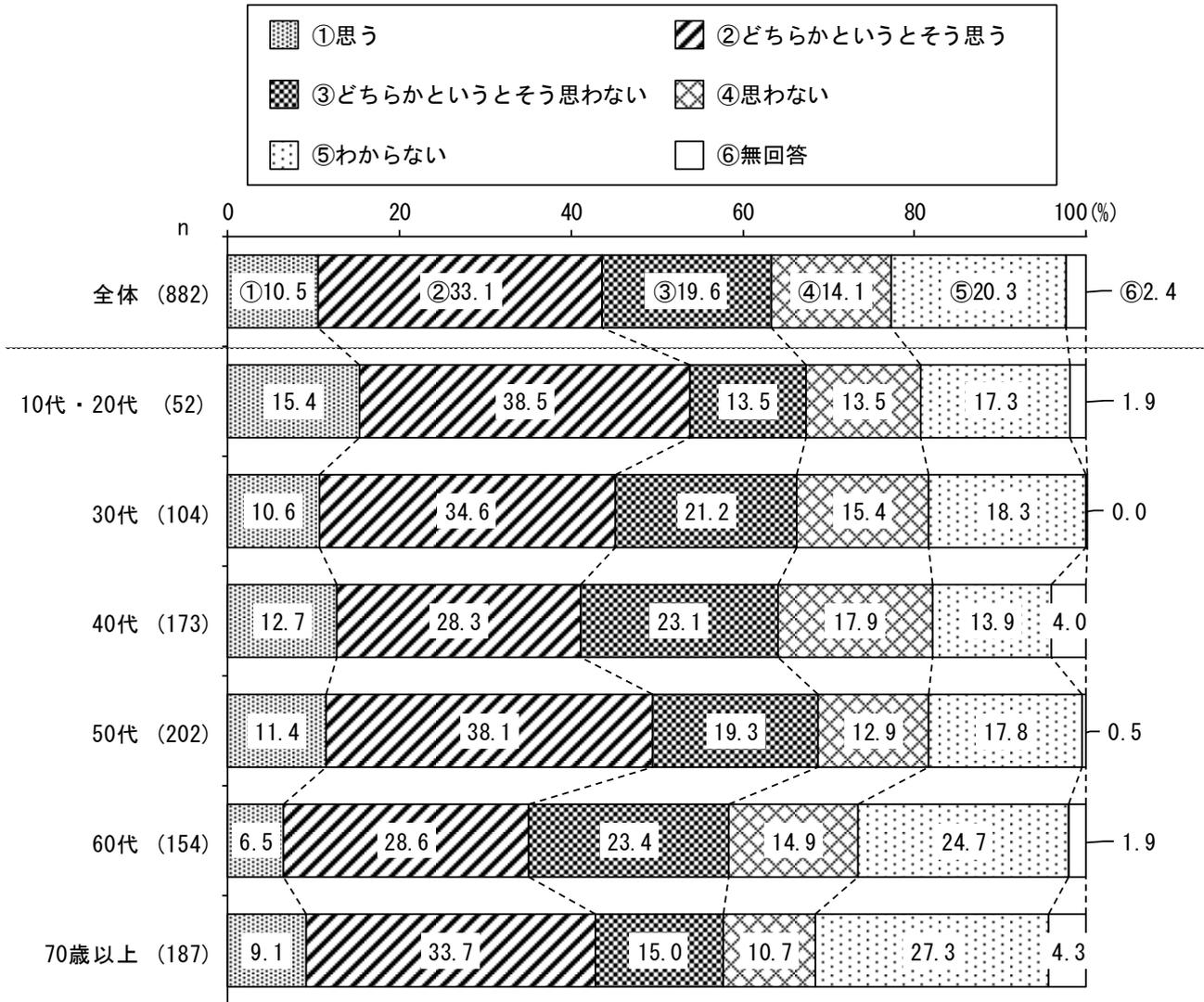
『エ 文化の発信が盛んになった』



年代別で見ると、「思わない」は70歳以上（13.9%）が1割台半ば近くと、全体（24.1%）を10.2ポイント下回っている。（図1-4-8）

図1-4-9 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

『オ 賑わいのあるまちになった』



年代別で見ると、「どちらかというと思う」は10代・20代(38.5%)が4割近くと、全体(33.1%)を5.4ポイント上回っており、「思う」(15.4%)と合わせると5割台半ば近く(53.8%)と、全体(43.7%)を10.1ポイント上回っている。(図1-4-9)

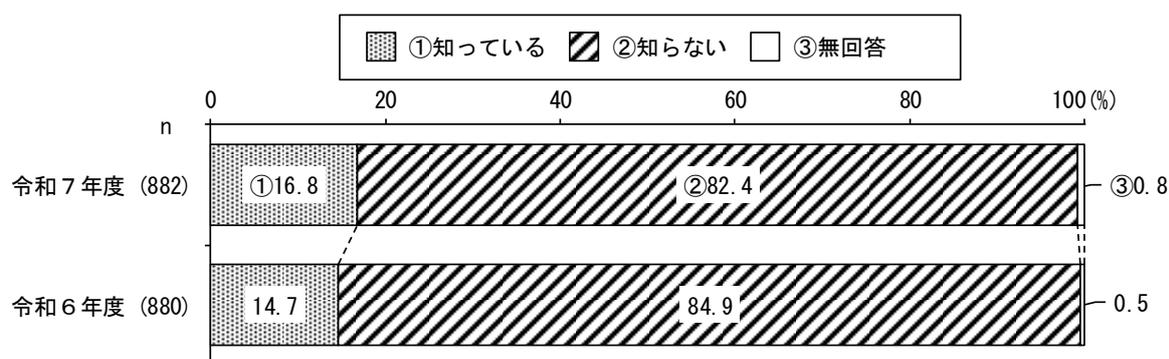
## テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて

### （1）「女性の健康支援センター」の認知状況

◎「知らない」が8割強

問5 あなたは、四谷保健センター内にある「女性の健康支援センター」を知っていますか。 (○は1つ)		(n=882)
1	知っている	16.8%
2	知らない	82.4
	無回答	0.8

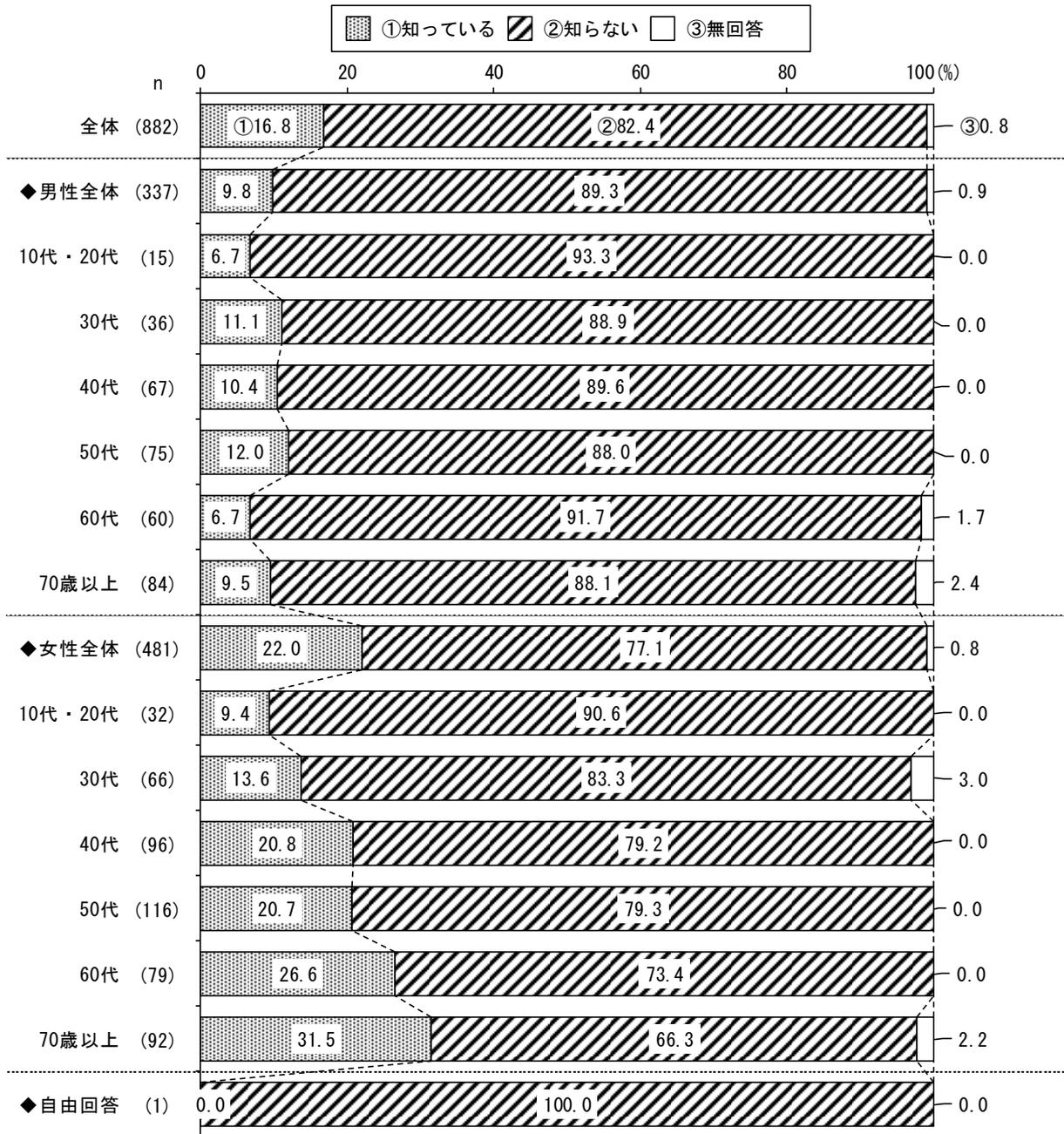
図2-1-1 「女性の健康支援センター」の認知状況  
(経年推移)



「女性の健康支援センター」の認知状況は、「知っている」(16.8%)が1割台半ばを超え、「知らない」(82.4%)が8割強となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知らない」(82.4%)は、令和6年度(84.9%)より2.5ポイント低くなっている。(図2-1-1)

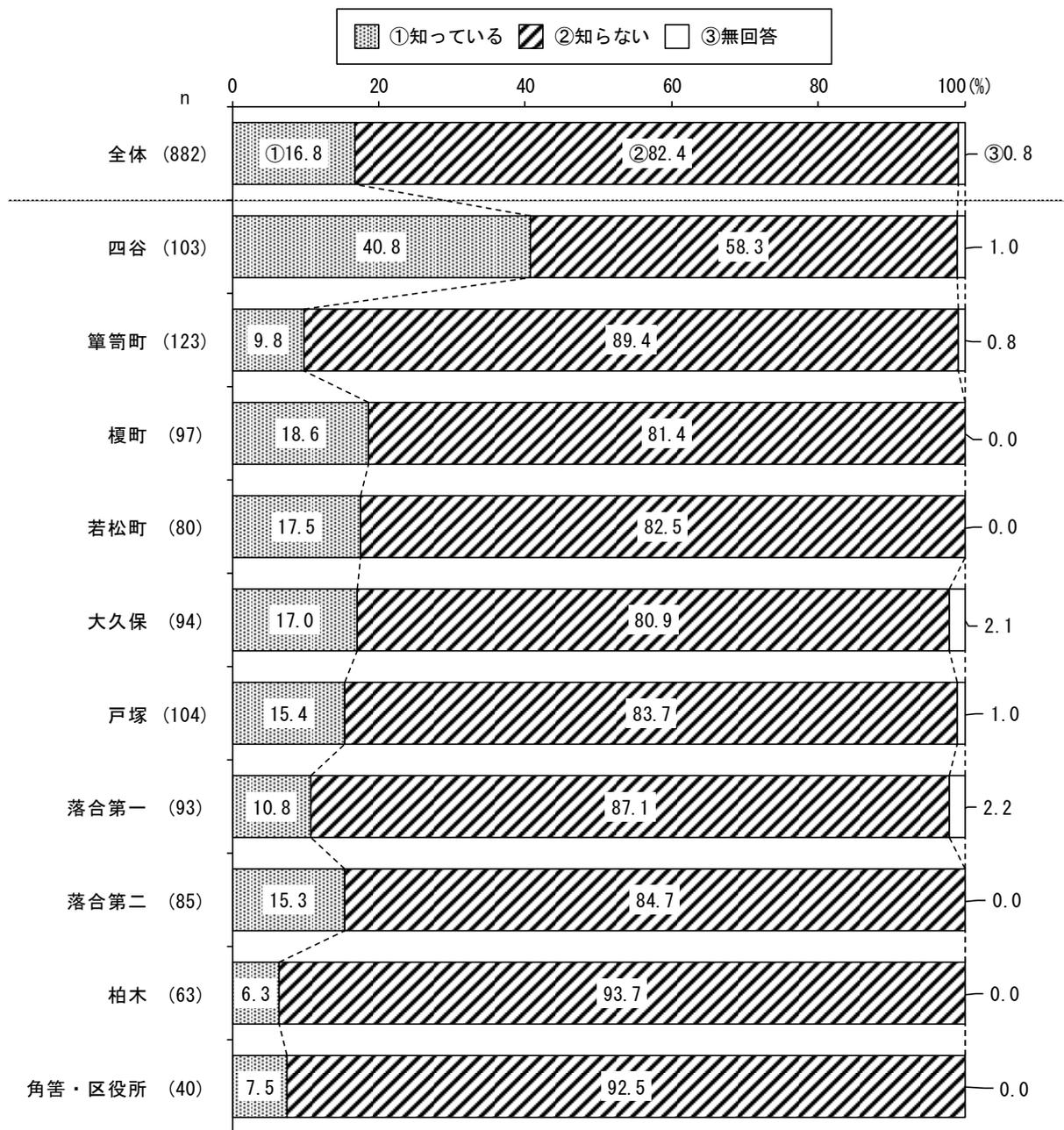
図2-1-2 「女性の健康支援センター」の認知状況  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「知っている」は男性（9.8%）が1割弱と、女性（22.0%）を12.2ポイント下回っている。

性/年代別で見ると、「知っている」は女性の70歳以上（31.5%）が3割強と、全体（16.8%）を14.7ポイント上回っている。（図2-1-2）

図2-1-3 「女性の健康支援センター」の認知状況  
（居住地域別）



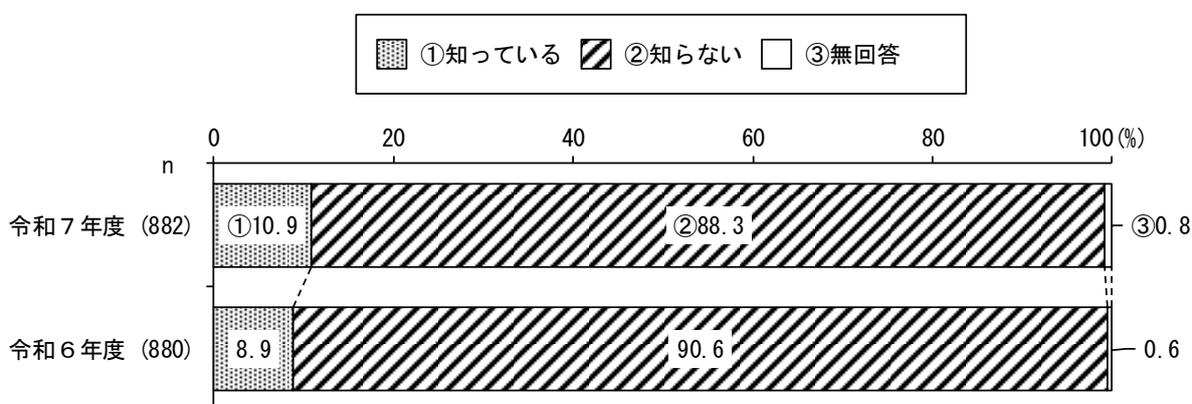
居住地域別で見ると、「知らない」は四谷（58.3%）が6割近くと、全体（82.4%）を24.1ポイント下回っている。（図2-1-3）

## (2) 女性の健康専門相談の認知状況

◎「知らない」が9割近く

問6 「女性の健康支援センター」で行っている女性の健康専門相談について知っていますか。 (〇は1つ)		(n=882)
1	知っている	10.9%
2	知らない	88.3
	無回答	0.8

図2-2-1 女性の健康専門相談の認知状況  
(経年推移)

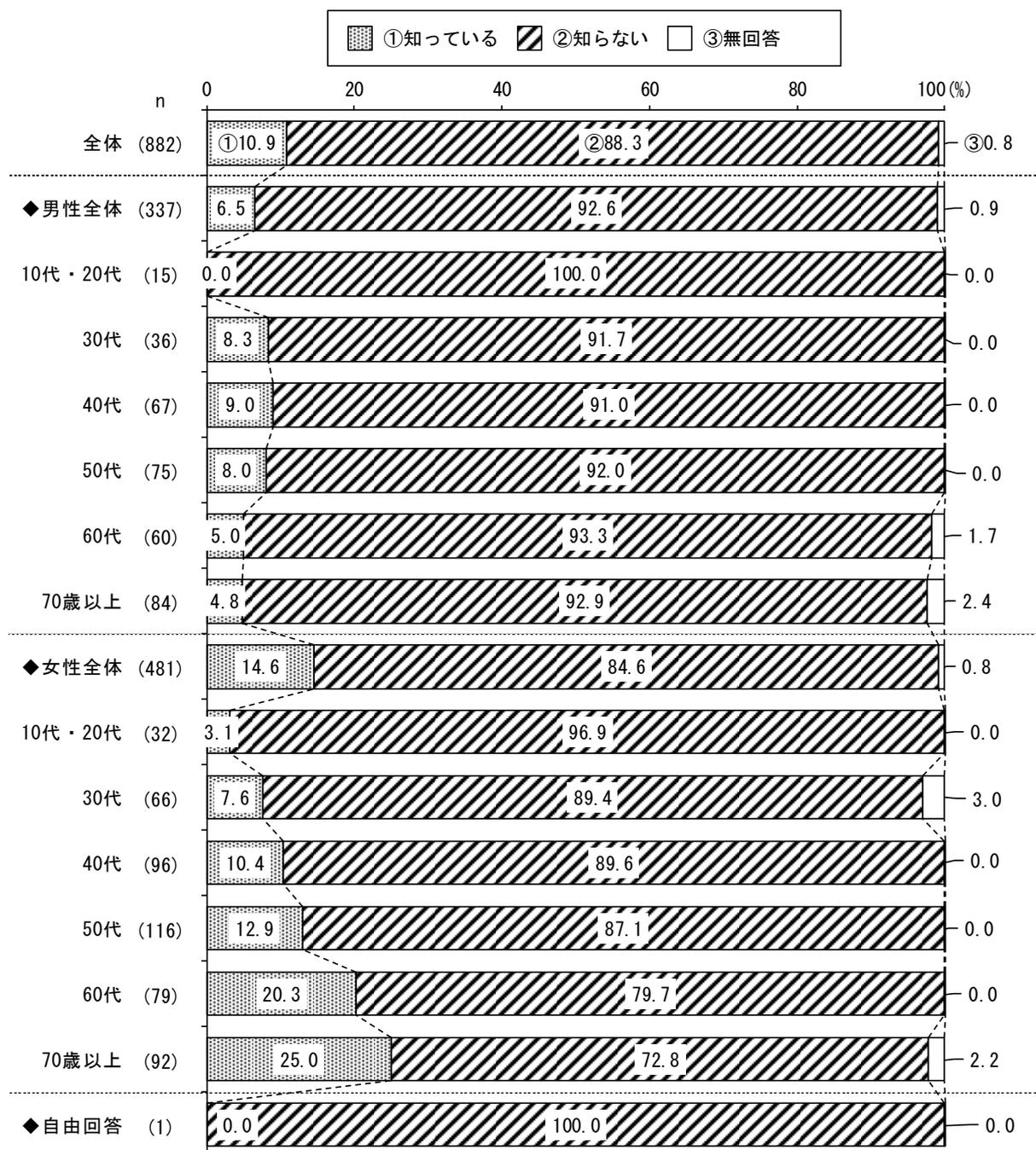


女性の健康専門相談の認知状況は、「知っている」(10.9%)が約1割、「知らない」(88.3%)が9割近くとなっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知らない」(88.3%)は、令和6年度(90.6%)より2.3ポイント低くなっている。(図2-2-1)

II 調査の結果（テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて）

図2-2-2 女性の健康専門相談の認知状況  
（性別・性／年代別）



性別で見ると、「知っている」は女性（14.6%）が1割台半ば近くと、男性（6.5%）を8.1ポイント上回っている。

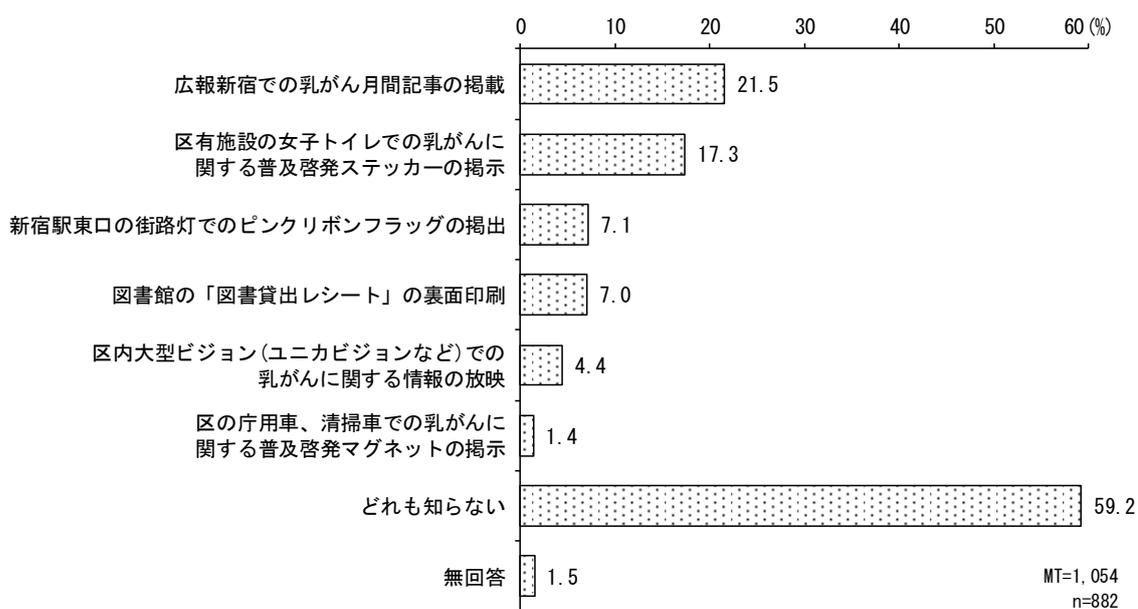
性／年代別で見ると、「知っている」は女性の70歳以上（25.0%）が2割台半ばと、全体（10.9%）を14.1ポイント上回っている。（図2-2-2）

### (3) 乳がん月間に実施している取組の認知状況

◎「広報新宿での乳がん月間記事の掲載」が2割強

問7 新宿区では、毎年10月の乳がん月間にあわせ、乳がん検診の受診勧奨や乳がんの正しい知識の普及啓発など下記の取組を行っています。あなたが知っているものは何ですか。 (あてはまるものにいくつでも○をつけてください)		(n=882)
1 図書館の「図書貸出レシート」の裏面印刷		7.0%
2 区有施設的女子トイレでの乳がんに関する普及啓発ステッカーの掲示		17.3
3 新宿駅東口の街路灯でのピンクリボンフラッグの掲出		7.1
4 区内大型ビジョン(ユニカビジョンなど)での乳がんに関する情報の放映		4.4
5 広報新宿での乳がん月間記事の掲載		21.5
6 区の庁用車、清掃車で乳がんに関する普及啓発マグネットの掲示		1.4
7 どれも知らない		59.2
無回答		1.5

図2-3 乳がん月間に実施している取組の認知状況



乳がん月間に実施している取組の認知状況は、「広報新宿での乳がん月間記事の掲載」(21.5%)が2割強となっている。一方、「どれも知らない」(59.2%)が6割弱となっている。(図2-3)

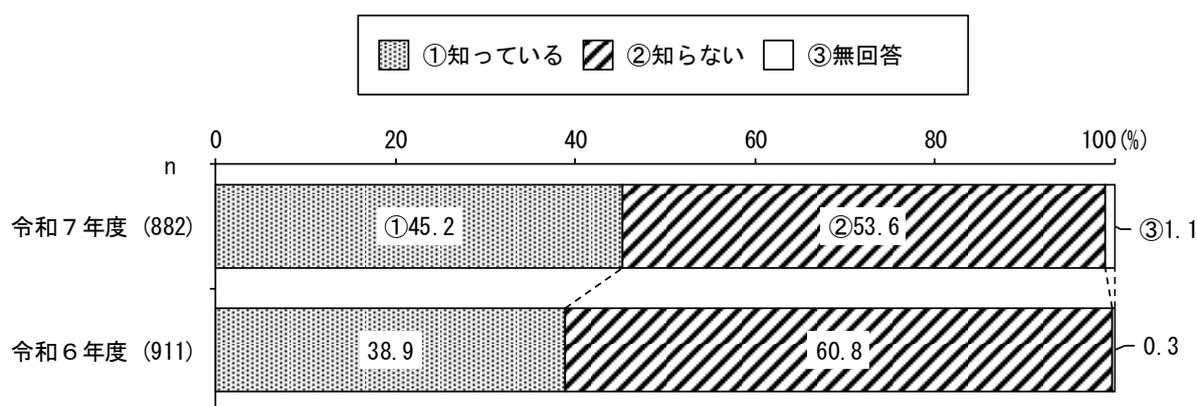
## テーマ3 健康づくりについて

### （1）1日に必要な野菜の摂取量の認知状況

◎1日に必要な野菜の摂取量を「知っている」が4割台半ば

問8 あなたは、1日に必要な野菜の摂取量を知っていますか。（○は1つ）		(n=882)
1	知っている	45.2%
2	知らない	53.6
	無回答	1.1

図3-1-1 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況  
（経年推移）

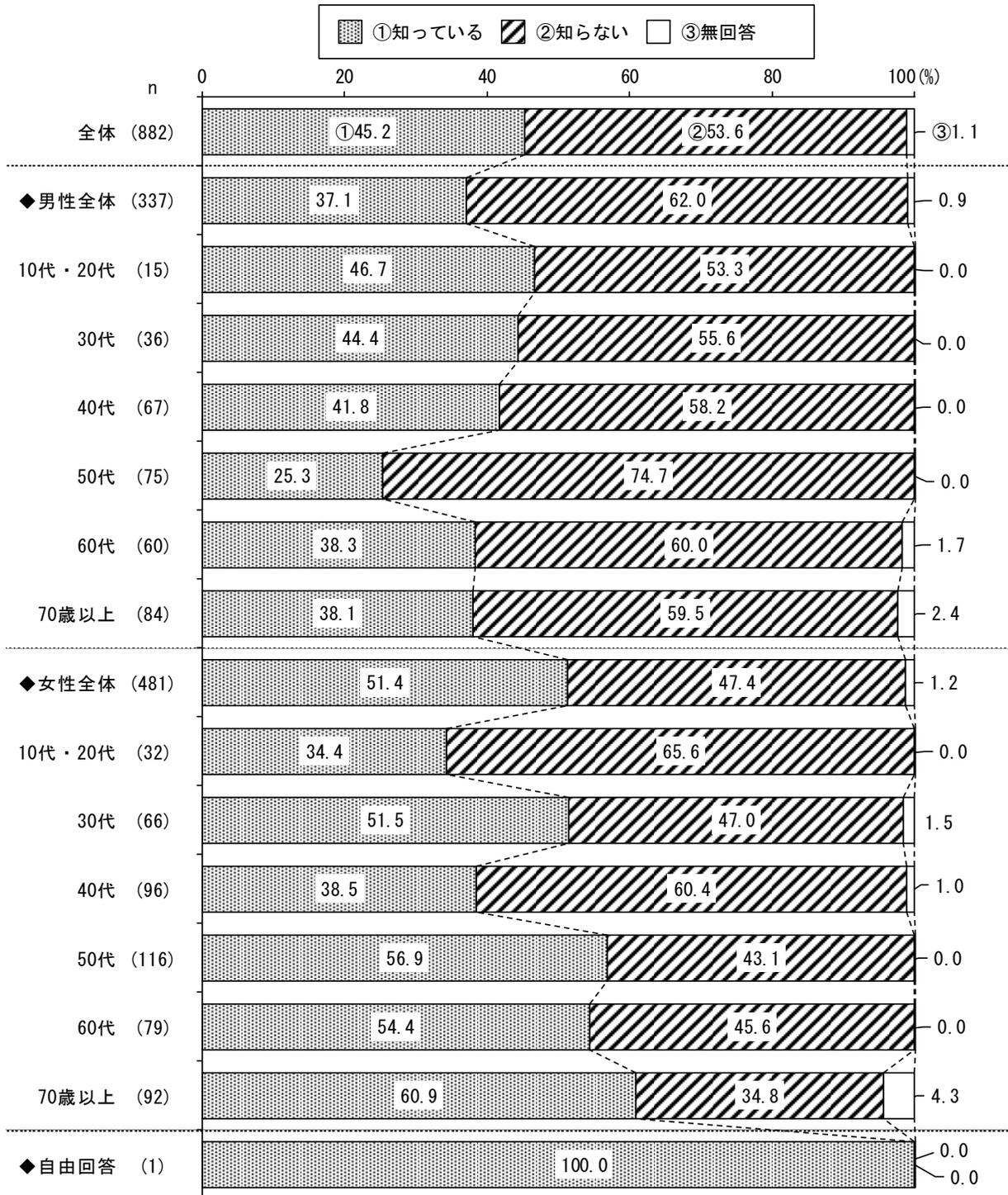


1日に必要な野菜の摂取量の認知状況は、「知っている」（45.2%）が4割台半ば、「知らない」（53.6%）が5割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果（令和6年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「知らない」（53.6%）は、令和6年度（60.8%）より7.2ポイント低くなっている。（図3-1-1）

※国が推進する、「健康日本21（第三次）」では、健康増進の観点から、成人で1日350g以上の野菜を食べることが目標とされている。

図3-1-2 1日に必要な野菜の摂取量の認知状況  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「知らない」は男性（62.0%）が6割強と、女性（47.4%）を14.6ポイント上回っている。

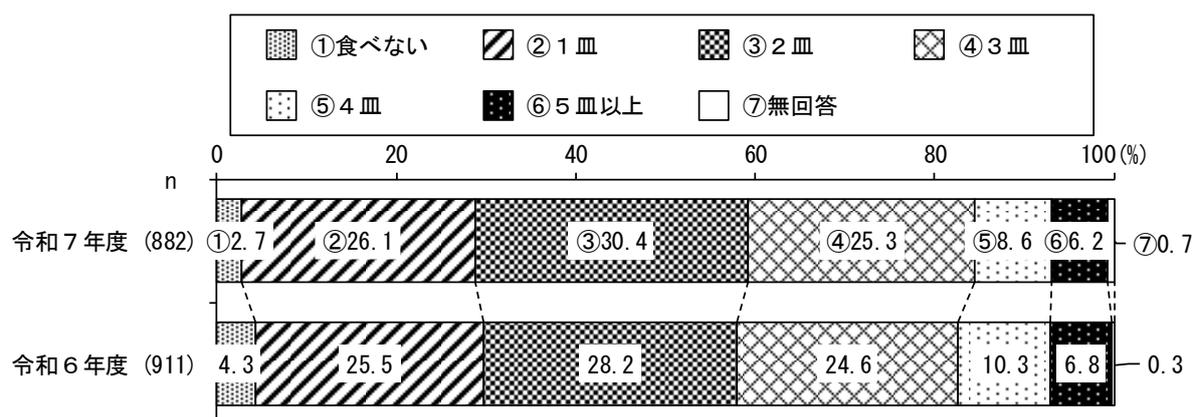
性/年代別で見ると、「知っている」は女性の70歳以上（60.9%）が約6割と、全体（45.2%）を15.7ポイント上回っている。（図3-1-2）

（2）1日に食べる野菜料理の量

◎必要な摂取量である「5皿以上」が1割未満

問9 野菜料理を平均で1日何皿くらい食べていますか。（○は1つ）		
（1皿の量は、約70g。直径10cmの小皿（小鉢）にきれいに入る程度です）		
		(n=882)
1	食べない	2.7%
2	1皿	26.1
3	2皿	30.4
4	3皿	25.3
5	4皿	8.6
6	5皿以上	6.2
	無回答	0.7

図3-2-1 1日に食べる野菜料理の量  
（経年推移）

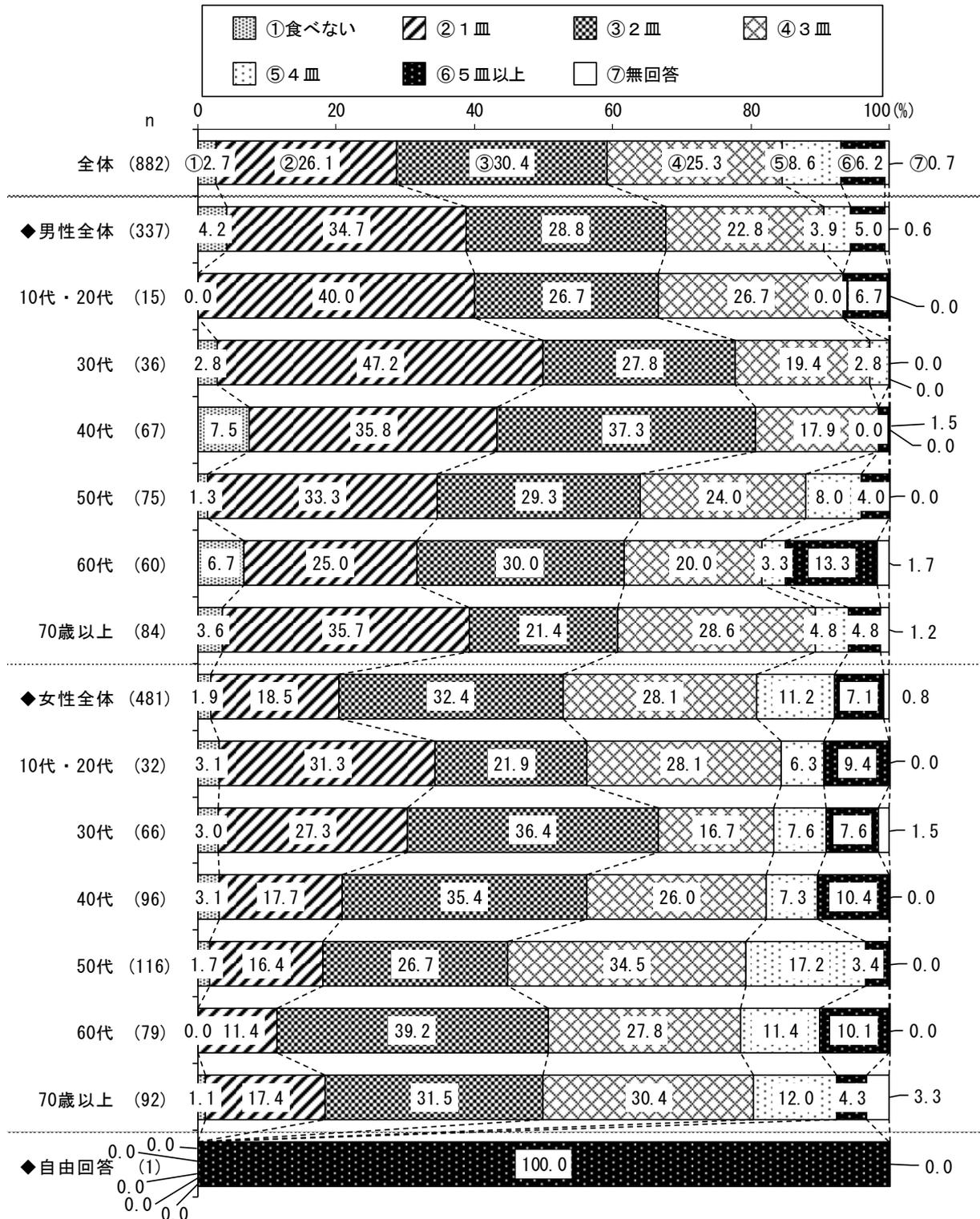


1日に食べる野菜料理の量は、「2皿」（30.4%）が約3割で最も高く、次いで「1皿」（26.1%）が2割台半ばを超え、「3皿」（25.3%）が2割台半ばと続いている。

1日に必要な摂取量である「5皿以上」（6.2%）は1割未満となっている。

前回の調査結果（令和6年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「2皿」（30.4%）は、令和6年度（28.2%）より2.2ポイント高くなっている。（図3-2-1）

図3-2-2 1日に食べる野菜料理の量  
(性別・性/年代別)



性別でみると、「1皿」は男性（34.7%）が3割台半ば近くと、女性（18.5%）を16.2ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「1皿」は男性の30代（47.2%）が4割台半ばを超え、全体（26.1%）を21.1ポイント上回っている。（図3-2-2）

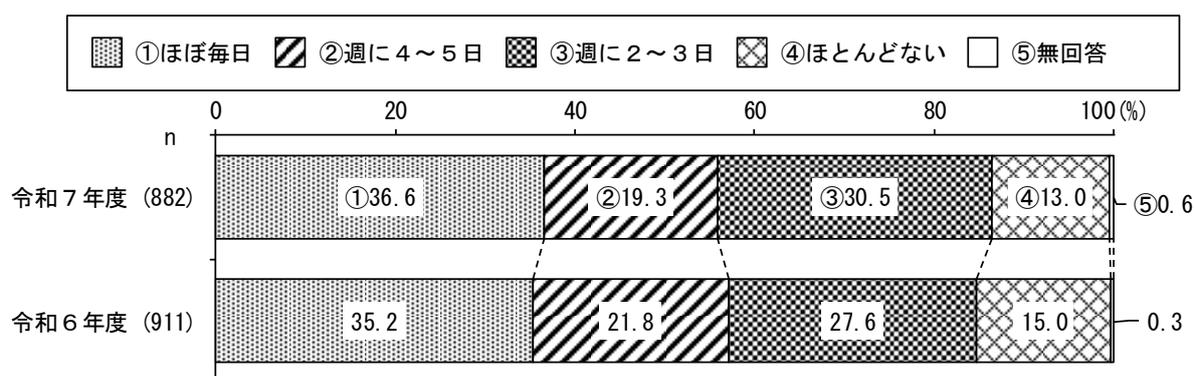
## Ⅱ 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

### （3）1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つをそろえて食べること

◎「ほぼ毎日」が3割台半ば超え

問10 あなたは、主食、主菜、副菜の3つそろえて食べるのが、1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（〇は1つ）		(n=882)
1	ほぼ毎日	36.6%
2	週に4～5日	19.3
3	週に2～3日	30.5
4	ほとんどない	13.0
	無回答	0.6

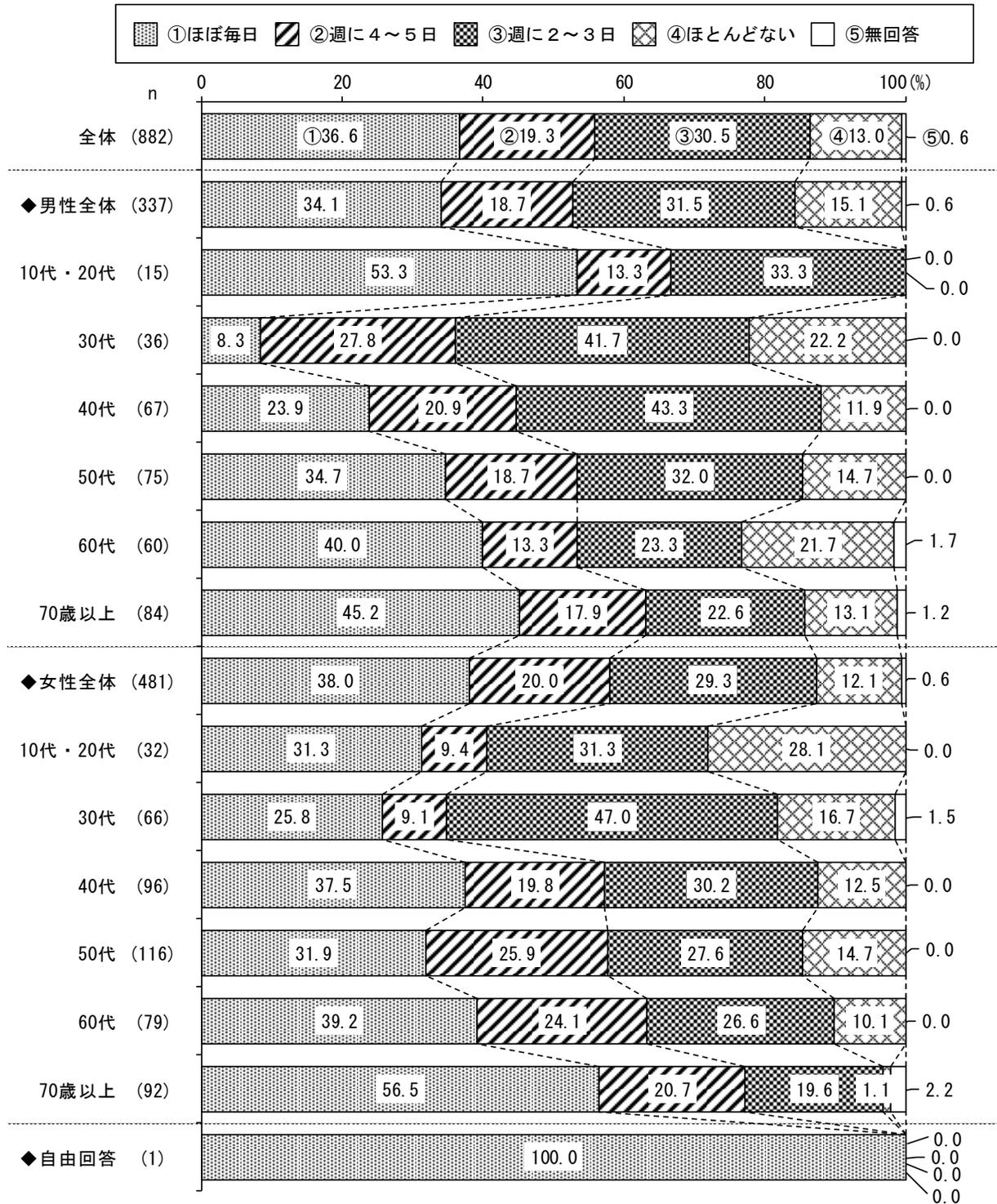
図3-3-1 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つをそろえて食べること  
(経年推移)



1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つをそろえて食べることは、「ほぼ毎日」(36.6%)が3割台半ば超え、「週に2～3日」(30.5%)が約3割、「週に4～5日」(19.3%)が2割弱となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「週に2～3日」(30.5%)は、令和6年度(27.6%)より2.9ポイント高くなっている。(図3-3-1)

図3-3-2 1日に2回以上主食、主菜、副菜の3つをそろえて食べること  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「ほぼ毎日」は男性（34.1%）が3割台半ば近くと、女性（38.0%）を3.9ポイント下回っている。

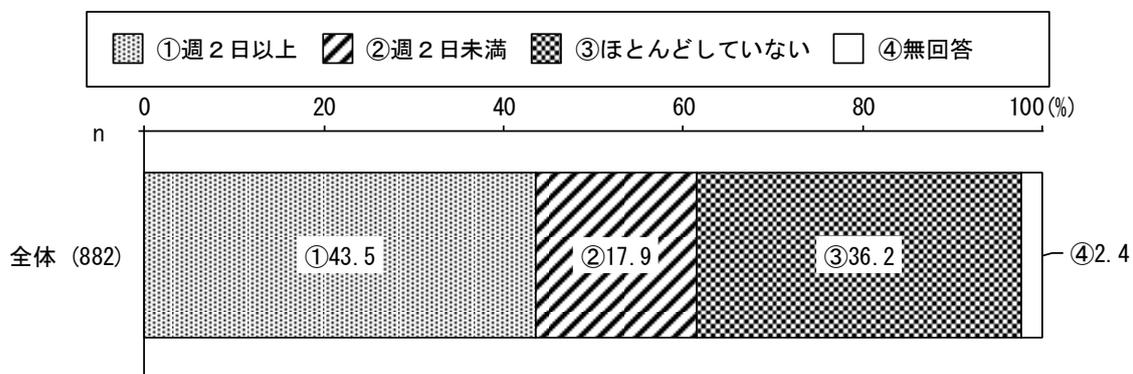
性/年代別で見ると、「ほぼ毎日」は男性の30代（8.3%）が1割未満と、全体（36.6%）を28.3ポイント下回っている。（図3-3-2）

（4）運動の頻度

◎「週2日以上」は4割台半ば近く

問11 あなたは、1日合計30分以上の運動（軽く汗をかく程度以上の運動）を1週間でどれくらいしていますか。（〇は1つ）		(n=882)
1	週2日以上	43.5%
2	週2日未満	17.9
3	ほとんどしていない	36.2
	無回答	2.4

図3-4 運動の頻度



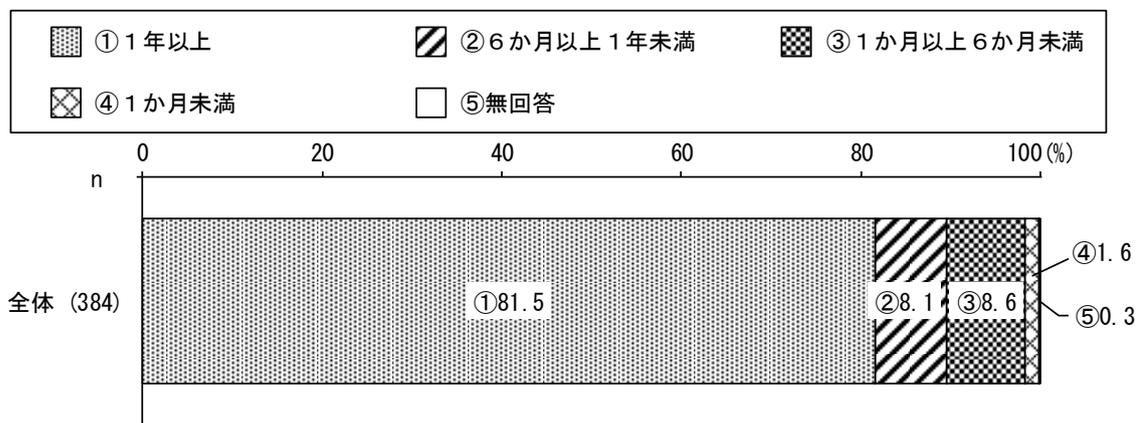
運動の頻度は、「週2日以上」(43.5%)が4割台半ば近く、「ほとんどしていない」(36.2%)が3割台半ば超え、「週2日未満」(17.9%)が1割台半ば超えとなっている。(図3-4)

(5) 運動の期間

◎「1年以上」が8割強

問11-1 問11で、「1週2日以上」に○をした方にお伺いします。		
その運動をどれくらいの期間継続していますか。(○は1つ)		
		(n=384)
1	1年以上	81.5%
2	6か月以上1年未満	8.1
3	1か月以上6か月未満	8.6
4	1か月未満	1.6
	無回答	0.3

図3-5 運動の期間



運動の期間は、「1年以上」(81.5%)が8割強となっている。(図3-5)

## Ⅱ 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

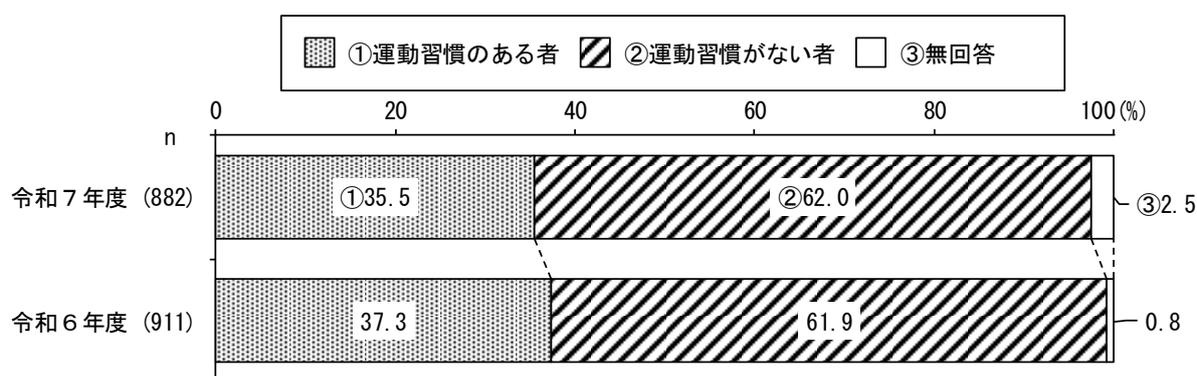
### （参考）運動習慣のある者について

◎厚生労働省で毎年実施している「国民健康・栄養調査」では「運動習慣のある者」とは、1回30分以上の運動を、週に2回以上実施し、1年以上持続している者とされている。

（参考）運動習慣のある者にあてはめた結果は次のようになりました。

	(n=882)
1 運動習慣のある者	35.5%
※問11で「週2日以上」、問11-1「1年以上」と回答した方	
2 運動習慣がない者	62.0
無回答	2.5

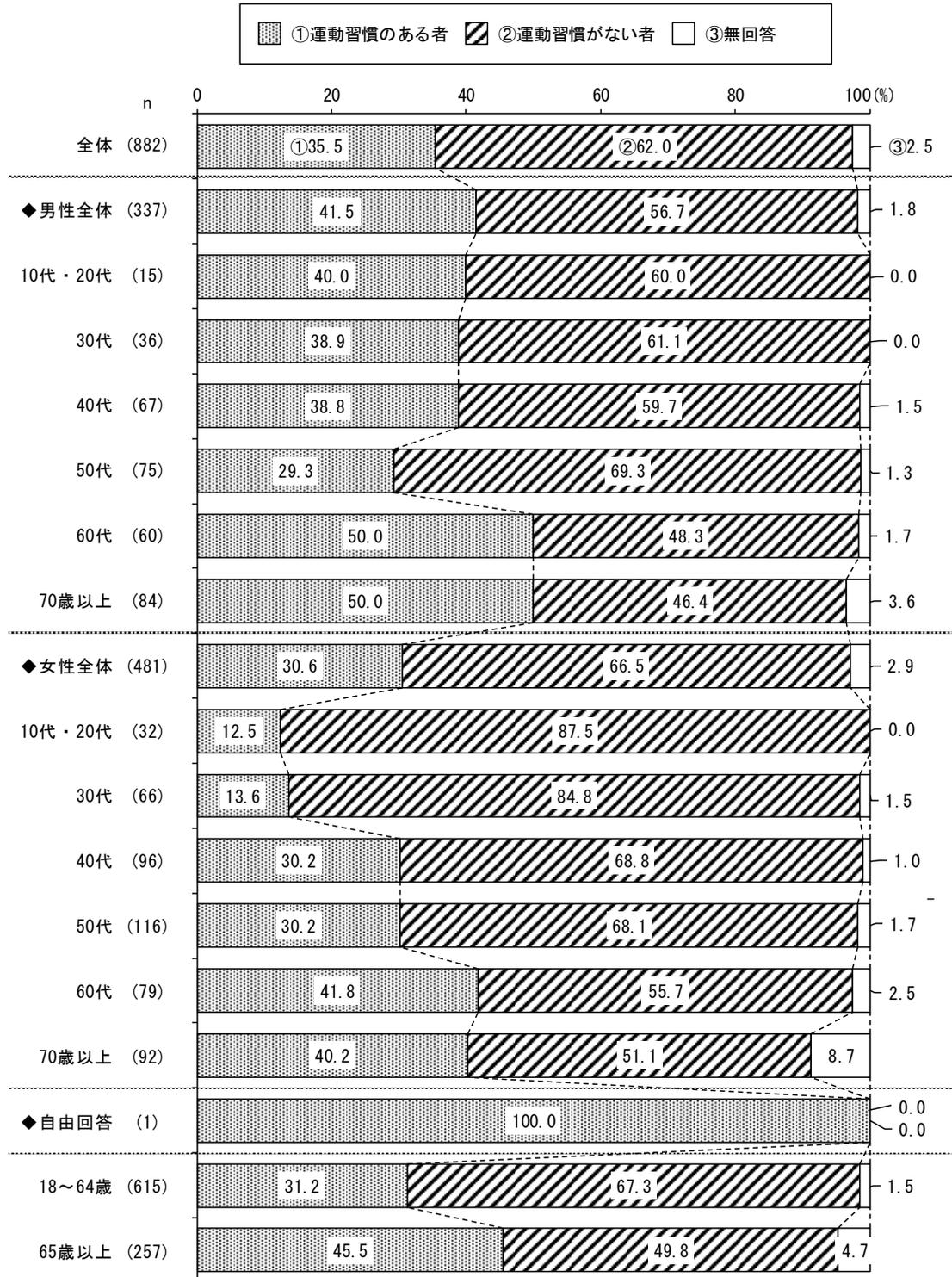
### （参考）運動習慣のある者について （経年推移）



運動習慣のある者について、「運動習慣のある者」(35.5%)が3割台半ば、「運動習慣がない者」(62.0%)が6割強となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「運動習慣のある者」(35.5%)は、令和6年度(37.3%)より1.8ポイント低くなっている。

(参考) 運動習慣のある者について  
(性別・性/年代別、年齢(2区分)別)



性別で見ると、「運動習慣のある者」は男性(41.5%)が4割強と、女性(30.6%)を10.9ポイント上回っている。

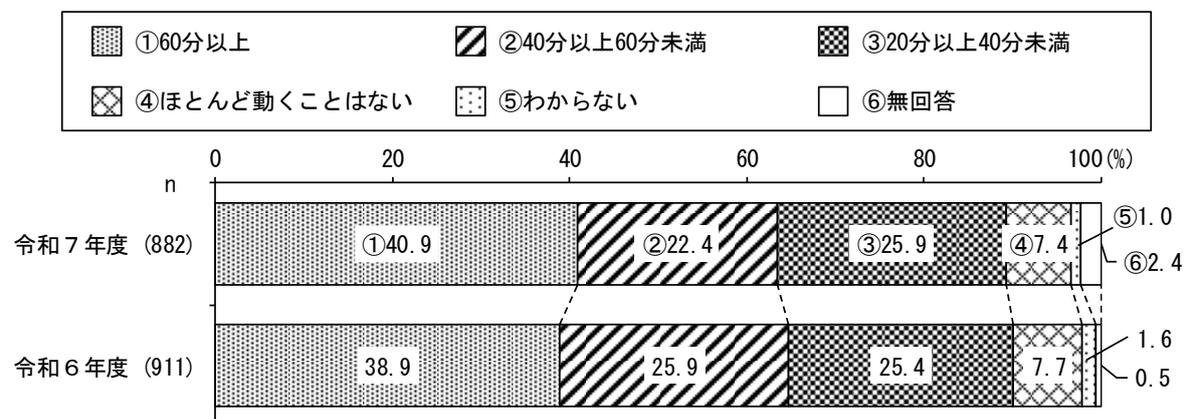
性/年代別で見ると、「運動習慣がない者」は女性の10代・20代(87.5%)が8割台半ばを超え、全体(62.0%)を25.5ポイント上回っている。年齢(2区分)別で見ると、「運動習慣がない者」は18~64歳(67.3%)が6割台半ばを超え、65歳以上(49.8%)を17.5ポイント上回っている。

（6）日常生活で体を動かす時間

◎「60分以上」が約4割

問12 日常生活で体を動かすことについておたずねします。		(n=882)
あなたは毎日どれくらい体を動かしていますか。(〇は1つ)		
1	60分以上	40.9%
2	40分以上60分未満	22.4
3	20分以上40分未満	25.9
4	ほとんど動くことはない	7.4
5	わからない	1.0
	無回答	2.4

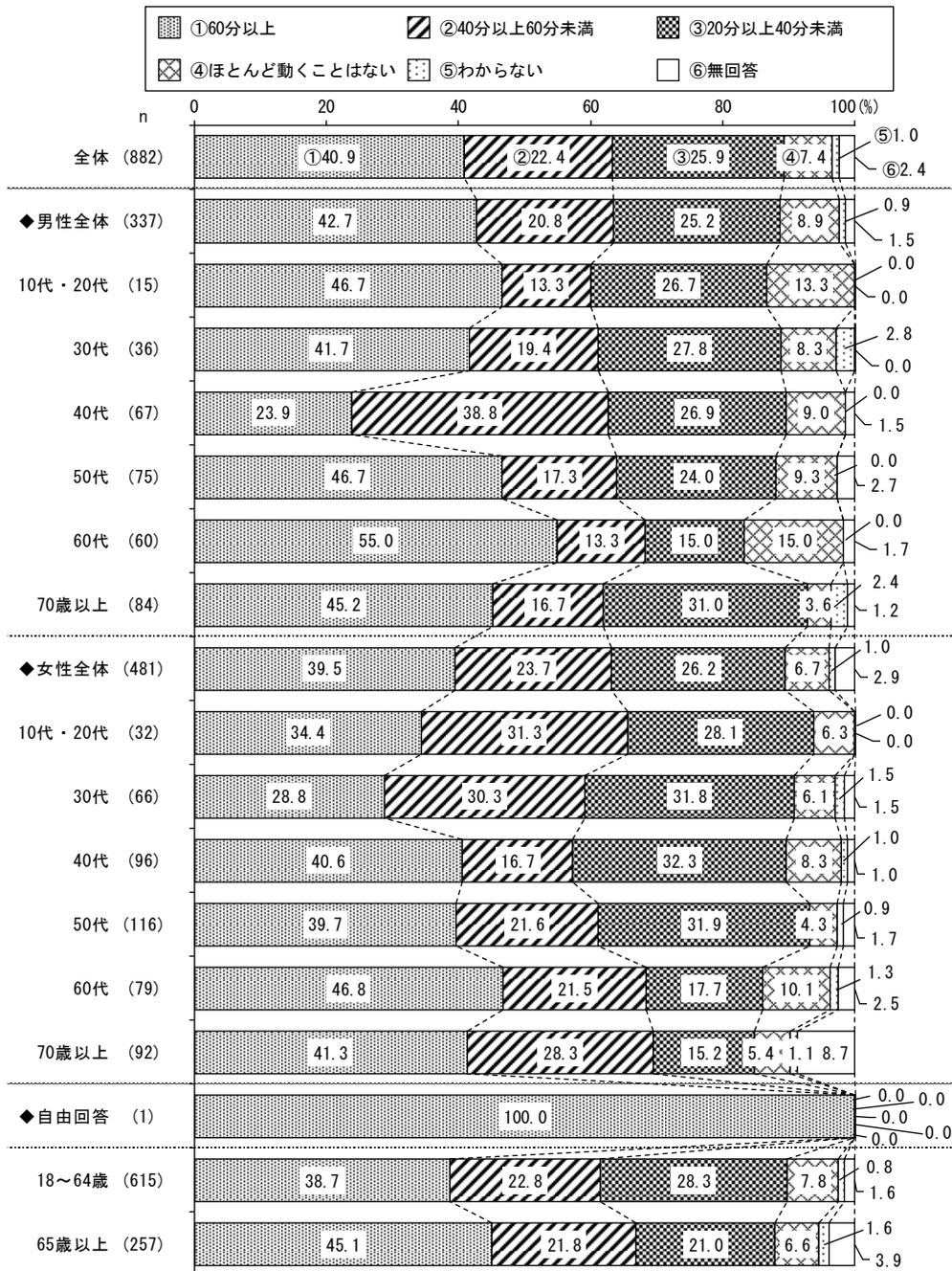
図3-6-1 日常生活で体を動かす時間  
(経年推移)



日常生活で体を動かす時間は、「60分以上」(40.9%)が約4割で最も高く、次いで「20分以上40分未満」(25.9%)が2割台半ば、「40分以上60分未満」(22.4%)が2割強となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「40分以上60分未満」(22.4%)は、令和6年度(25.9%)より3.5ポイント低くなっている。(図3-6-1)

図3-6-2 日常生活で体を動かす時間  
(性別・性/年代別、年齢(2区分)別)



性別で見ると、「60分以上」は男性（42.7%）が4割強と、女性（39.5%）を3.2ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「60分以上」は男性の40代（23.9%）が2割台半ば近くと、全体（40.9%）を17.0ポイント下回っている。（図3-6-2）

(参考)

年齢を18~64歳と65歳以上とに区分し「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」（厚生労働省）で推奨されている身体活動（18~64歳：毎日60分以上、65歳以上：毎日40分以上）をしている割合を抜き出すと、18~64歳は38.7%、65歳以上は66.9%となっている。

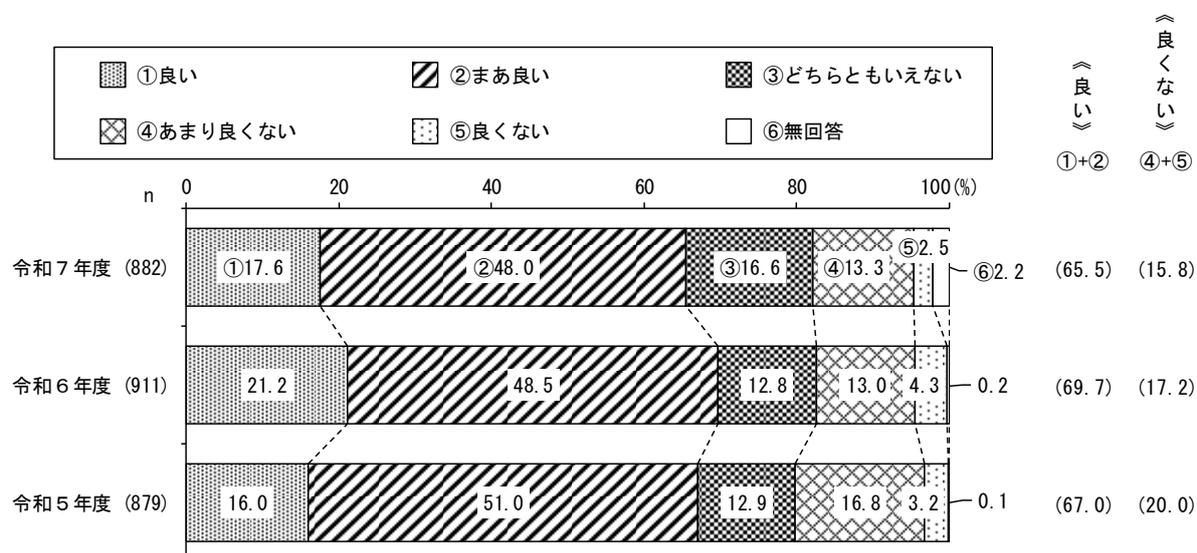
## Ⅱ 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

### （7）現在の健康状態

◎ 《良い》が6割台半ば

問13 あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。（○は1つ）		(n=882)
1	良い	17.6%
2	まあ良い	48.0
3	どちらともいえない	16.6
4	あまり良くない	13.3
5	良くない	2.5
	無回答	2.2

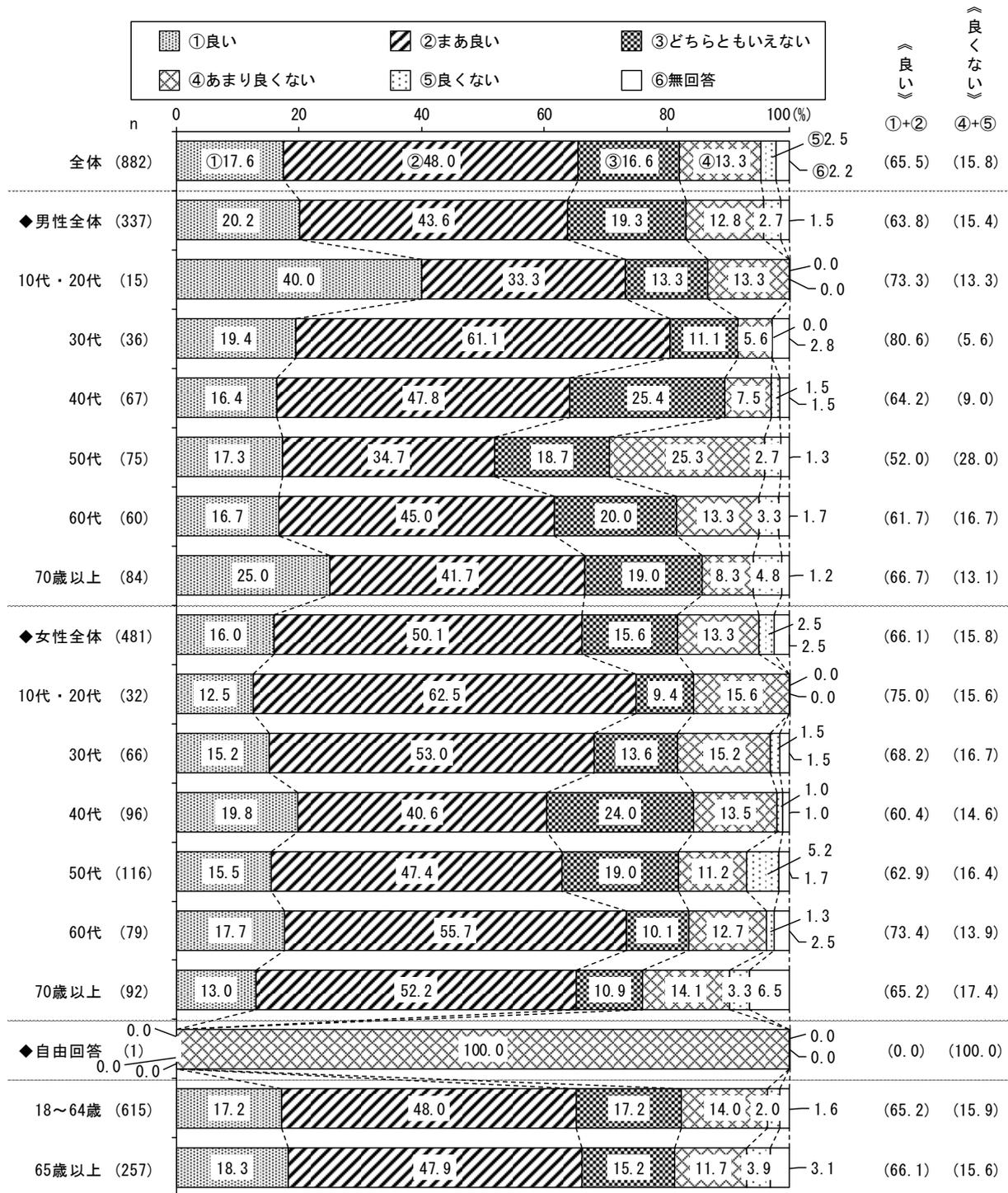
図3-7-1 現在の健康状態  
(経年推移)



現在の健康状態は、「良い」(17.6%)と「まあ良い」(48.0%)を合わせた《良い》(65.5%)が6割台半ばとなっており、「あまり良くない」(13.3%)と「良くない」(2.5%)を合わせた《良くない》(15.8%)が1割台半ばとなっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、《良い》(65.5%)が令和6年度(69.7%)より4.2ポイント低くなっている。(図3-7-1)

図3-7-2 現在の健康状態  
(性別・性/年代別、年齢(2区分)別)



性別でみると、《良い》は女性（66.1%）が6割台半ば超えと、男性（63.8%）を2.3ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《良い》は男性の30代（80.6%）が約8割と、全体（65.5%）を15.1ポイント上回っている。（図3-7-2）

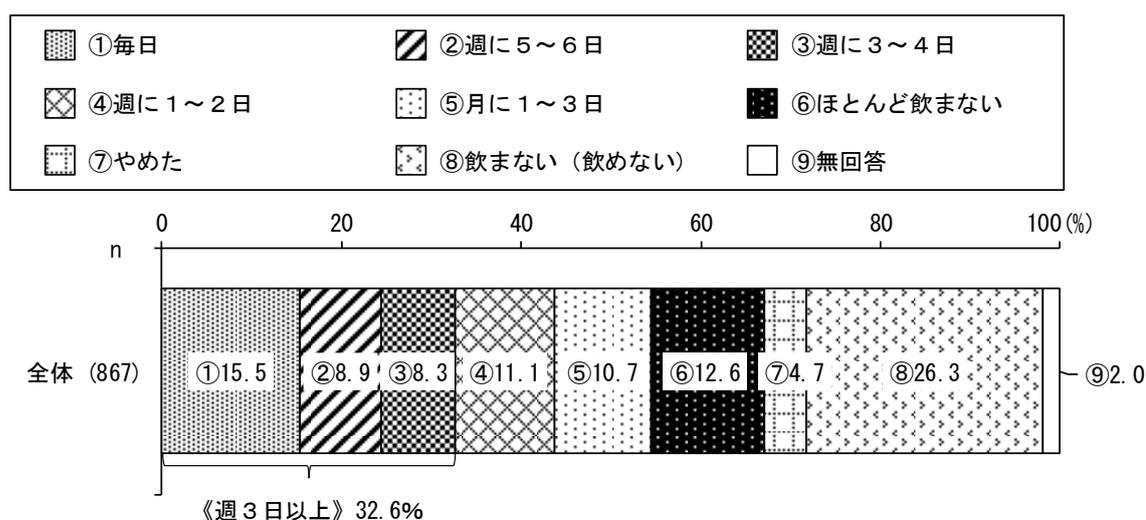
## Ⅱ 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

### （8）飲酒頻度

◎《週3日以上》が3割強

【問うで、「20～24歳」～「14 80歳以上」に○をした方】のみで集計		
問14 あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、洋酒など）を飲みますか。（○は1つ）		
(n=867)		
1	毎日	15.5%
2	週に5～6日	8.9
3	週に3～4日	8.3
4	週に1～2日	11.1
5	月に1～3日	10.7
6	ほとんど飲まない	12.6
7	やめた	4.7
8	飲まない（飲めない）	26.3
	無回答	2.0

図3-8 飲酒頻度



飲酒頻度は、「飲まない（飲めない）」(26.3%)が2割台半ばを超えとなっている。「毎日」(15.5%)と「週に5～6日」(8.9%)と「週に3～4日」(8.3%)を合わせた《週3日以上》(32.6%)が3割強となっている。(図3-8)

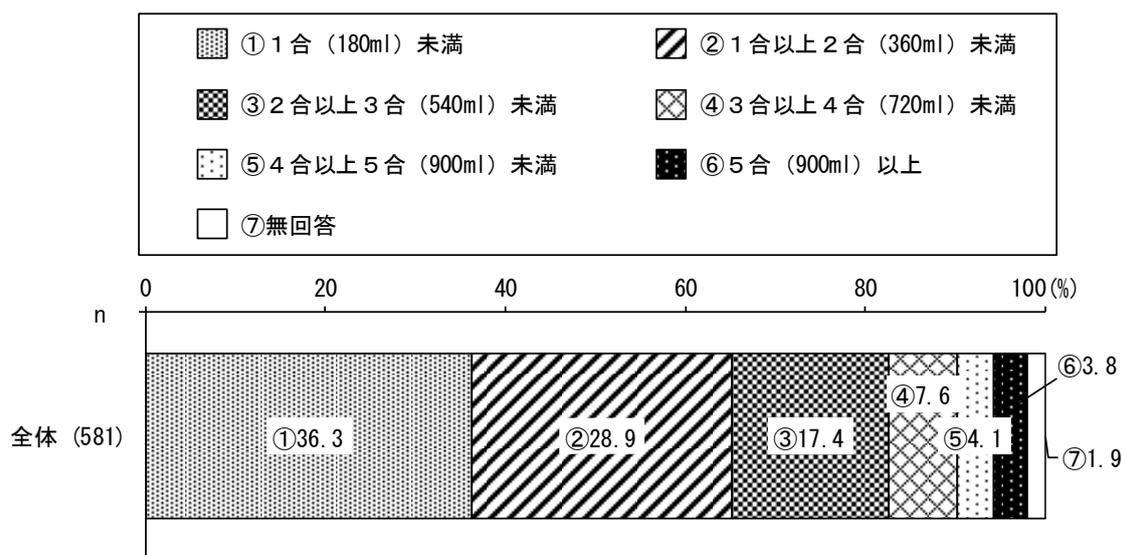
(9) 1日あたりの飲酒量

◎お酒を飲む量は1日「1合(180ml)未満」が3割台半ば超え

【問うで、「2 20~24歳」～「14 80歳以上」に○をした方】のみで集計  
 問14-1 問14で、「1」～「6」に○をした方にお伺いします。  
 お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。(○は1つ)

	(n=581)
1 1合(180ml)未満	36.3%
2 1合以上2合(360ml)未満	28.9
3 2合以上3合(540ml)未満	17.4
4 3合以上4合(720ml)未満	7.6
5 4合以上5合(900ml)未満	4.1
6 5合(900ml)以上	3.8
無回答	1.9

図3-9 1日あたりの飲酒量



1日あたりの飲酒量は、「1合(180ml)未満」(36.3%)が3割台半ば超えで最も高く、次いで「1合以上2合(360ml)未満」(28.9%)が3割近く、「2合以上3合(540ml)未満」(17.4%)が1割台半ば超えとなっている。(図3-9)

## II 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

### （参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について

◎厚生労働省で毎年実施している「国民健康・栄養調査」では「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」とは、1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性20g以上の者とされており、以下の方法で算出。

①男性：「毎日×2合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋  
「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」

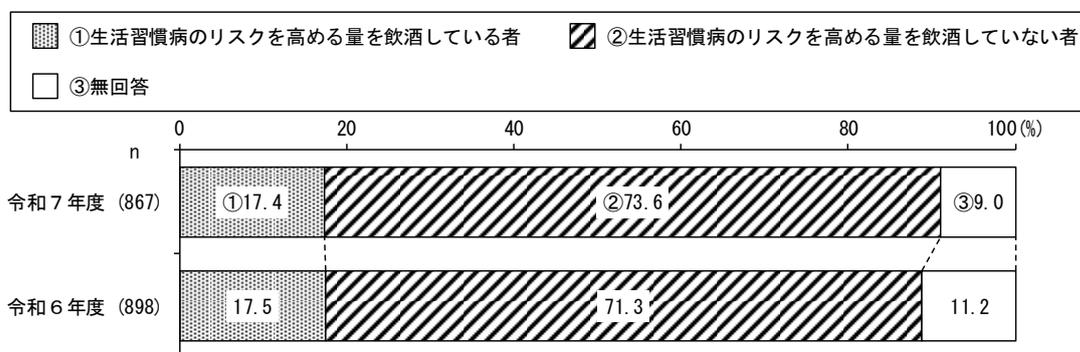
②女性：「毎日×1合以上」＋「週5～6日×1合以上」＋「週3～4日×1合以上」＋  
「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

【問うで、「20～24歳」～「14歳以上」に○をした方】のみで集計

（参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者にあてはめた結果は次のようになりました。

	(n=867)
1 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者 ※問14と問14-1で上記の条件にあてはまる回答をした方	17.4%
2 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者	73.6
無回答	9.0

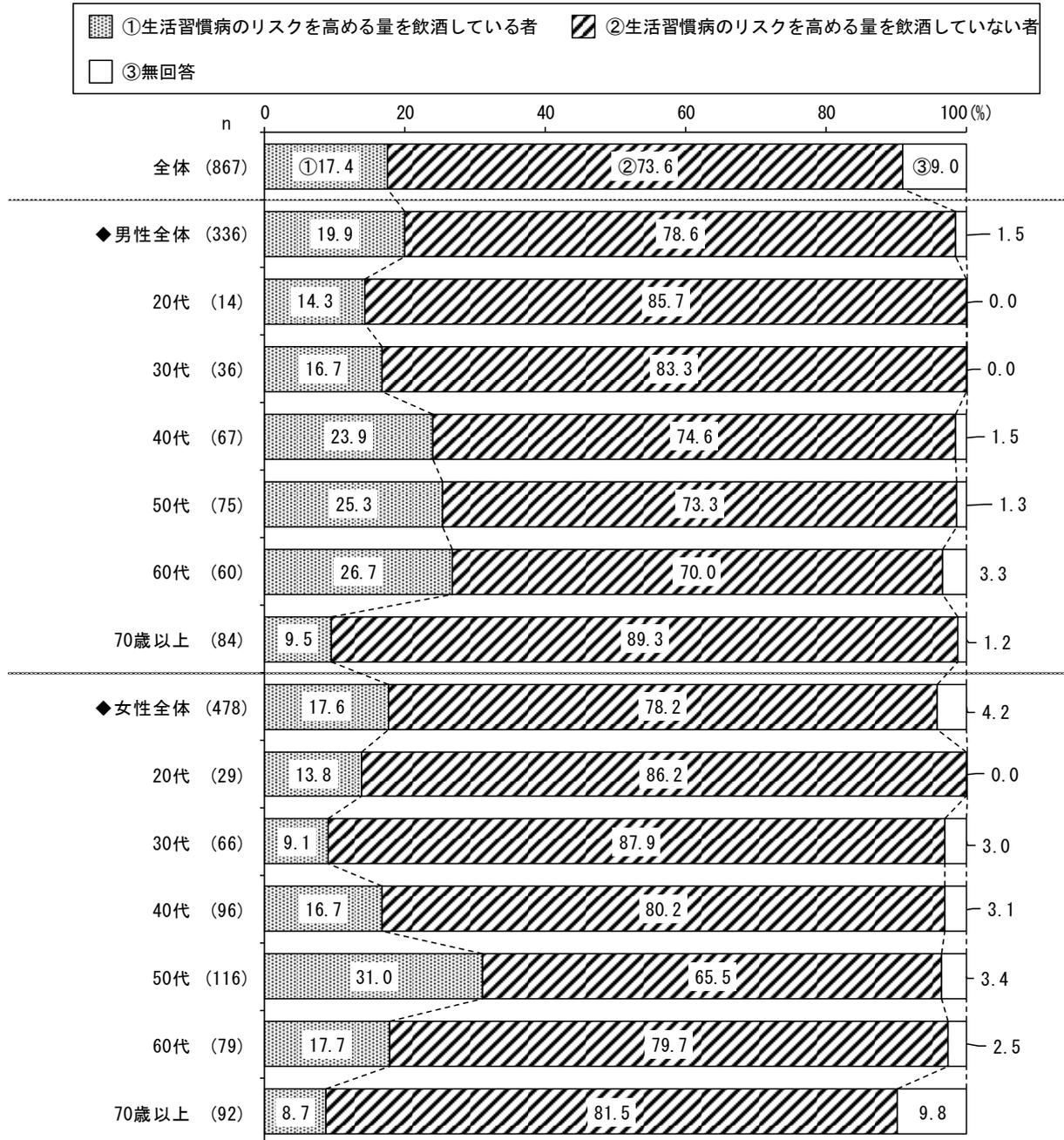
### （参考）生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について （経年推移）



生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」(17.4%)が1割台半ば超え、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者」(73.6%)が7割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒していない者」(73.6%)が令和6年度(71.3%)より2.3ポイント高くなっている。

(参考) 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者について  
(性別・性/年代別)



性別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は男性（19.9%）が2割弱と、女性（17.6%）を2.3ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」は女性の50代（31.0%）が3割強と、全体（17.4%）を13.6ポイント上回っている。

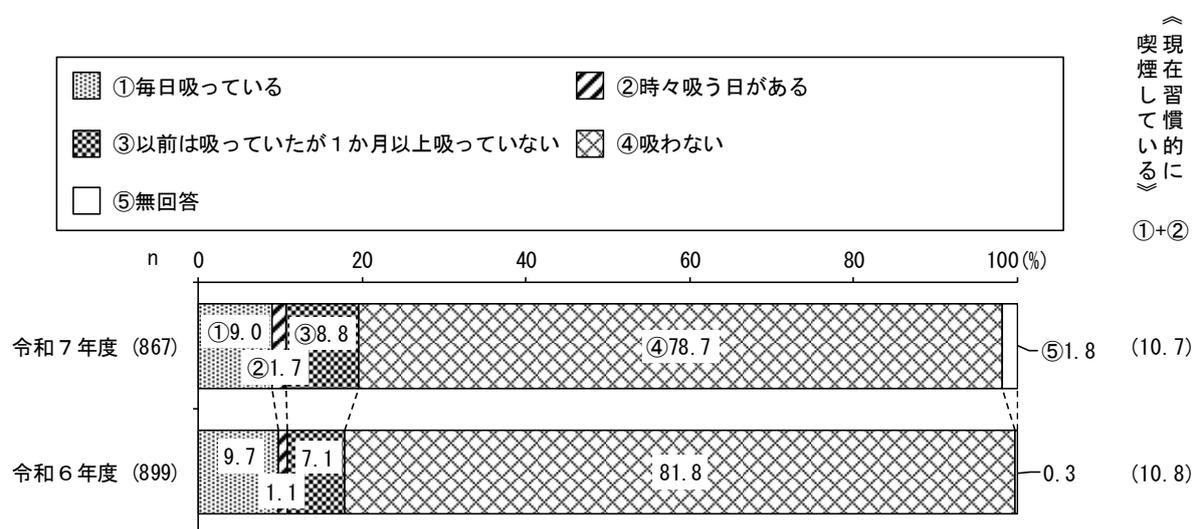
## Ⅱ 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

### （10）喫煙状況

◎たばこを「吸わない」が8割近く

【問うで、「20～24歳」～「14歳以上」に○をした方】のみで集計	
問15 あなたは、たばこを吸いますか。（○は1つ）	
	(n=867)
1 毎日吸っている	9.0%
2 時々吸う日がある	1.7
3 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない	8.8
4 吸わない	78.7
無回答	1.8

図3-10-1 喫煙状況  
(経年推移)

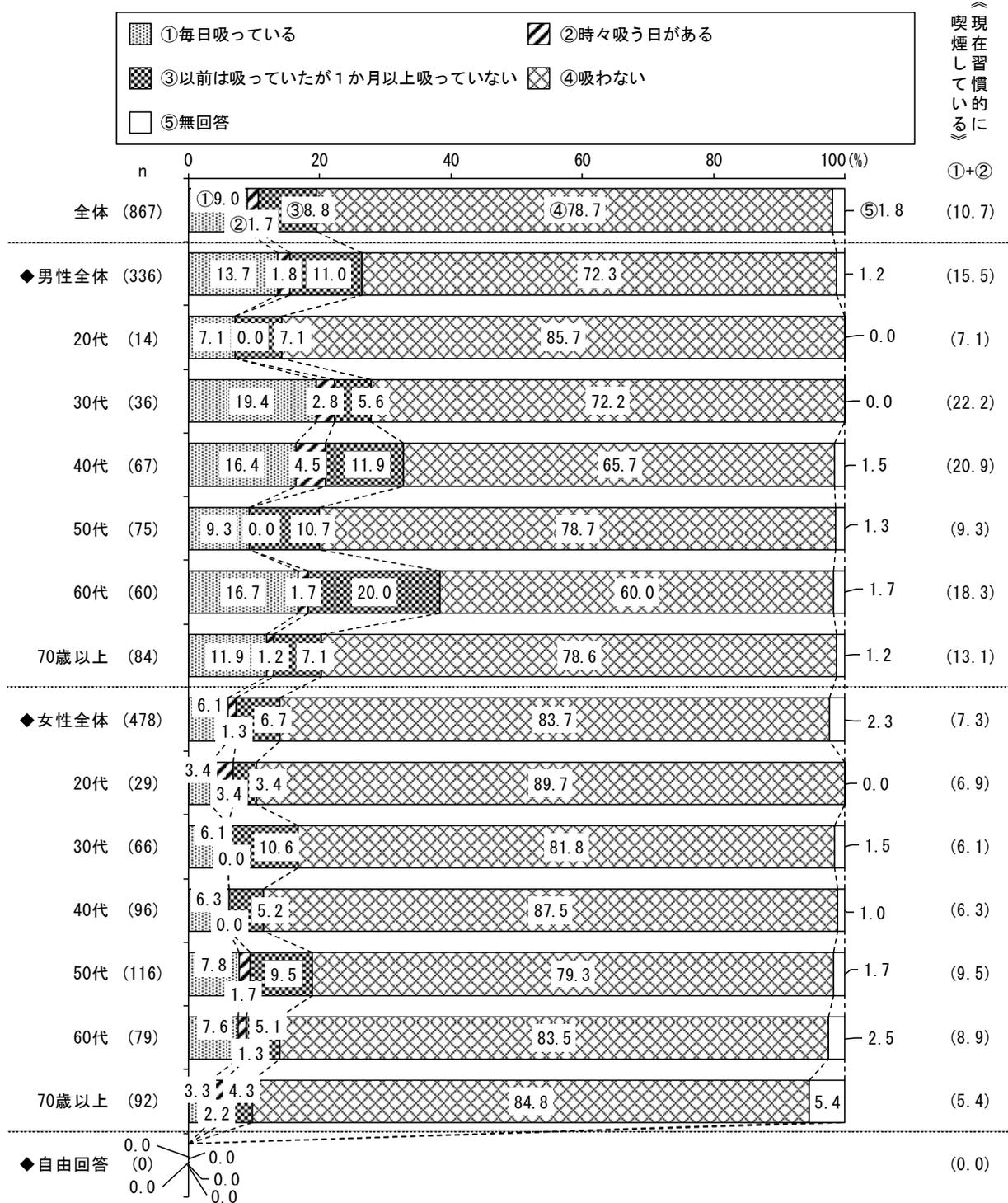


喫煙状況は、「吸わない」(78.7%)が8割近くとなっている。「毎日吸っている」(9.0%)と「時々吸う日がある」(1.7%)を合わせた《現在習慣的に喫煙している》(10.7%)が約1割となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、《現在習慣的に喫煙している》(10.7%)が令和6年度(10.8%)より0.1ポイント低くなっている。

(図3-10-1)

図3-10-2 喫煙状況  
(性別・性/年代別)



性別でみると、《現在習慣的に喫煙している》は男性（15.5%）が1割台半ばとなっており、女性（7.3%）を8.2ポイント上回っている。

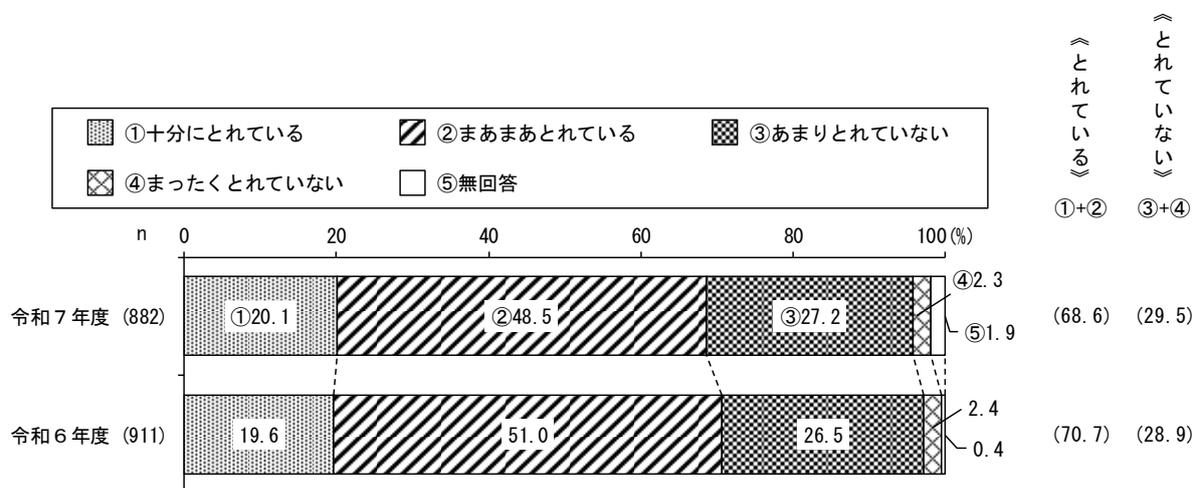
性/年代別でみると、《現在習慣的に喫煙している》は男性の30代（22.2%）が2割強と、全体（10.7%）を11.5ポイント上回っている。（図3-10-2）

(11) 睡眠での十分な休養

◎ 《とれている》が7割近く

問16 この1か月、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。(〇は1つ)		(n=882)
1	十分にとれている	20.1%
2	まあまあとれている	48.5
3	あまりとれていない	27.2
4	まったくとれていない	2.3
	無回答	1.9

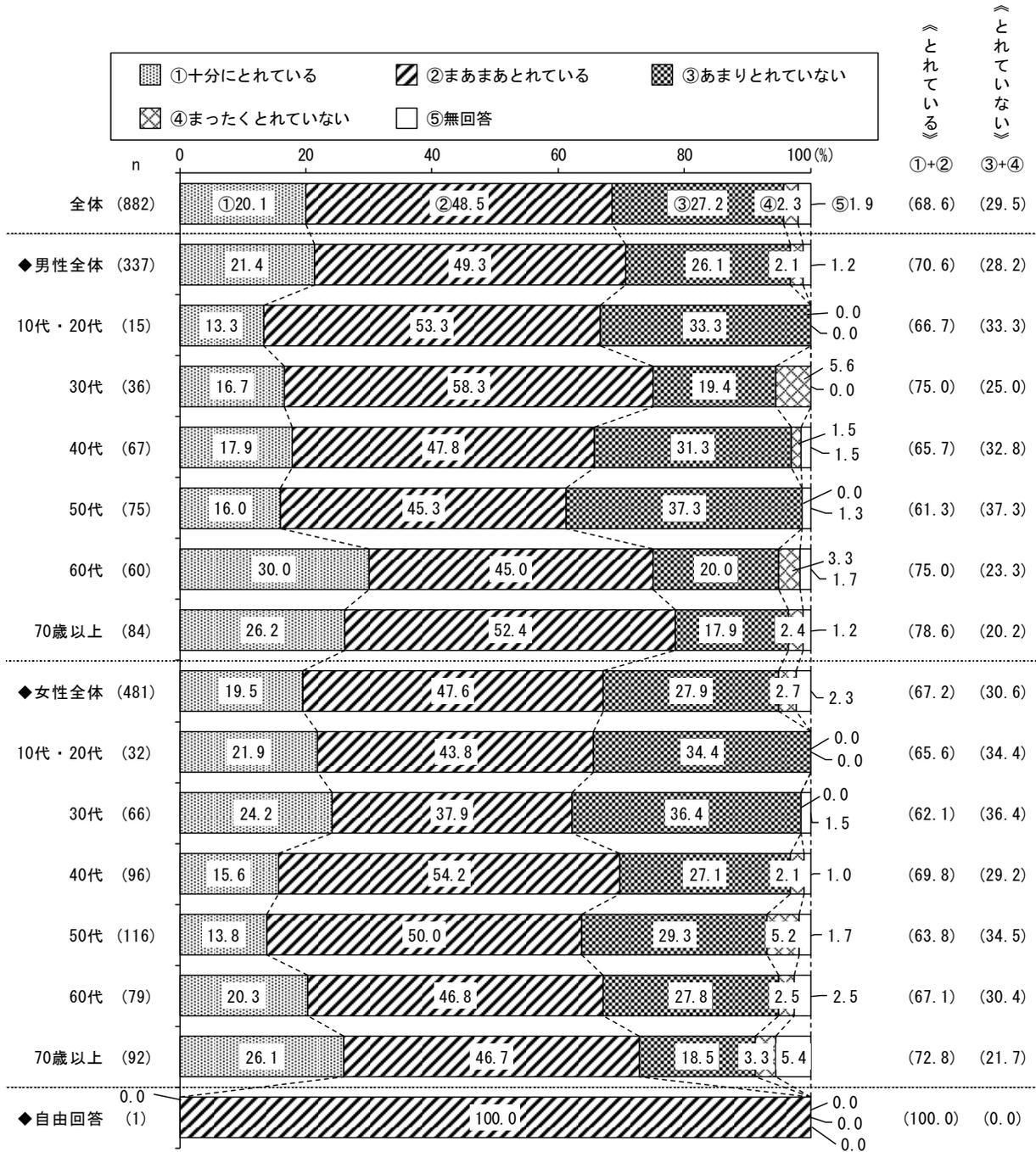
図3-11-1 睡眠での十分な休養  
(経年推移)



睡眠での十分な休養は、「十分にとれている」(20.1%)と「まあまあとれている」(48.5%)を合わせた《とれている》(68.6%)が7割近く、「あまりとれていない」(27.2%)と「まったくとれていない」(2.3%)を合わせた《とれていない》(29.5%)が3割弱となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、《とれている》(68.6%)が令和6年度(70.7%)より2.1ポイント低くなっている。(図3-11-1)

図3-11-2 睡眠での十分な休養  
(性別・性/年代別)



性別でみると、《とれていない》は女性（30.6%）が約3割となっており、男性（28.2%）を2.4ポイント上回っている。

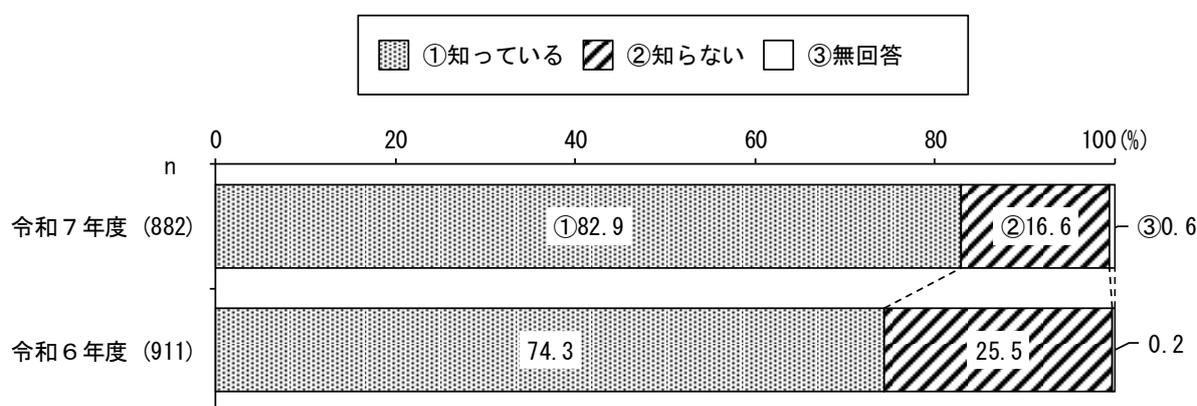
性/年代別でみると、《とれている》は男性の70歳以上（78.6%）が8割近くで、全体（68.6%）を10.0ポイント上回っている。（図3-11-2）

(12) 5つの生活習慣に気をつけると、がんになるリスクが大幅に低下すること

◎「知っている」が8割強

問17 あなたは、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの生活習慣に気をつけて生活するとがんになるリスクが大幅に低下することを知っていますか。 (〇は1つ)		(n=882)
1	知っている	82.9%
2	知らない	16.6%
	無回答	0.6%

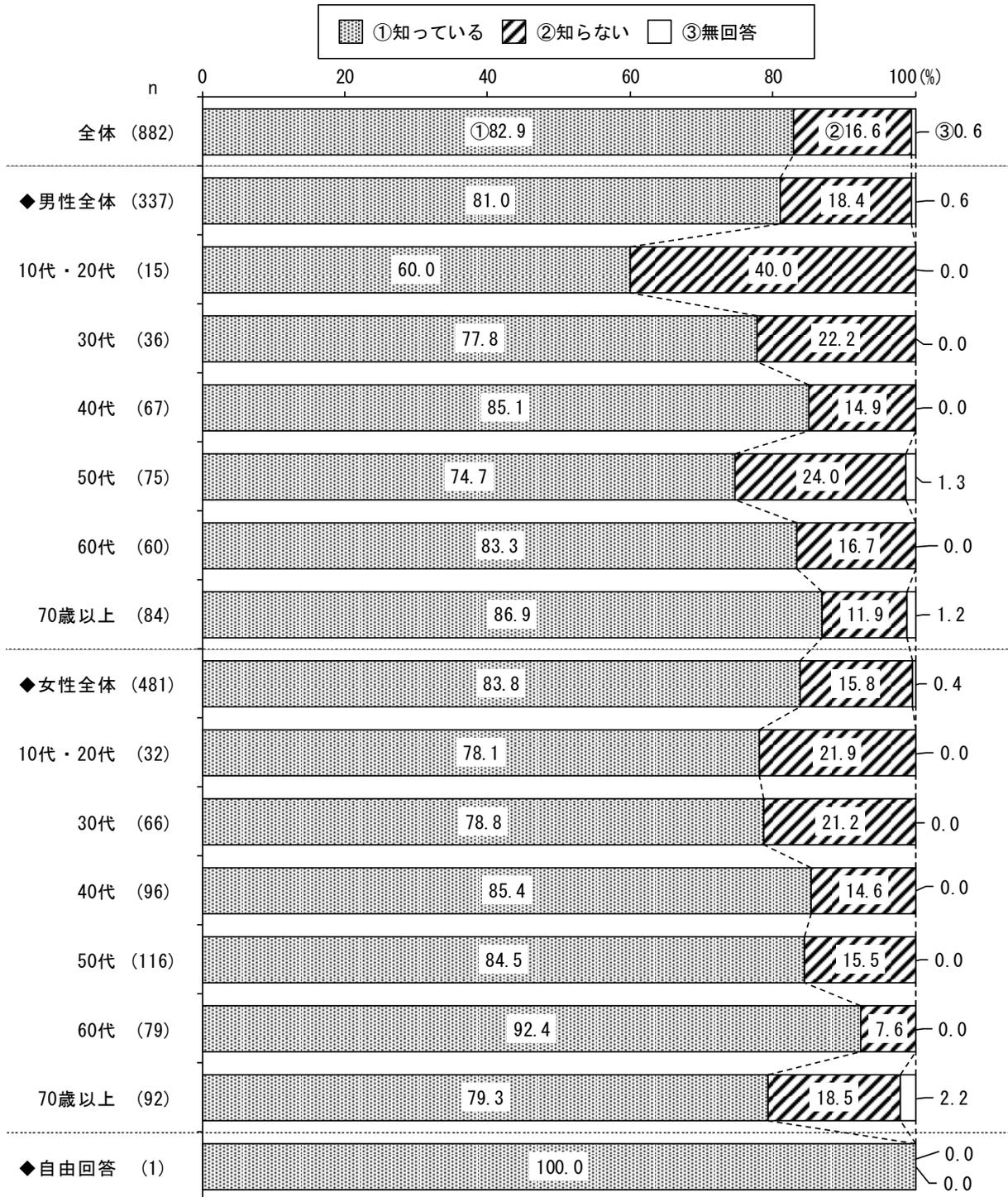
図3-12-1 5つの生活習慣に気をつけると、がんになるリスクが大幅に低下すること  
(経年推移)



5つの生活習慣に気をつけると、がんになるリスクが大幅に低下することは、「知っている」(82.9%)が8割強となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知らない」(16.6%)が令和6年度(25.5%)より8.9ポイント低くなっている。(図3-12-1)

図3-12-2 5つの生活習慣に気をつけると、がんになるリスクが大幅に低下すること  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「知っている」は女性(83.8%)が8割台半ば近くとなっており、男性(81.0%)を2.8ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「知らない」は男性の10代・20代(40.0%)が4割で、全体(16.6%)を23.4ポイント上回っている。(図3-12-2)

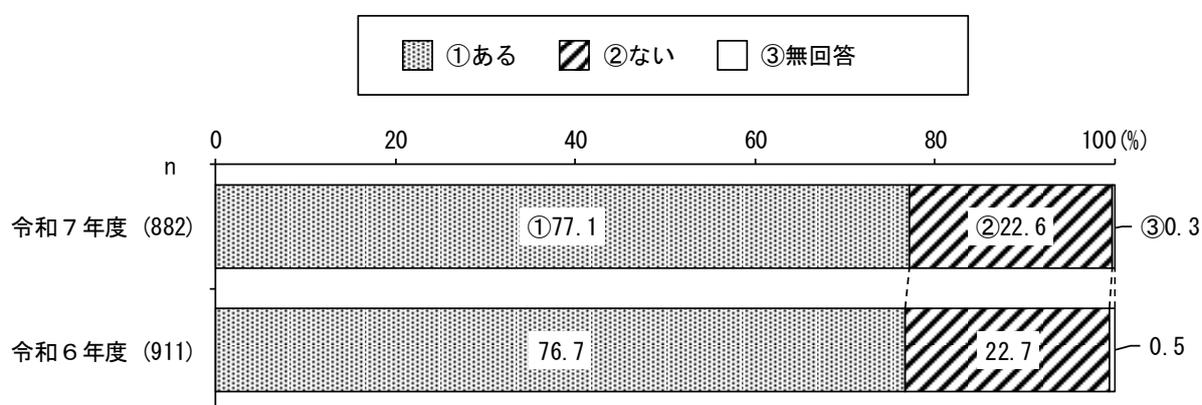
## Ⅱ 調査の結果（テーマ3 健康づくりについて）

### （13）かかりつけ歯科医の有無

◎「ある」が7割台半ば超え

問18 あなたには、かかりつけ歯科医がいますか。（○は1つ）		(n=882)
1	ある	77.1%
2	ない	22.6
	無回答	0.3

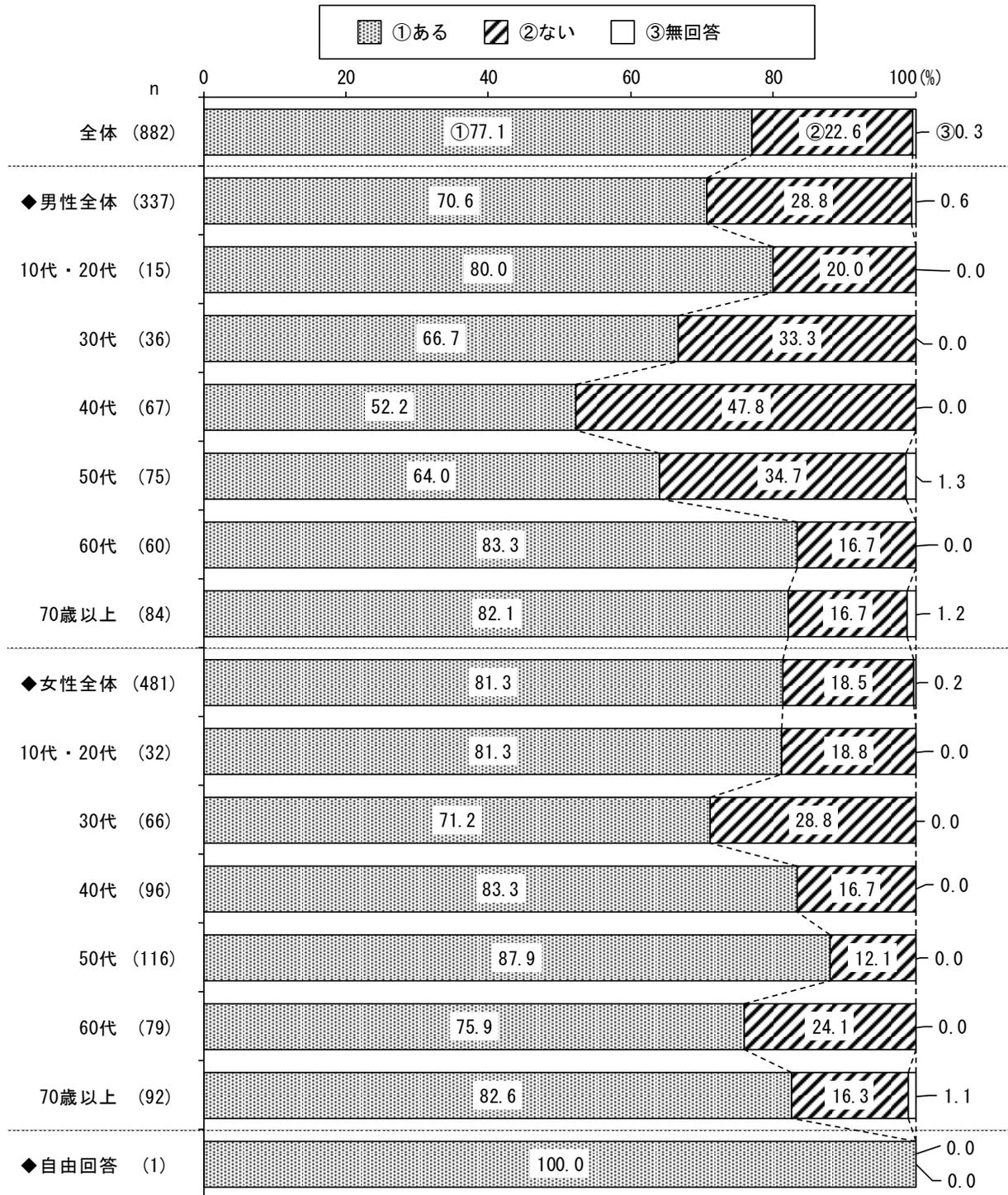
図3-13-1 かかりつけ歯科医の有無  
（経年推移）



かかりつけ歯科医の有無は、「ある」（77.1％）が7割台半ば超え、「ない」（22.6％）が2割強となっている。

前回の調査結果（令和6年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「ある」（77.1％）が令和6年度（76.7％）より0.4ポイント高くなっている。（図3-13-1）

図3-13-2 かかりつけ歯科医の有無  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「ある」は女性（81.3%）が8割強と、男性（70.6%）を10.7ポイント上回っている。

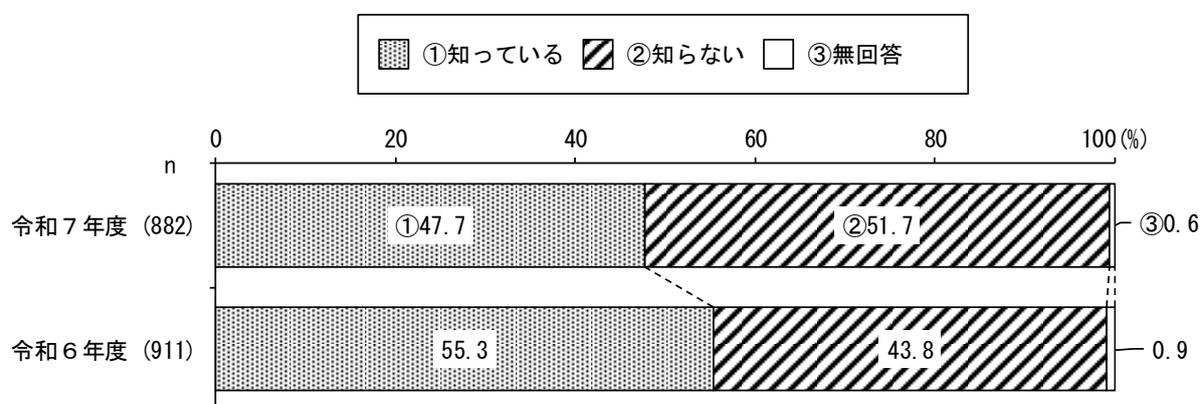
性/年代別で見ると、「ない」は男性の40代（47.8%）が4割台半ばを超え、全体（22.6%）を25.2ポイント上回っている。（図3-13-2）

(14) こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について

◎「知っている」が4割台半ば超え

問19 あなたは、こころの問題（ストレスや病気など）について気軽に相談できる場所・窓口を知っていますか。（〇は1つ）		(n=882)
1	知っている	47.7%
2	知らない	51.7
	無回答	0.6

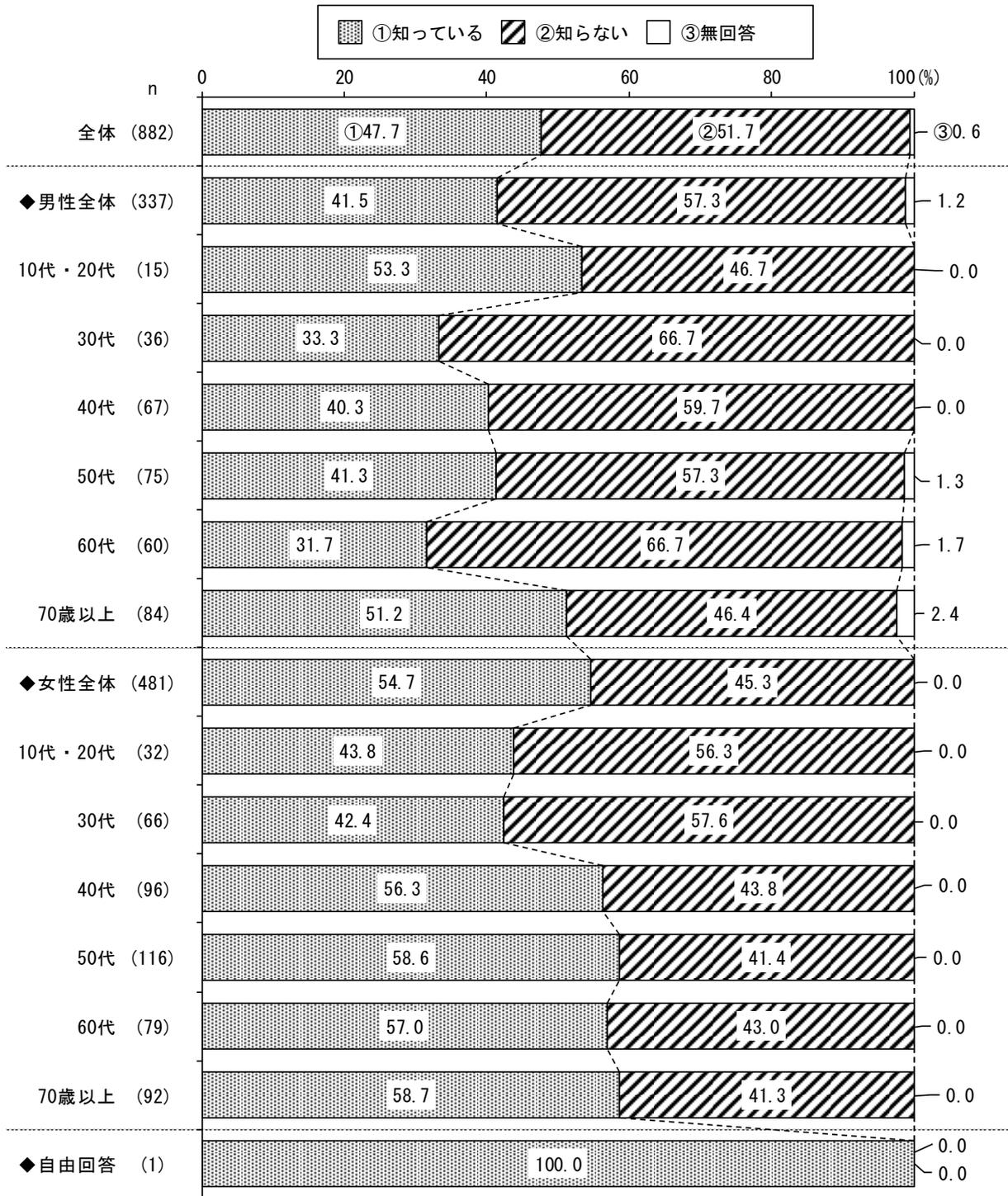
図3-14-1 こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について  
(経年推移)



こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について、「知っている」(47.7%)が4割台半ばを超えており、「知らない」(51.7%)が5割強となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知っている」(47.7%)が前回(55.3%)より7.6ポイント低くなっている。(図3-14-1)

図3-14-2 こころの問題を気軽に相談できる場所・窓口について  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「知っている」は女性（54.7%）が5割半ば近くと、男性（41.5%）を13.2ポイント上回っている。

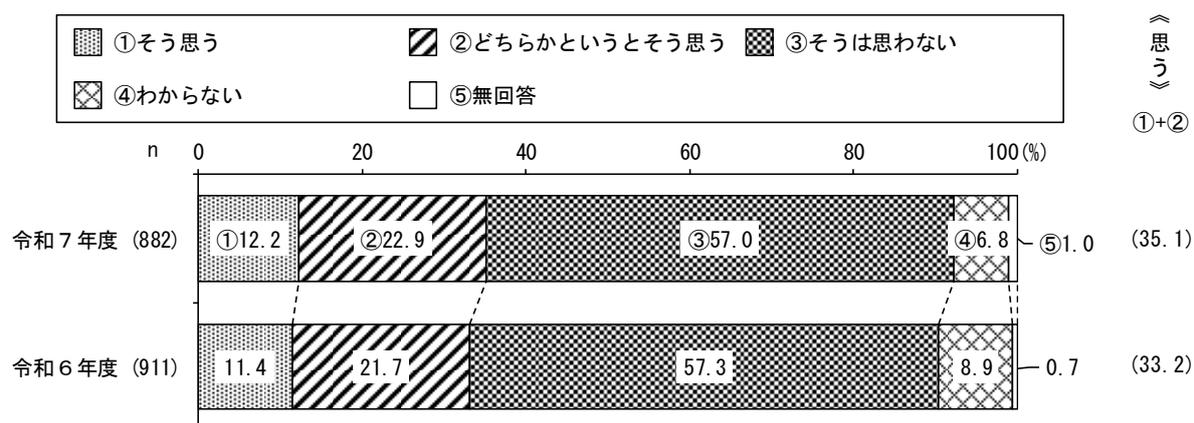
性/年代別で見ると、「知っている」は男性の60代（31.7%）が3割強と、全体（47.7%）を16.0ポイント下回っている。（図3-14-2）

(15) 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるか

◎「そうは思わない」が5割台半ば超え

問20 あなたが、悩みを抱えたときやストレスを感じたときのことについて、お聞きします。 誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。 (〇は1つ)		(n=882)
1	そう思う	12.2%
2	どちらかというと思う	22.9
3	そうは思わない	57.0
4	わからない	6.8
	無回答	1.0

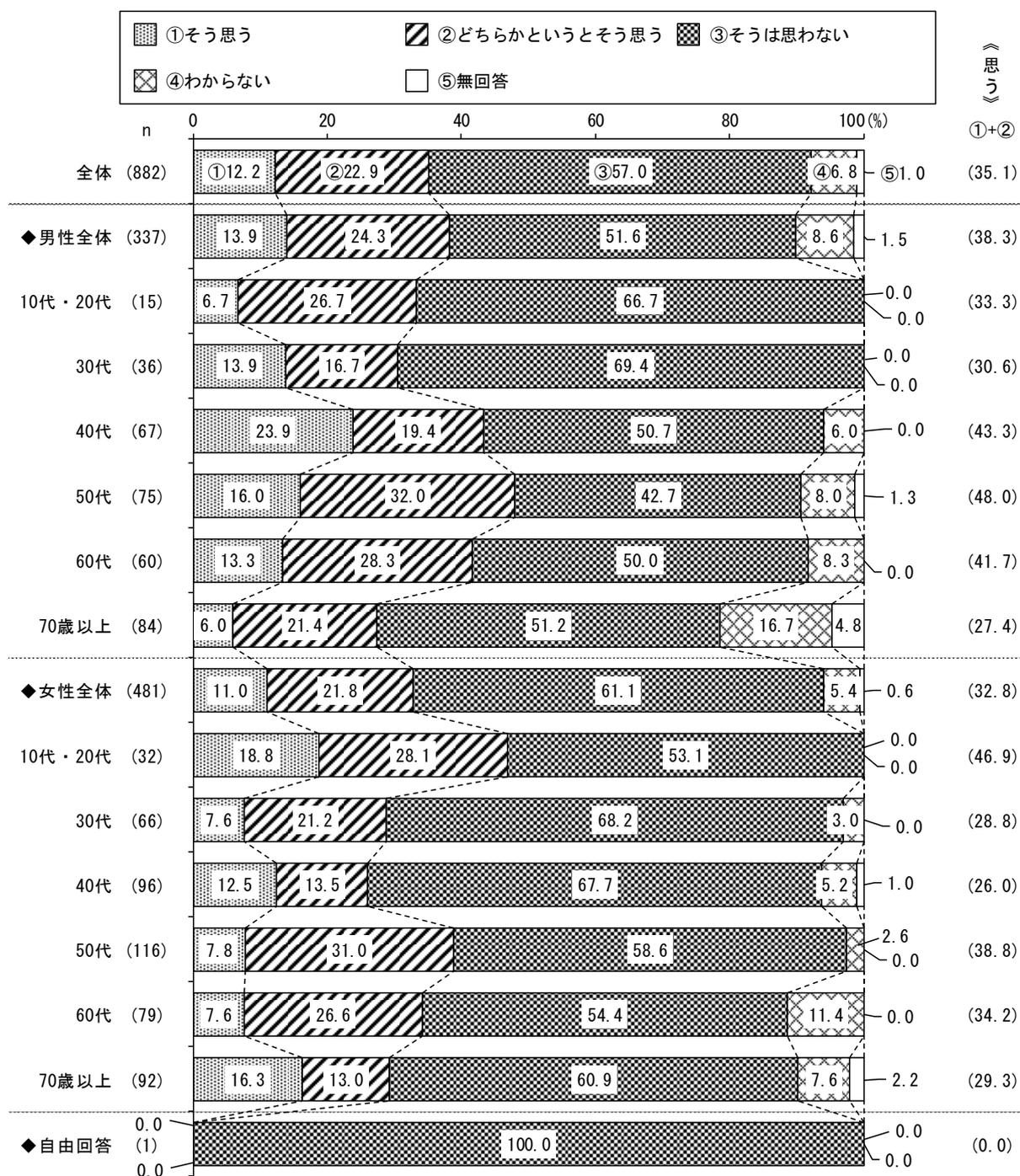
図3-15-1 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるか  
(経年推移)



悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるかについて、「そう思う」(12.2%)と「どちらかというと思う」(22.9%)を合わせた《思う》(35.1%)が3割台半ば、「そうは思わない」(57.0%)が5割台半ば超えとなっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、《思う》(35.1%)が令和6年度(33.2%)より1.9ポイント高くなっている。(図3-15-1)

図3-15-2 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるか  
(性別・性/年代別)



性別でみると、《思う》は男性（38.3%）が4割近くと、女性（32.8%）を5.5ポイント上回っている。

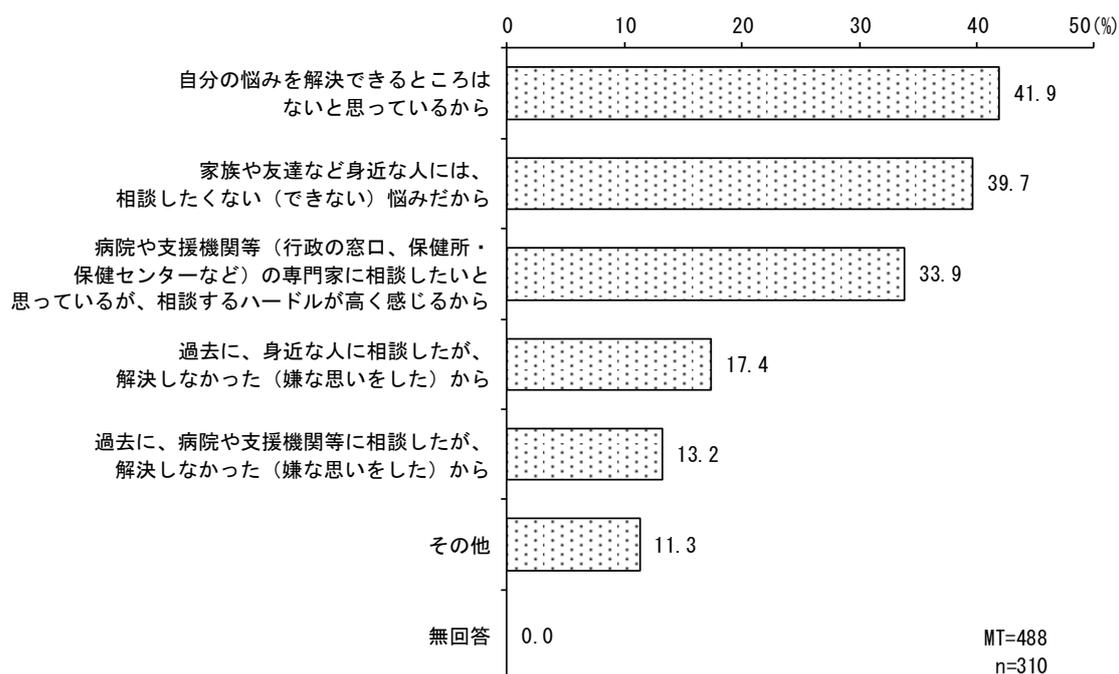
性/年代別でみると、《思う》は男性の50代（48.0%）が5割近くとなっており、全体（35.1%）を12.9ポイント上回っている。（図3-15-2）

(16) 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由

◎「自分の悩みを解決できる場所はないと思っているから」が4割強

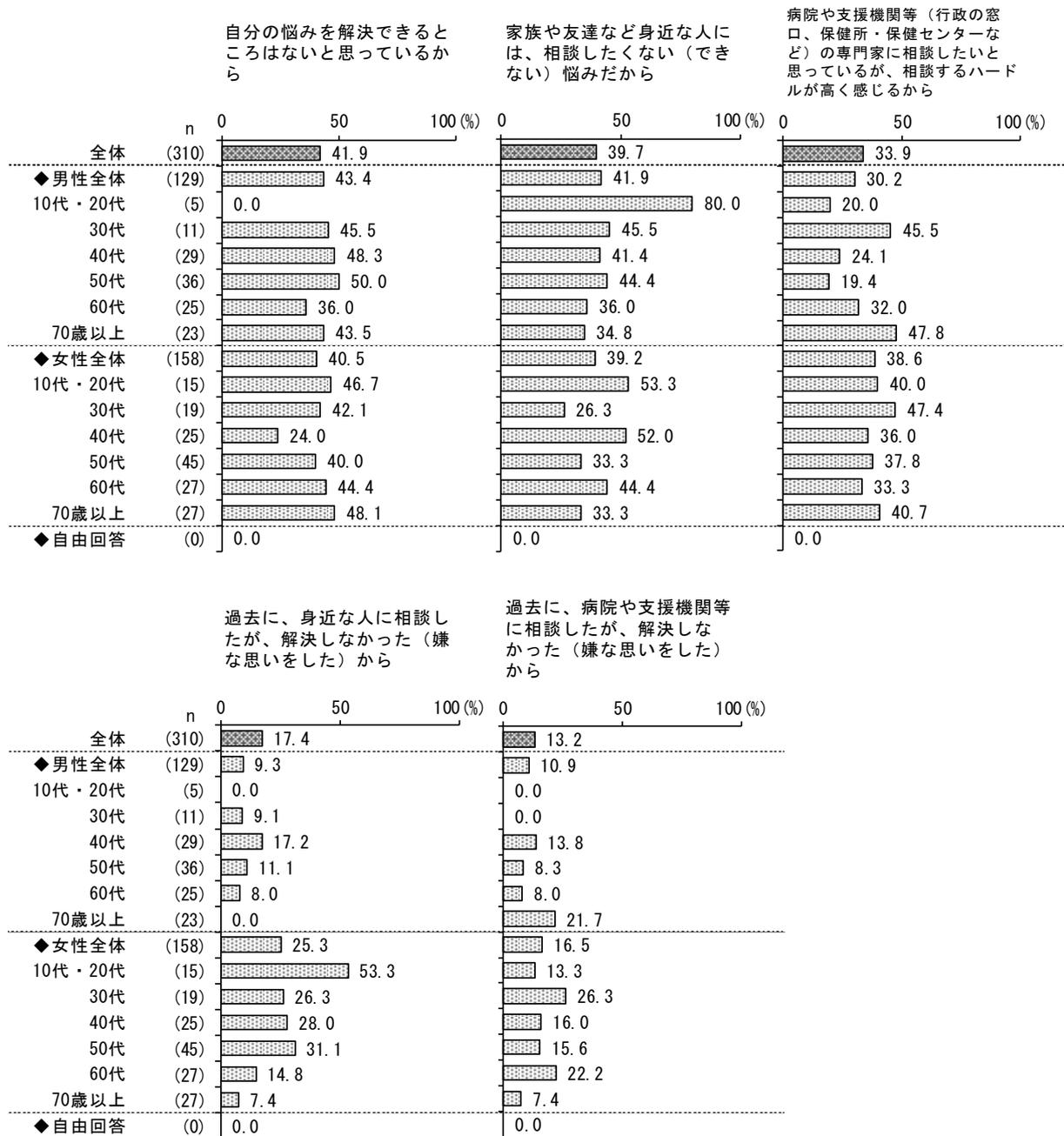
問20-1 問20で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。 誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由は何ですか。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）		(n=310)
1	家族や友達など身近な人には、相談したくない（できない）悩みだから	39.7%
2	病院や支援機関等（行政の窓口、保健所・保健センターなど）の専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから	33.9
3	過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から	17.4
4	過去に、病院や支援機関等に相談したが、解決しなかった（嫌な思いをした）から	13.2
5	自分の悩みを解決できる場所はないと思っているから	41.9
6	その他	11.3
	無回答	0.0

図3-16-1 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由



悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由について、「自分の悩みを解決できる場所はないと思っているから」（41.9%）が4割強で最も高く、次いで「家族や友達など身近な人には、相談したくない（できない）悩みだから」（39.7%）が4割弱、「病院や支援機関等（行政の窓口、保健所・保健センターなど）の専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから」（33.9%）が3割台半ば近くと続いている。（図3-16-1）

図3-16-2 悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由  
(性別・性/年代別) 上位5項目



上位5項目について、性別でみると、「病院や支援機関等(行政の窓口、保健所・保健センターなどの)専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じるから」は男性(30.2%)が約3割と、女性(38.6%)を8.4ポイント下回っている。

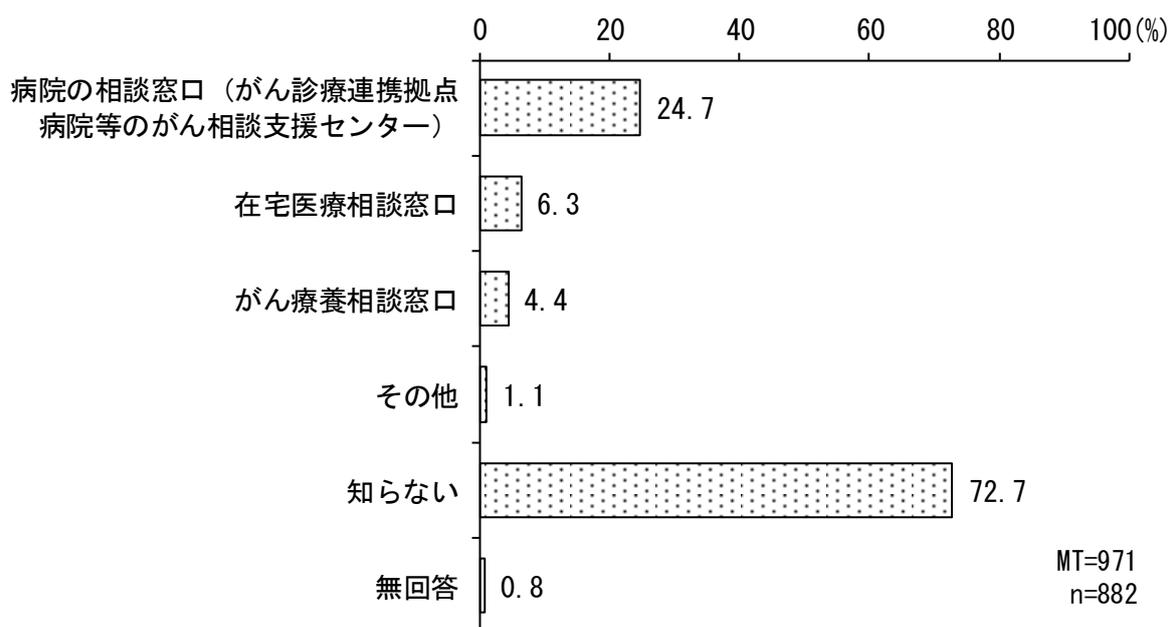
性/年代別でみると、「過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった(嫌な思いをした)から」は女性の10代・20代(53.3%)が5割台半ば近くと、全体(17.4%)を35.9ポイント上回っている。(図3-16-2)

(17) がんになった時に在宅で治療を受けながら生活をしていく際の相談先として知っているもの

◎「知らない」が7割強

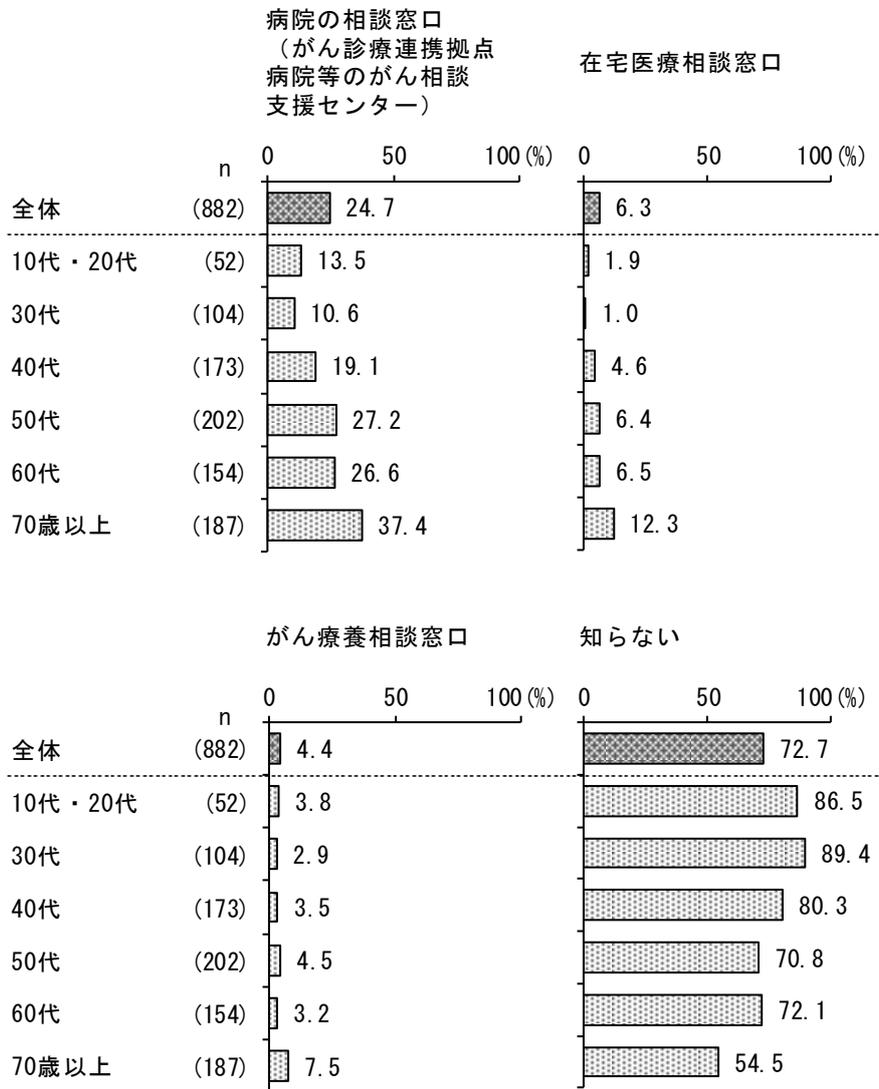
問2 1 新宿区内には、がん患者とその家族等が住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう、相談窓口が開設されています。がんになった時に在宅で治療を受けながら生活していく際の相談先を知っていますか。 <u>(知っているものいくつかでも○をつけてください)</u>		(n=882)
1	病院の相談窓口（がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター）	24.7%
2	在宅医療相談窓口	6.3
3	がん療養相談窓口	4.4
4	その他	1.1
5	知らない	72.7
	無回答	0.8

図3-17-1 相談窓口の認知度



がんになった時に在宅で治療を受けながら生活をしていく際の相談先については「知らない」(72.7%)が7割強となっている。知っているものの中では、「病院の相談窓口（がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター）」(24.7%)が2割台半ば近くで最も高い。(図3-17-1)

図3-17-2 がんになった時に在宅で治療を受けながら生活をしていく際の相談先として知っているもの（年代別）



年代別でみると、「病院の相談窓口（がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター）」は、70歳以上（37.4%）が3割台半ばを超え、全体（24.7%）を12.7ポイント上回っている。「知らない」は、70歳以上（54.5%）が5割台半ば近くで、全体（72.7%）を18.2ポイント下回っている。一方、30代（89.4%）が9割弱と、全体（72.7%）を16.7ポイント上回っている。（図3-17-2）

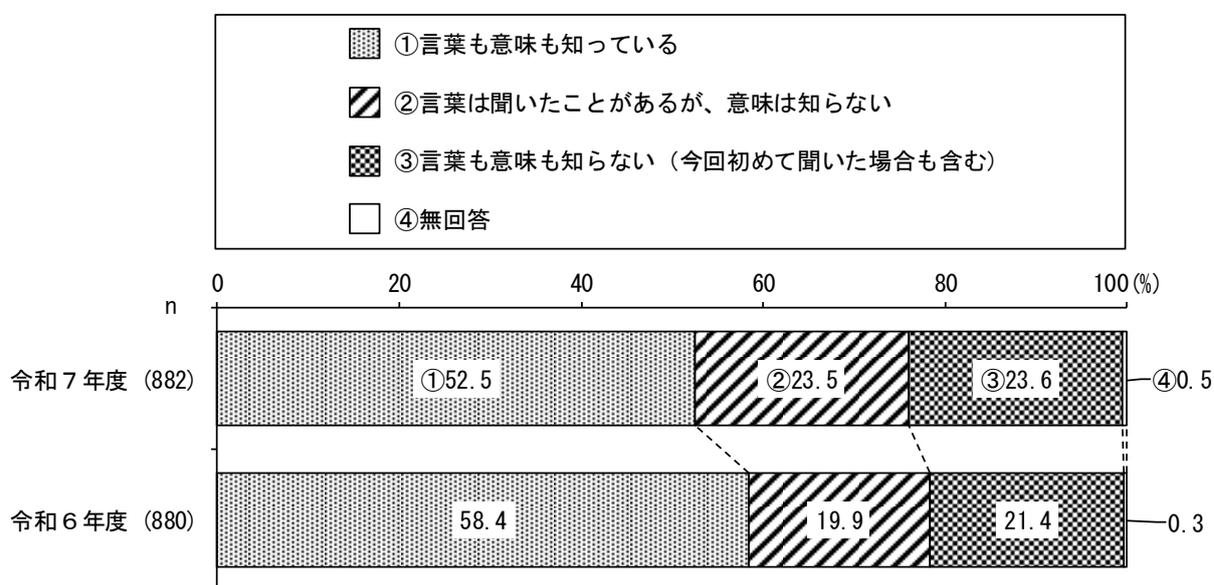
## テーマ4 ユニバーサルデザインについて

### （1）ユニバーサルデザインの認知状況

◎ユニバーサルデザインを「言葉も意味も知っている」が5割強

問22 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（○は1つ）		(n=882)
1	言葉も意味も知っている	52.5%
2	言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	23.5%
3	言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合も含む）	23.6%
	無回答	0.5%

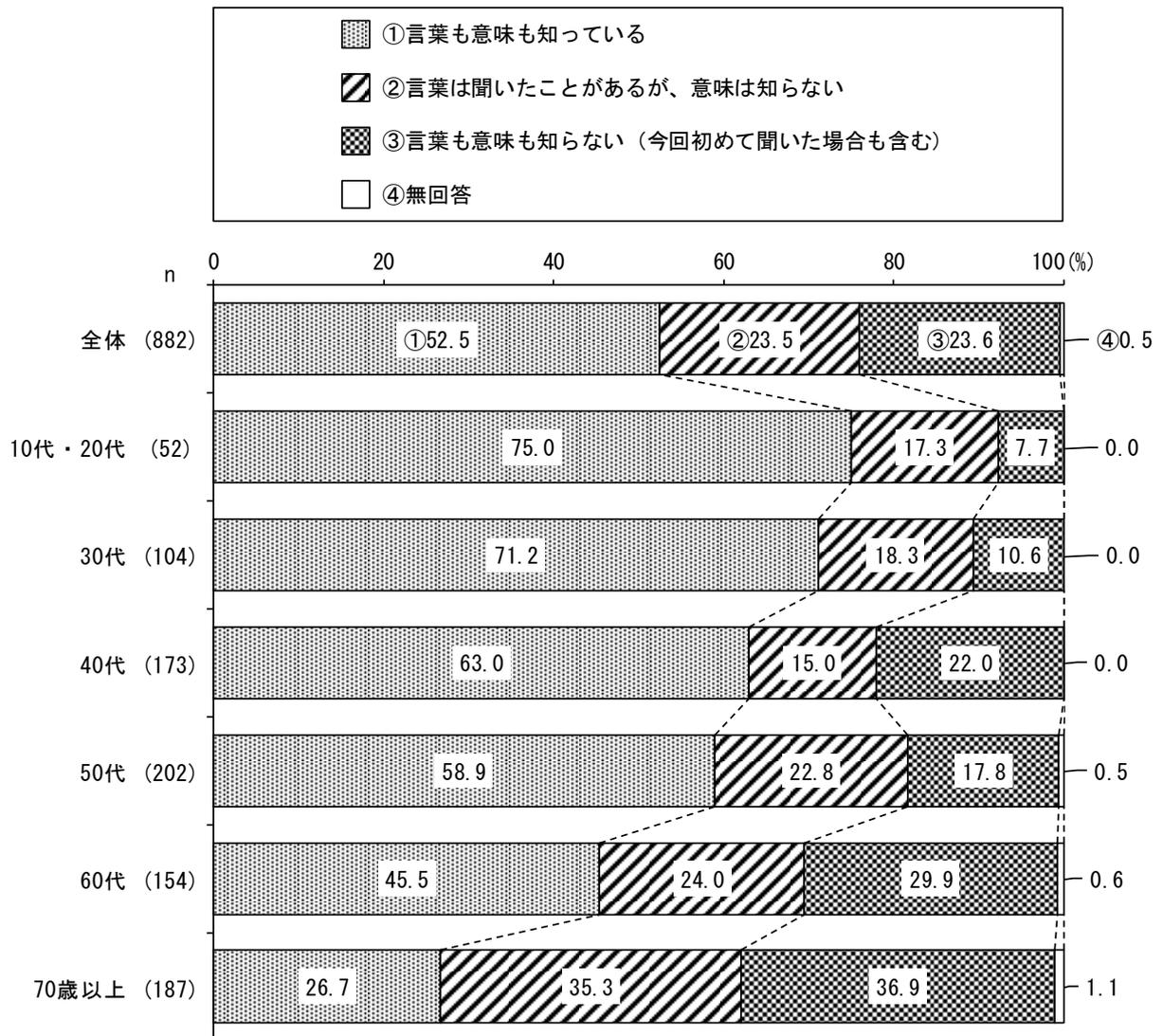
図4-1-1 ユニバーサルデザインの認知状況  
（経年推移）



ユニバーサルデザインの認知状況は、「言葉も意味も知っている」（52.5%）が5割強、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」（23.5%）が2割台半ば近く、「言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合も含む）」（23.6%）も2割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果（令和6年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「言葉も意味も知っている」は、令和6年度（58.4%）から令和7年度（52.5%）にかけて5.9ポイント低くなっている。（図4-1-1）

図4-1-2 ユニバーサルデザインの認知状況  
(年代別)



年代別で見ると、「言葉も意味も知っている」は70歳以上(26.7%)が2割台半ばを超え、全体(52.5%)を25.8ポイント下回っている。(図4-1-2)

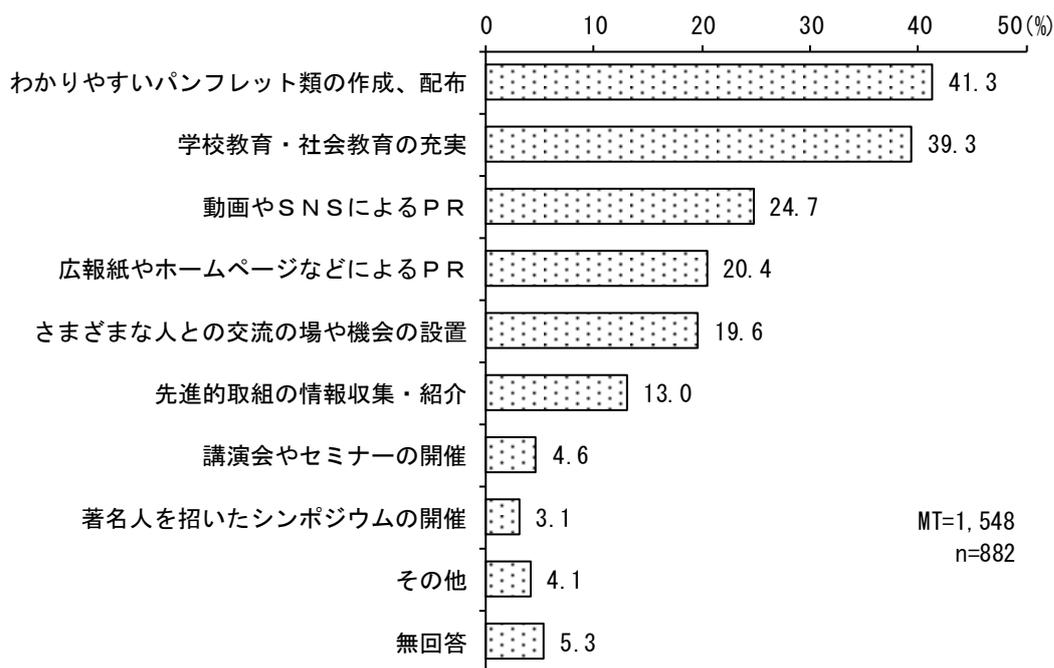
II 調査の結果（テーマ4 ユニバーサルデザインについて）

（2）ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの

◎「わかりやすいパンフレット類の作成、配布」が4割強

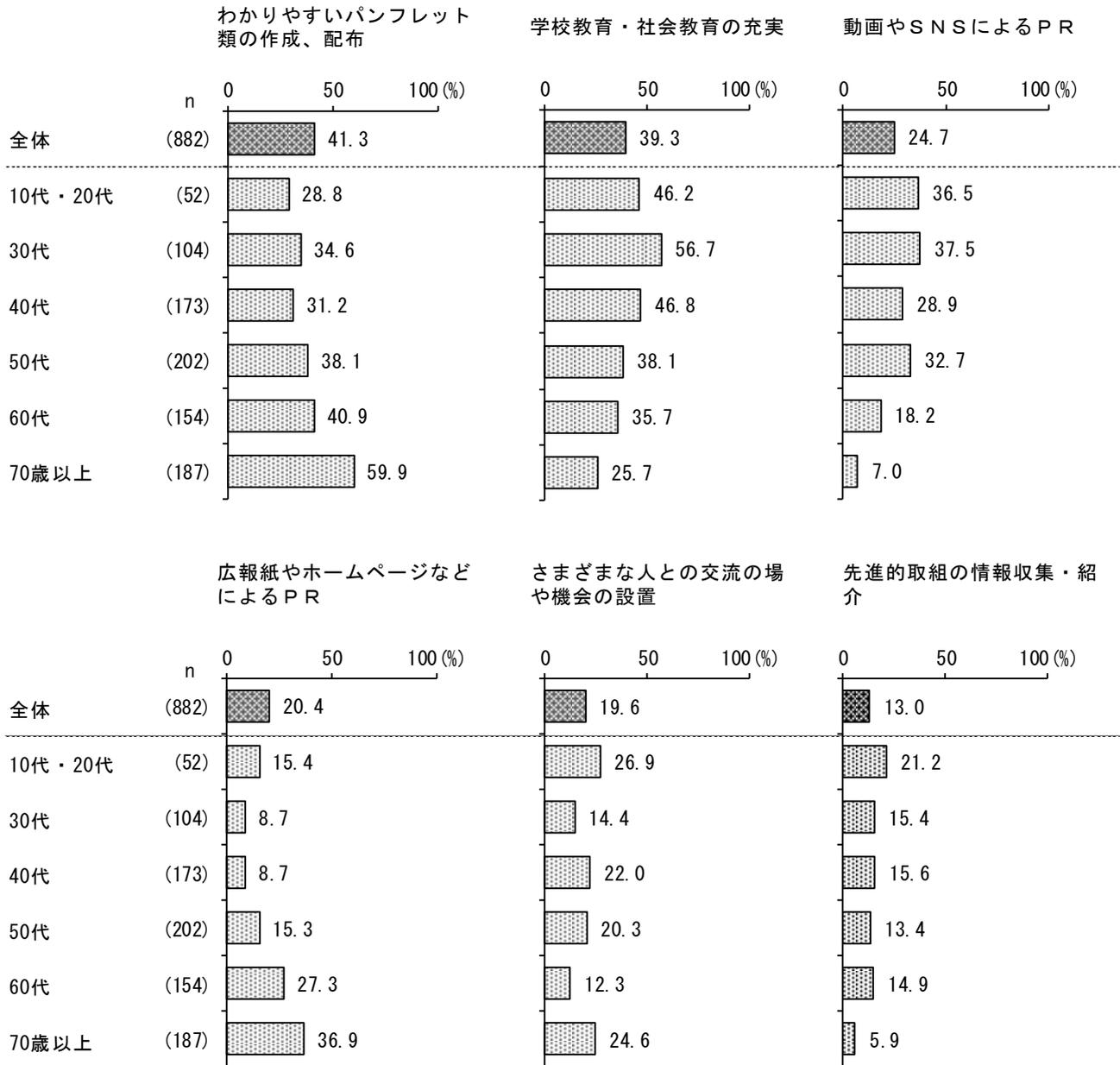
問23 ユニバーサルデザインについて、あなたが重要だと思うものは何ですか。 (あてはまるものに2つまで○をつけてください)		(n=882)
1	わかりやすいパンフレット類の作成、配布	41.3%
2	講演会やセミナーの開催	4.6
3	学校教育・社会教育の充実	39.3
4	先進的取組の情報収集・紹介	13.0
5	さまざまな人との交流の場や機会の設置	19.6
6	広報紙やホームページなどによるPR	20.4
7	動画やSNSによるPR	24.7
8	著名人を招いたシンポジウムの開催	3.1
9	その他	4.1
	無回答	5.3

図4-2-1 ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの



ユニバーサルデザインについて、重要だと思うものは、「わかりやすいパンフレット類の作成、配布」(41.3%)が4割強、次いで「学校教育・社会教育の充実」(39.3%)が4割弱で続いている。(図4-2-1)

図4-2-2 ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの  
(年代別) 上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「動画やSNSによるPR」は70歳以上(7.0%)が1割未満と、全体(24.7%)を17.7ポイント下回っている。また、「広報紙やホームページなどによるPR」は、10代・20代を除き年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。(図4-2-2)

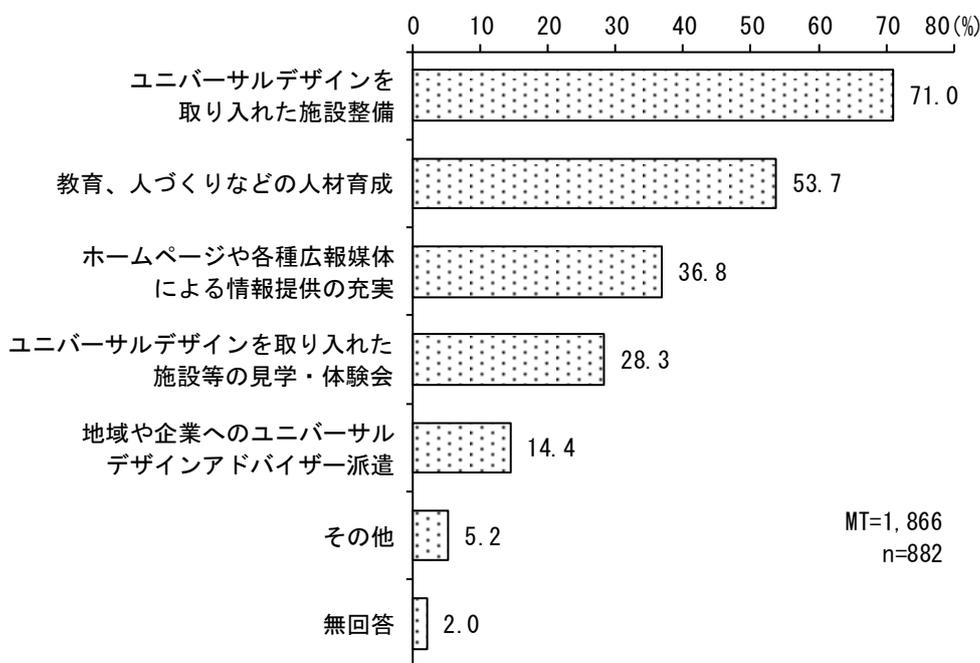
II 調査の結果（テーマ4 ユニバーサルデザインについて）

（3）ユニバーサルデザインについて区に期待すること

◎「ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備」が7割強

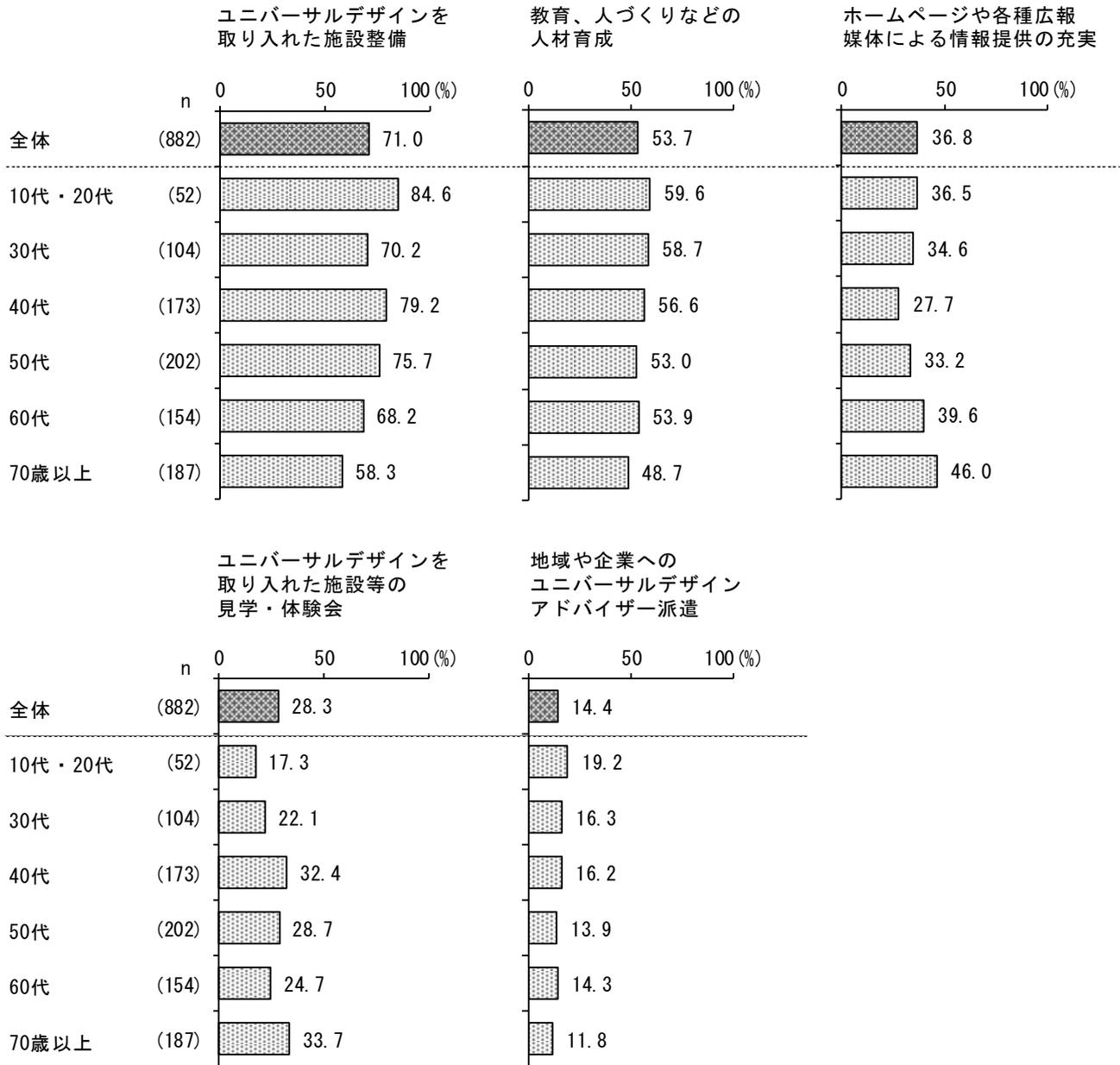
問24 ユニバーサルデザインについて、あなたが区に期待することは何ですか。 (あてはまるものに3つまで○をつけてください)		(n=882)
1 ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備		71.0%
2 教育、人づくりなどの人材育成		53.7
3 ホームページや各種広報媒体による情報提供の充実		36.8
4 ユニバーサルデザインを取り入れた施設等の見学・体験会		28.3
5 地域や企業へのユニバーサルデザインアドバイザー派遣		14.4
6 その他		5.2
無回答		2.0

図4-3-1 ユニバーサルデザインについて区に期待すること



ユニバーサルデザインについて区に期待することは、「ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備」(71.0%)が7割強と最も高く、次いで「教育、人づくりなどの人材育成」(53.7%)が5割台半ば近くと続いている。(図4-3-1)

図4-3-2 ユニバーサルデザインについて区に期待すること  
(年代別) 上位5項目



上位5項目について、年代別でみると、「ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備」は10代・20代(84.6%)が8割台半ば近くと、全体(71.0%)を13.6ポイント上回っている。また「ホームページや各種広報媒体による情報提供の充実」は70歳以上(46.0%)で4割台半ばを超え、全体(36.8%)を9.2ポイント上回っている。(図4-3-2)

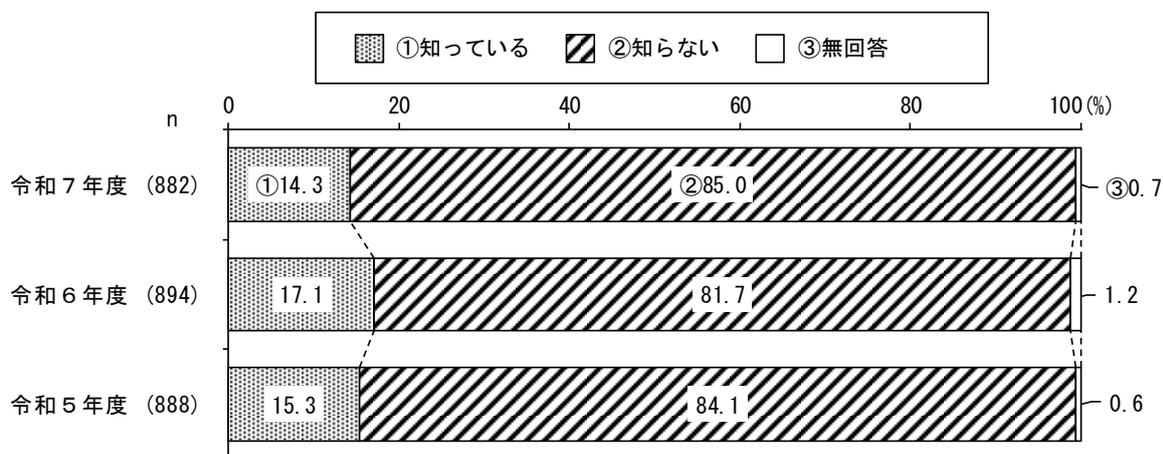
## テーマ5 区へのお問い合わせについて

### （1）「しんじゅくコール」の認知度

◎「知らない」が8割台半ば

問25 あなたは、「しんじゅくコール」（新宿区コールセンター☎3209-9999）を知っていますか。（〇は1つ）		(n=882)
1	知っている	14.3%
2	知らない	85.0
	無回答	0.7

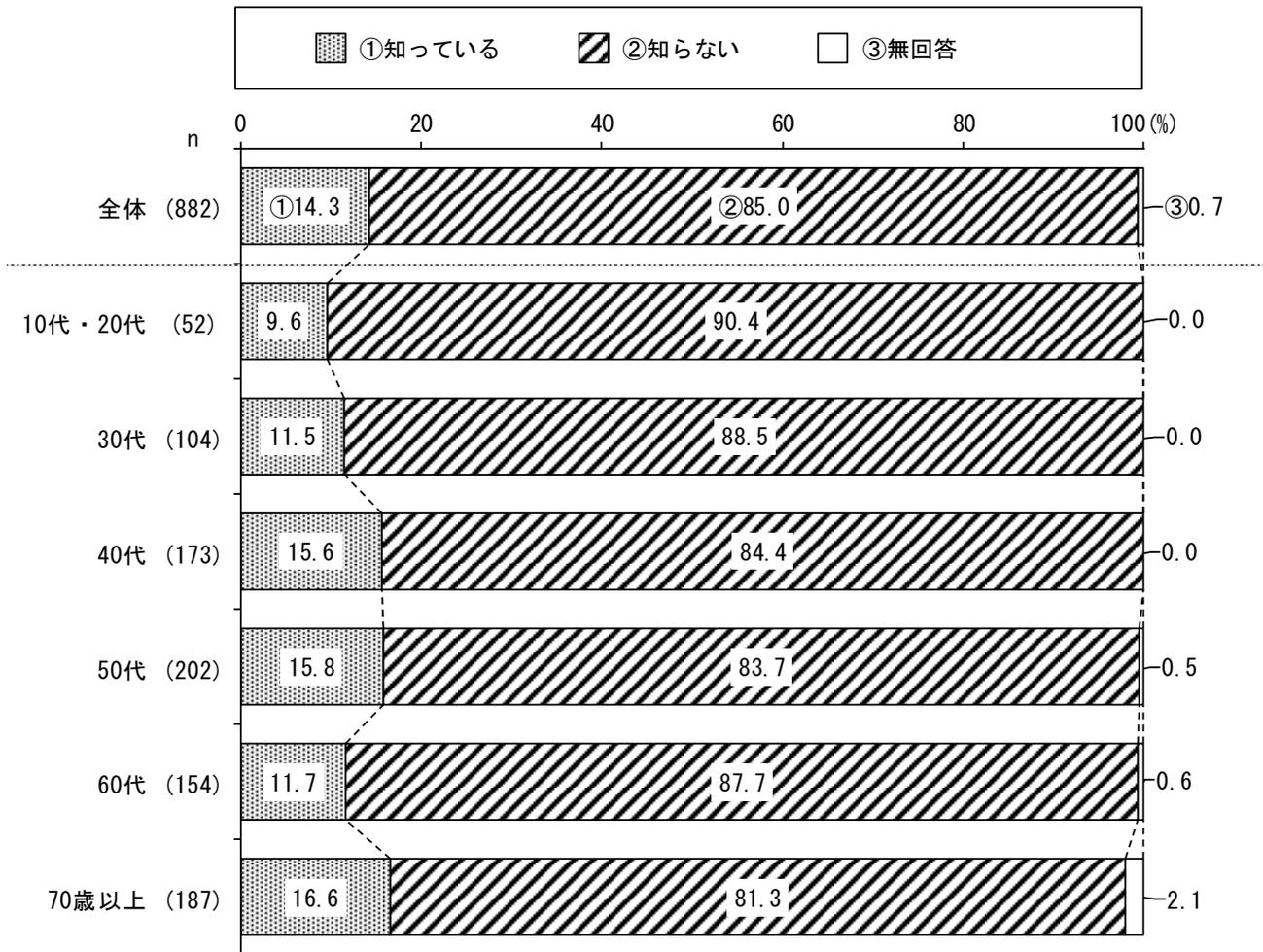
図5-1-1 「しんじゅくコール」の認知度  
（経年推移）



「しんじゅくコール」の認知度は、「知っている」（14.3%）が1割台半ば近く、「知らない」（85.0%）が8割台半ばとなっている。

過去3年間の経年推移をみると、「知らない」では、令和5年度（84.1%）から令和6年度（81.7%）にかけて2.4ポイント低くなっているものの、令和6年度（81.7%）から令和7年度（85.0%）にかけて3.3ポイント高くなっている。（図5-1-1）

図5-1-2 「しんじゅくコール」の認知度  
(年代別)



年代別で見ると、「知らない」では10代・20代(90.4%)が約9割と、全体(85.0%)を5.4ポイント上回っている。(図5-1-2)

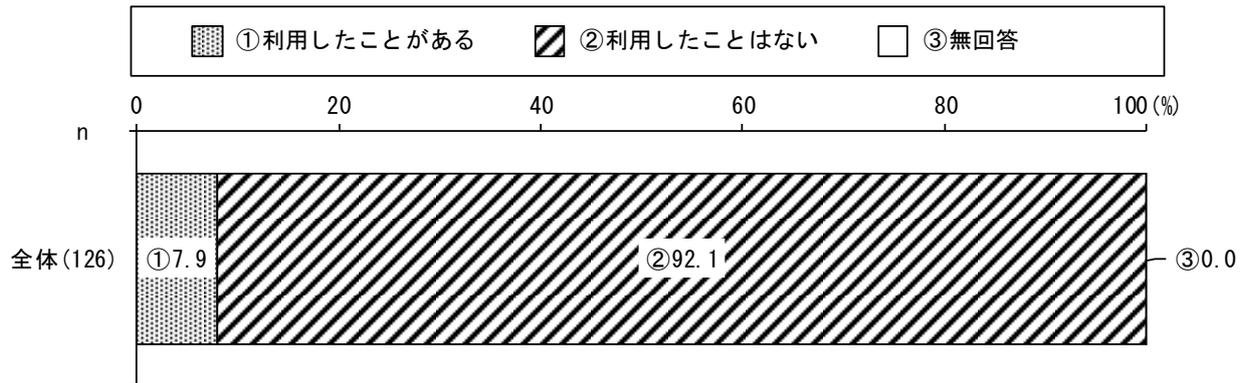
## II 調査の結果（テーマ5 区へのお問い合わせについて）

### （2）「しんじゅくコール」利用の有無

◎「利用したことはない」が9割強

問25-1 問25で、「1」に○をした方にお伺いします。	
「しんじゅくコール」を利用したことはありますか。（○は1つ）	
	(n=126)
1 利用したことがある	7.9%
2 利用したことはない	92.1
無回答	0.0

図5-2 「しんじゅくコール」利用の有無

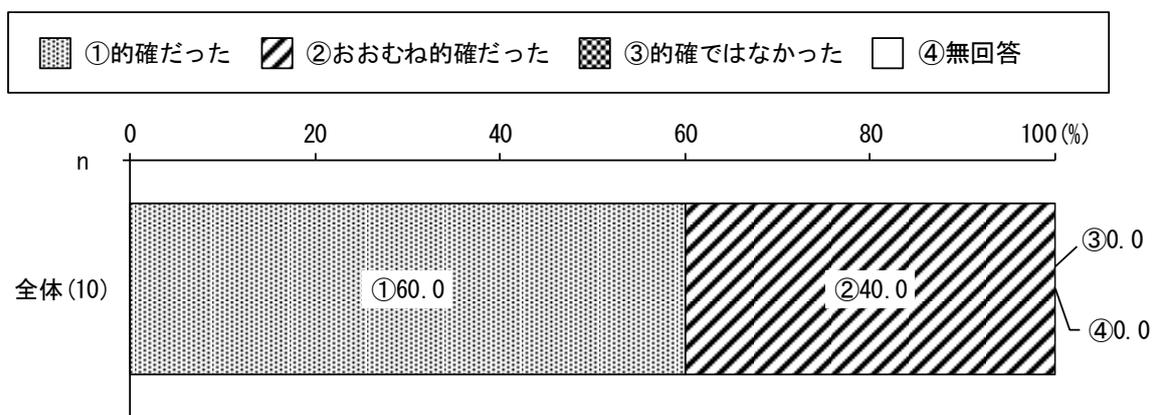


「しんじゅくコール」利用の有無は、「利用したことはない」（92.1%）が9割強となっている。（図5-2）

(3) オペレーターの案内について

問25-2 問25-1で、「1」に○をした方にお伺いします。		
オペレーターの案内は的確でしたか。(○は1つ)		(n=10)
1	的確だった	60.0%
2	おおむね的確だった	40.0
3	的確ではなかった	0.0
	無回答	0.0

図5-3-1 オペレーターの案内について



※この設問の回答者は無回答を含め10人と少なく、極端な結果になりやすいため参考値とする。

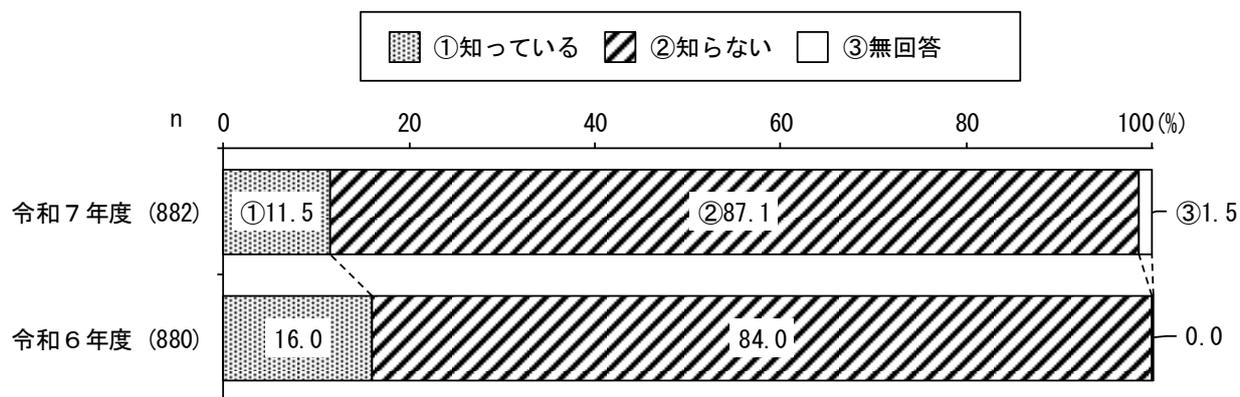
## II 調査の結果（テーマ5 区へのお問い合わせについて）

### （4）「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の認知度

◎「知らない」が8割台半ば超え

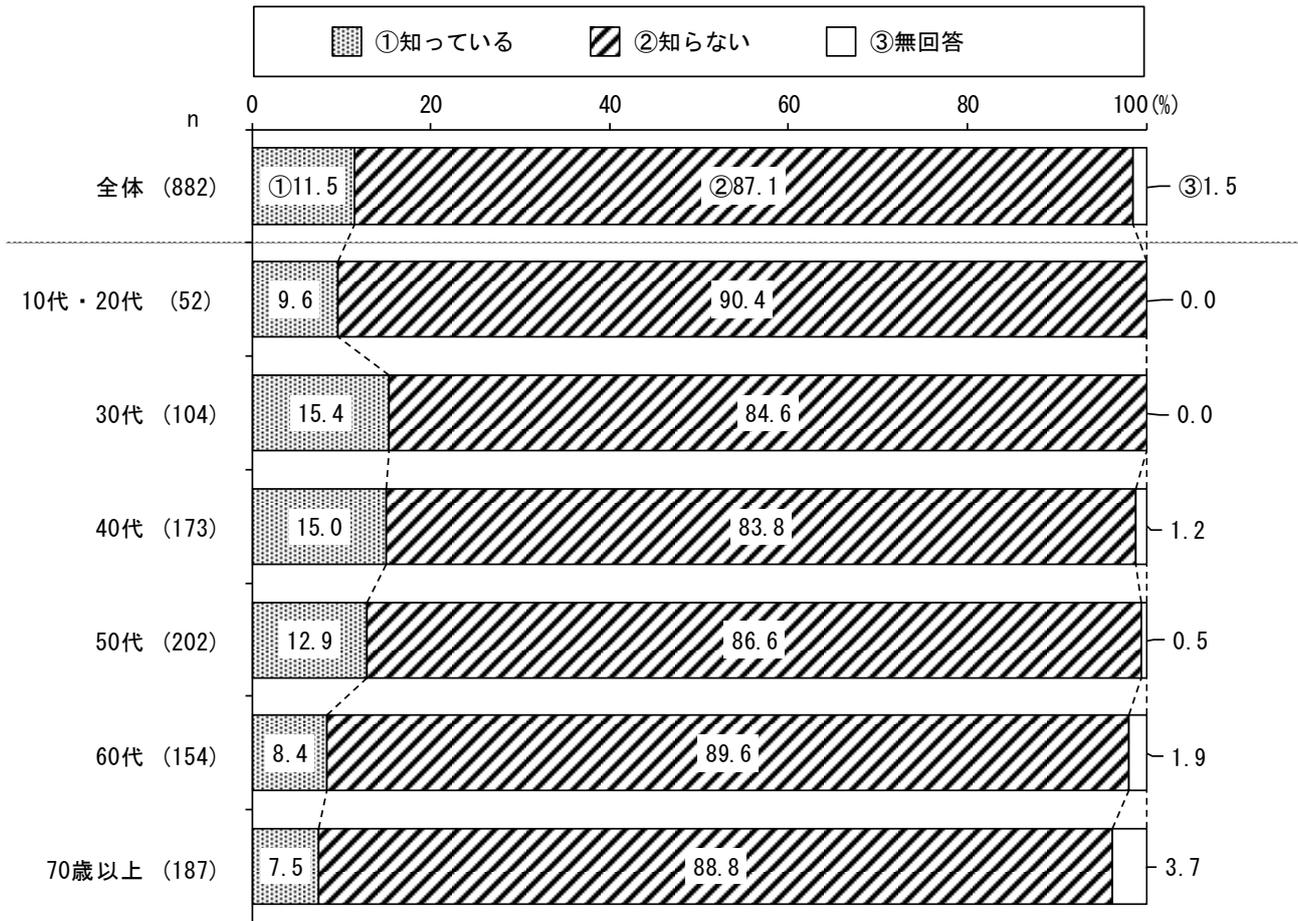
問26 あなたは、新宿区総合案内用 AI チャットボットを知っていますか。（○は1つ）		(n=882)
1	知っている	11.5%
2	知らない	87.1%
	無回答	1.5%

図5-4-1 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の認知度  
（経年推移）



「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の認知度は、「知っている」(11.5%)が1割強、「知らない」(87.1%)が8割台半ばを超えている。(図5-4-1)

図5-4-2 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の認知度  
(年代別)



年代別でみると、「知っている」は30代（15.4%）が1割台半ば近くと、全体（11.5%）を3.9ポイント上回っており、40代（15.0%）も1割台半ばと、全体（11.5%）を3.5ポイント上回っている。（図5-4-2）

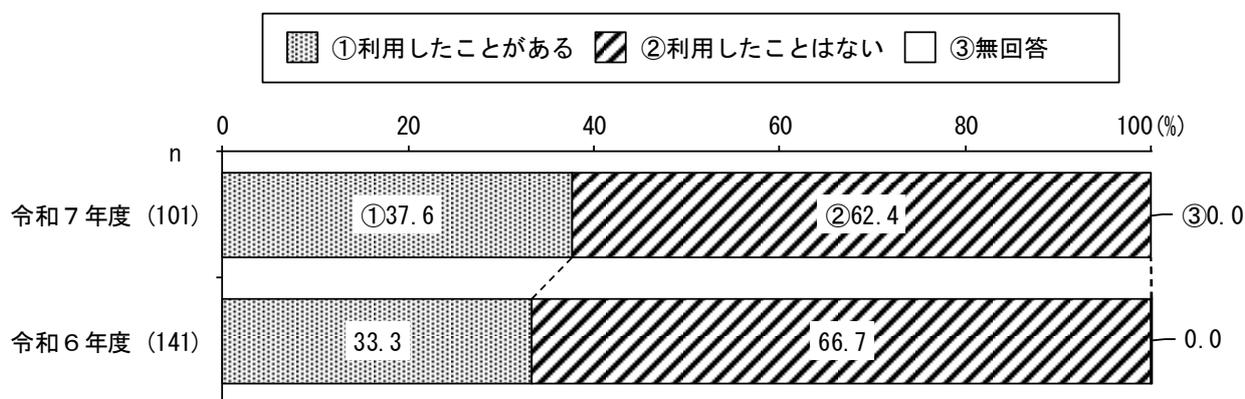
Ⅱ 調査の結果（テーマ5 区へのお問い合わせについて）

（5）「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用経験の有無

◎「利用したことはない」が6割強

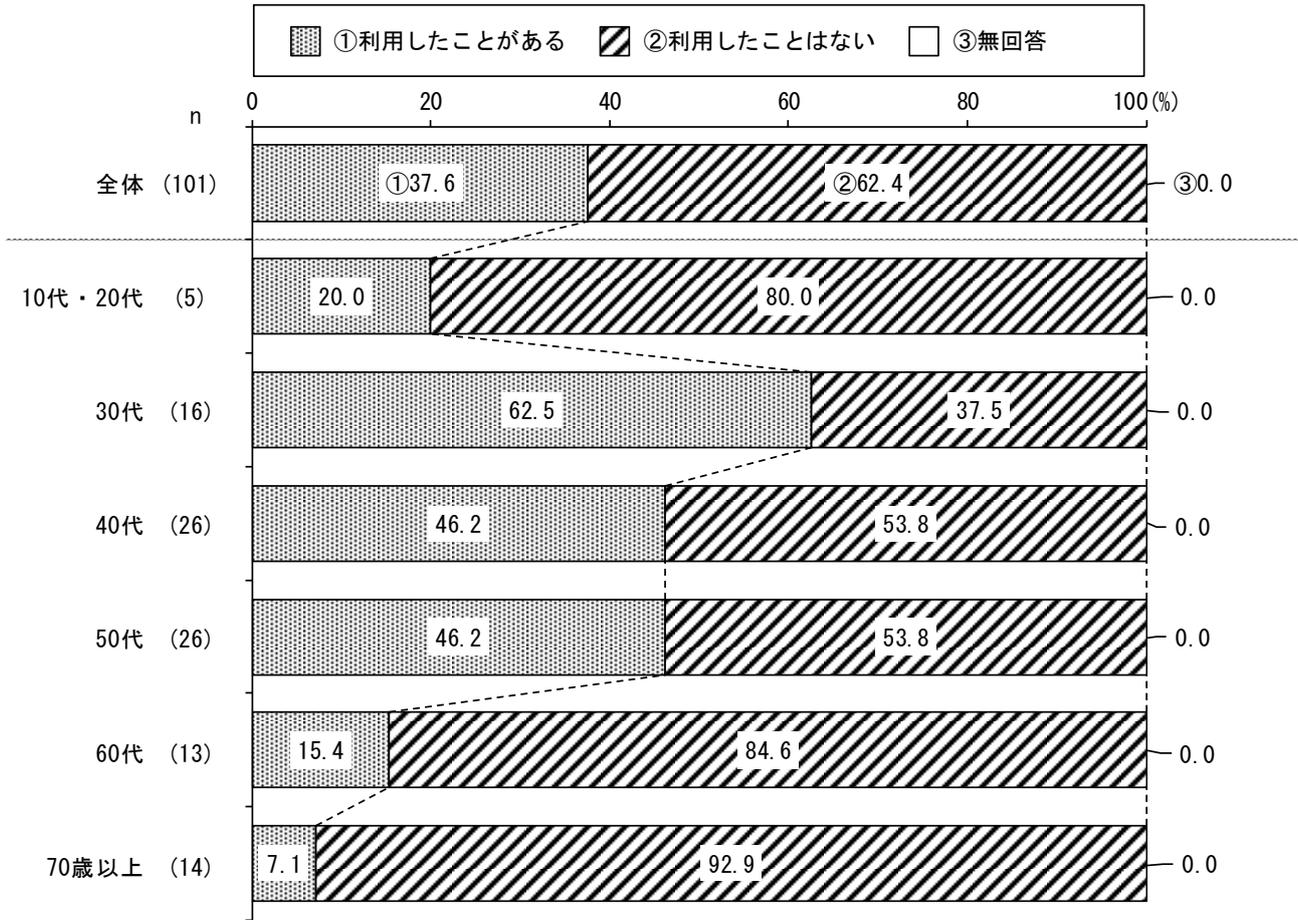
問26-1 問26で「1」に○をした方にお伺いします。		
新宿区総合案内用 AI チャットボットを利用したことはありますか。（○は1つ）		(n=101)
1	利用したことがある	37.6%
2	利用したことはない	62.4
	無回答	0.0

図5-5-1 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用経験の有無  
（経年推移）



「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用経験の有無は、「利用したことがある」(37.6%)が3割台半ばを超え、「利用したことはない」(62.4%)が6割強となっている。(図5-5-1)

図5-5-2 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用経験の有無  
(年代別)



年代別で見ると、「利用したことがある」は70歳以上(7.1%)が1割未満で、全体(37.6%)を30.5ポイント下回っている。一方、30代(62.5%)が6割強で、全体(37.6%)を24.9ポイント上回っている。(図5-5-2)

II 調査の結果（テーマ5 区へのお問い合わせについて）

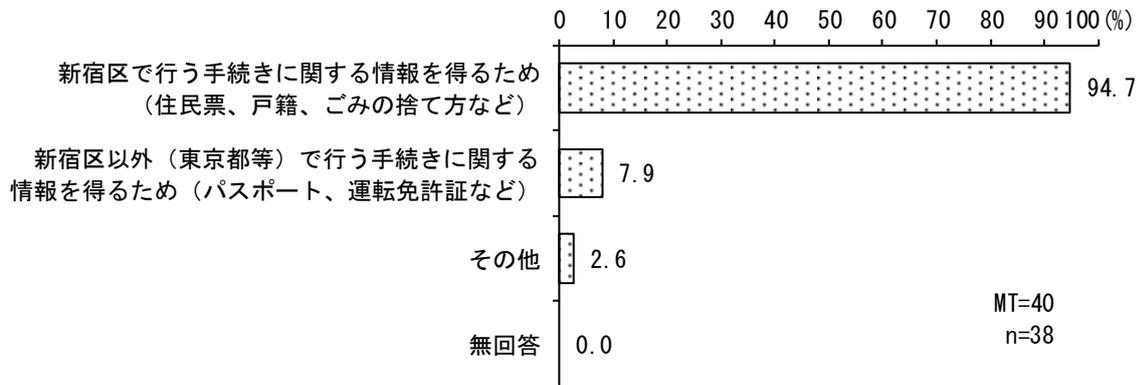
（6）「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用目的

◎「新宿区で行う手続きに関する情報を得るため（住民票、戸籍、ごみの捨て方など）」が9割台半ば近く

問26-2 問26-1で「1」に○をした方にお伺いします。  
 新宿区総合案内用 AI チャットボットをどのような目的で利用しましたか。  
 （あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=38)
1 新宿区で行う手続きに関する情報を得るため（住民票、戸籍、ごみの捨て方など）	94.7%
2 新宿区以外（東京都等）で行う手続きに関する情報を得るため（パスポート、運転免許証など）	7.9
3 その他	2.6
無回答	0.0

図5-6 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用目的



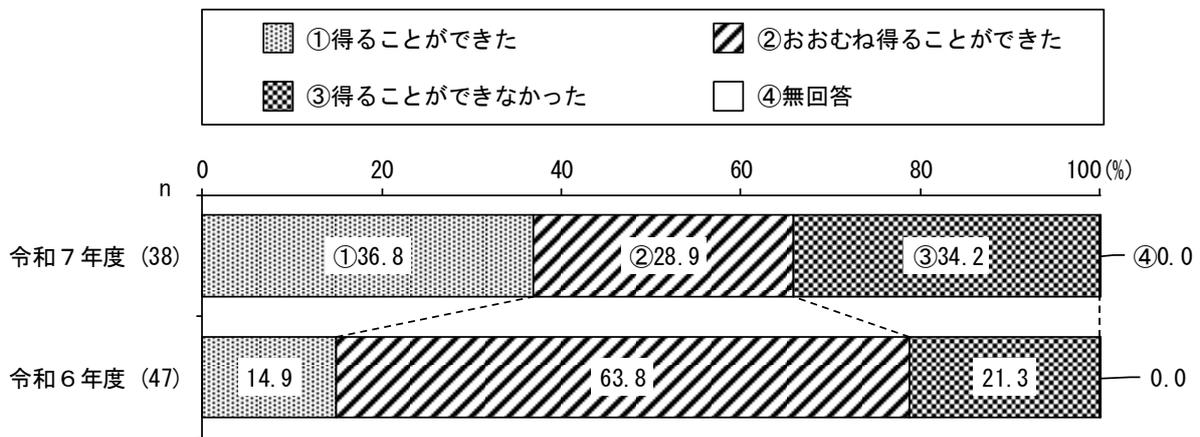
「新宿区総合案内用 AI チャットボット」の利用目的は、「新宿区で行う手続きに関する情報を得るため（住民票、戸籍、ごみの捨て方など）」（94.7%）が9割台半ば近くで最も高く、次いで「新宿区以外（東京都等）で行う手続きに関する情報を得るため（パスポート、運転免許証など）」（7.9%）が1割未満となっている。（図5-6）

(7) 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」による必要な情報の取得について

◎ 「得ることができた」が3割台半ば超え

問26-3 問26-1で「1」に○をした方にお伺いします。		
新宿区総合案内用 AI チャットボットを利用して必要な情報を得ることができましたか。		(n=38)
1	得ることができた	36.8%
2	おおむね得ることができた	28.9%
3	得ることができなかった	34.2%
	無回答	0.0%

図5-7 「新宿区総合案内用 AI チャットボット」による必要な情報の取得について (経年推移)



「新宿区総合案内用 AI チャットボット」による必要な情報の取得については、「得ることができた」(36.8%)が3割台半ばを超え、「おおむね得ることができた」(28.9%)が3割近く、「得ることができなかった」(34.2%)が3割台半ば近くとなっている。(図5-7)

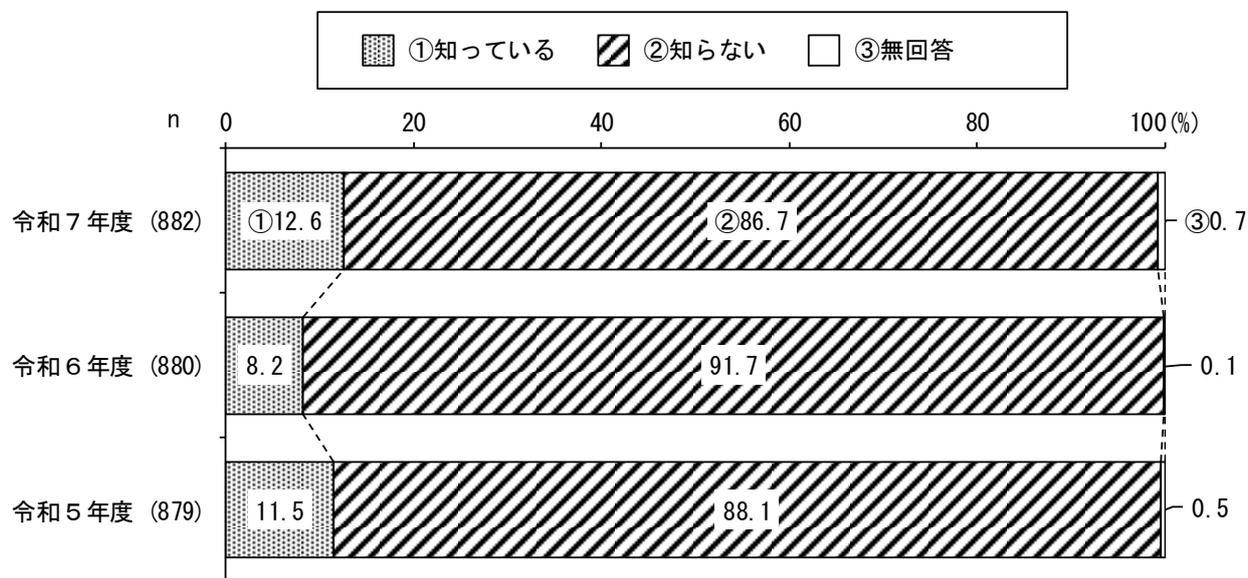
## テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について

### （1）「新宿区区民の声委員会」の認知度

◎「知らない」が8割台半ば超え

問27 あなたは、苦情の申し立てをできる、相談できる制度として「区民の声委員会」が、区にあることを知っていますか。（○は1つ）		(n=882)
1	知っている	12.6%
2	知らない	86.7
	無回答	0.7

図6-1 「新宿区区民の声委員会」の認知度  
(経年推移)



「新宿区区民の声委員会」の認知度は、「知っている」(12.6%)が1割強で、「知らない」(86.7%)が8割台半ばを超えている。

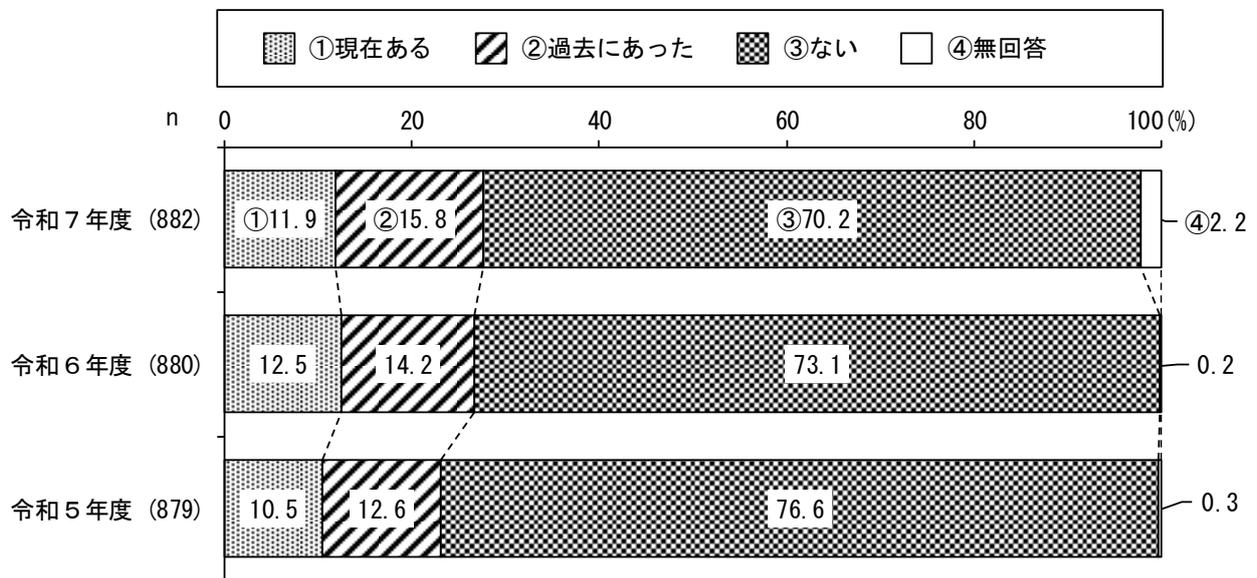
前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知らない」は、令和6年度(91.7%)から令和7年度(86.7%)にかけて5.0ポイント低くなっている。(図6-1)

(2) 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無

◎新宿区区民の声委員会に相談したい案件は「ない」が約7割

問28 あなたは、苦情処理機関「区民の声委員会」を利用したいと思うことがありますか。		(n=882)
(○は1つ)		
1	現在ある	11.9%
2	過去にあった	15.8
3	ない	70.2
	無回答	2.2

図6-2 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無  
(経年推移)



「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無は、「ない」(70.2%)が約7割となっている。一方、「過去にあった」(15.8%)が1割台半ば、「現在ある」(11.9%)が1割強となっている。

前回の調査結果(令和6年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「ない」は、令和6年度(73.1%)から令和7年度(70.2%)にかけて2.9ポイント低くなっている。(図6-2)

## Ⅲ 資料（調査票）

# 令和7年度 新宿区区政モニターアンケート 第3回

返送時の紙折りの位置

- テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について
- テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて
- テーマ3 健康づくりについて
- テーマ4 ユニバーサルデザインについて
- テーマ5 区へのお問い合わせについて
- テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について

テーマ2・3・5・6に関する資料を同封しています。ご回答の前に一読ください。

### アンケートご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あてはまる番号に○印**をつけてください。設問によって、**1つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合**などがあります。問いの最後に“(○は1つ)”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。
2. **前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります。**  
(例：問1で、「1」に○をした方におたずねします、など)  
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。
3. 「その他」を選んだ場合には、( ) 内に具体的な回答をご記入ください。

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

**整理票を取り外さず、**

**令和7年10月15日（水）**までにご返送ください。

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先 新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係  
電話 03-5273-4065（直通）  
FAX 03-5272-5500



返送時の紙折りの位置

## テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について

新宿区は、地元商店街振興組合、町会、警察・消防をはじめとする関係行政機関、民間企業等と連携して、歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちへ再生する取組「歌舞伎町ルネッサンス」を推進しています。歌舞伎町ルネッサンスでは、路上清掃、客引き行為等の指導や防止パトロールなどを実施し、環境美化と安全・安心なまちづくりを進めるとともに、様々なイベントを開催し、賑わいづくりと文化の創造・発信にも取り組んでいます。

問1 歌舞伎町に行く主な目的は何ですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

- 1 買い物・ショッピング
- 2 映画・カラオケ等の娯楽
- 3 散策
- 4 遊技場（ゲームセンターなど）
- 5 仕事関係
- 6 飲食（主に昼間）
- 7 飲食（主に夜間）
- 8 歌舞伎町に行ったことがない
- 9 歌舞伎町に行ったことはあるが、最近は行っていない
- 10 その他（ ）

問2 あなたは今後、歌舞伎町へ行きたいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 行きたい
- 2 どちらかというに行きたい
- 3 どちらかというに行きたくない
- 4 行きたくない
- 5 わからない

問3 あなたは、「歌舞伎町ルネッサンス」の取組を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3 知らない

Ⅲ 資料（調査票）

問4 あなたの歌舞伎町の印象は、以前と比べて変わったと思いますか。

（ア～オそれぞれで、1～5に1つだけ○をつけてください）

	思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	思わない	わからない
ア イメージが向上した	1	2	3	4	5
イ 安全になった	1	2	3	4	5
ウ きれいになった	1	2	3	4	5
エ 文化の発信が盛んになった	1	2	3	4	5
オ 賑わいのあるまちになった	1	2	3	4	5

## テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて

新宿区は、四谷保健センター（四谷三栄町10番16号）内の「女性の健康支援センター」において、思春期から老年期までの女性のライフステージに応じた健康を支援する取組を行っています。

※女性の健康支援センターについては、同封のリーフレットをご覧ください。

質問内容は女性の健康づくりに関してですが、性別にかかわらずご回答ください。

問5 あなたは、四谷保健センター内にある「女性の健康支援センター」を知っていますか。  
(〇は1つ)

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問6 「女性の健康支援センター」で行っている女性の健康専門相談（※）について知っていますか。(〇は1つ)

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

(※) 女性の健康支援センターでは、産婦人科全般と更年期の専門相談を月1回、不妊の専門相談と不妊ピア・カウンセラーによる相談を隔月で実施しています。  
女性の産婦人科医師等が個別相談に応じます。  
新宿区在住の女性限定（不妊相談についてはパートナーも同席可）で、思春期から利用できます。  
（要予約）

問7 新宿区では、毎年10月の乳がん月間にあわせ、乳がん検診の受診勧奨や乳がんの正しい知識の普及啓発など下記の取組を行っています。  
あなたが知っているものは何ですか。  
(あてはまるものにいくつでも〇をつけてください)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 図書館の「図書貸出レシート」の裏面印刷               |
| 2 区有施設の女子トイレでの乳がんに関する普及啓発ステッカーの掲示   |
| 3 新宿駅東口の街路灯でのピンクリボンフラッグの掲出          |
| 4 区内大型ビジョン(ユニカビジョンなど)での乳がんに関する情報の放映 |
| 5 広報新宿での乳がん月間記事の掲載                  |
| 6 区の庁用車、清掃車で乳がんに関する普及啓発マグネットの掲示     |
| 7 どれも知らない                           |

### テーマ3 健康づくりについて

新宿区は、「新宿区健康づくり行動計画」を策定し、暮らしのなかで自然に健康づくりを实践でき、  
こころも身体も健康に暮らし続けられるまちをめざし、様々な取組を進めています。今回、健康づ  
くりへの意識をおたずねし、計画の進捗評価や今後の取組の参考にしたいと考えています。

問8 あなたは、1日に必要な野菜の摂取量（※）を知っていますか。（○は1つ）

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

（※）1日に必要な野菜の摂取量は、350gです。（直径10cmの小皿（小鉢）に5皿分）

問9 野菜料理を平均で1日何皿くらい食べていますか。（○は1つ）

（1皿の量は、約70g。直径10cmの小皿（小鉢）にきれいに入る程度です）

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 食べない | 4 3皿   |
| 2 1皿   | 5 4皿   |
| 3 2皿   | 6 5皿以上 |

問10 あなたは、主食（※1）、主菜（※2）、副菜（※3）の3つそろえて食べることが、1日  
に2回以上あるのは、週に何日ありますか。（○は1つ）

（※1）ごはん、パン、麺類など

（※2）魚、肉、卵、大豆製品などを使ったメイン料理

（※3）野菜、きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿等の料理

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 ほぼ毎日   | 3 週に2～3日 |
| 2 週に4～5日 | 4 ほとんどない |

問11 あなたは、1日合計30分以上の運動（軽く汗をかく程度以上の運動）を1週間でどれくらいしていますか。(〇は1つ)

1 週2日以上	→ 問11-1へ	3 ほとんどしていない
2 週2日未満		

問11-1 問11で、「1 週2日以上」に〇をした方にお伺いします。その運動をどれくらいの期間継続していますか。(〇は1つ)

1 1年以上	3 1か月以上6か月未満
2 6か月以上1年未満	4 1か月未満

問12 日常生活で体を動かす(※)ことについておたずねします。あなたは毎日どれくらい体を動かしていますか。(〇は1つ)

(※) ここでいう「体を動かす」とは、普通の歩行や犬の散歩、掃除、自転車に乗る、速歩などを言います。

(※) 「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」(厚生労働省)では、健康維持・増進のためには、日常生活で毎日体を動かすような生活をするのが推奨されています。18~64歳の方は毎日60分、65歳以上の方は毎日40分は体を動かすことで、生活習慣病予防や体力維持に効果があるとされています。

1 60分以上	4 ほとんど動くことはない
2 40分以上60分未満	5 わからない
3 20分以上40分未満	

問13 あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。(〇は1つ)

1 良い	4 あまり良くない
2 まあ良い	5 良くない
3 どちらともいえない	

Ⅲ 資料（調査票）

問14 あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、洋酒など）を飲みますか。（○は1つ）

1 毎日	5 月に1～3日	→ 問14-1へ
2 週に5～6日	6 ほとんど飲まない	
3 週に3～4日	7 やめた	
4 週に1～2日	8 飲まない（飲めない）	

問14-1 問14で、「1」～「6」に○をした方にお伺いします。お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。（○は1つ）

（※）清酒1合（180ml）は、次の量にほぼ相当します。

ビール・発泡酒中瓶1本（約500ml）、焼酎20度（135ml）、焼酎25度（110ml）、焼酎35度（80ml）、  
チューハイ7度（350ml）、ウイスキーダブル1杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）

1 1合（180ml）未満	4 3合以上4合（720ml）未満
2 1合以上2合（360ml）未満	5 4合以上5合（900ml）未満
3 2合以上3合（540ml）未満	6 5合（900ml）以上

問15 あなたは、たばこを吸いますか。（○は1つ）

1 毎日吸っている
2 時々吸う日がある
3 以前は吸っていたが1か月以上吸っていない
4 吸わない

問16 この1か月、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。（○は1つ）

1 十分にとれている	3 あまりとれていない
2 まあまあとれている	4 まったくとれていない



### Ⅲ 資料（調査票）

問 2 1 新宿区内には、がん患者とその家族等が住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう、相談窓口が開設されています。がんになった時に在宅で治療を受けながら生活していく際の相談先を知っていますか。

（知っているものにいくつでも○をつけてください）

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 病院の相談窓口（がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター）           |
| 2 | 在宅医療相談窓口                                  |
| 3 | がん療養相談窓口                                  |
| 4 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |
| 5 | 知らない                                      |

## テーマ4 ユニバーサルデザインについて

新宿区では、だれもが移動しやすく、利用しやすく、わかりやすいまちの実現のため、令和2年3月に「新宿区ユニバーサルデザインまちづくり条例」を制定しました。今後、さらにユニバーサルデザインを推進していくために、区民の皆様が現在感じている課題等を把握し、参考にしたいと考えています。

### 用語解説 ユニバーサルデザインとは

ユニバーサルデザインは、年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できるよう生活環境その他の環境を作り上げることです。

問22 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
- 3 言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合も含む）

問23 ユニバーサルデザインについて、あなたが重要だと思うものは何ですか。

(あてはまるものに2つまで〇をつけてください)

- 1 わかりやすいパンフレット類の作成、配布
- 2 講演会やセミナーの開催
- 3 学校教育・社会教育の充実
- 4 先進的取組の情報収集・紹介
- 5 さまざまな人との交流の場や機会の設置
- 6 広報紙やホームページなどによるPR
- 7 動画やSNSによるPR
- 8 著名人を招いたシンポジウムの開催
- 9 その他 ( )

問24 ユニバーサルデザインについて、あなたが区に期待することは何ですか。

(あてはまるものに3つまで〇をつけてください)

- 1 ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備
- 2 教育、人づくりなどの人材育成
- 3 ホームページや各種広報媒体による情報提供の充実
- 4 ユニバーサルデザインを取り入れた施設等の見学・体験会
- 5 地域や企業へのユニバーサルデザインアドバイザー派遣
- 6 その他 ( )

## テーマ5 区へのお問い合わせについて

新宿区では、区のサービス・手続き・施設のご案内などの簡易なお問い合わせに回答するコールセンター「しんじゅくコール」を設置し、午前8時から午後7時まで毎日運用しています（1/1～1/3を除く）。

また、区ホームページ及び区 LINE 公式アカウントで、区の手続きや制度に関するお問い合わせに AI（人工知能）が会話形式で自動回答する新宿区総合案内用 AI チャットボットを運用しています。

これらのサービスの利用状況等について伺い、今後の取組の参考にしたいと考えています。

※新宿区総合案内用 AI チャットボットについては、同封の資料をご覧ください。

問25 あなたは、「しんじゅくコール」（新宿区コールセンター☎3209-9999）を知っていますか。（○は1つ）

1 知っている → 問25-1へ      2 知らない

問25-1 問25で、「1」に○をした方にお伺いします。

「しんじゅくコール」を利用したことはありますか。（○は1つ）

1 利用したことがある → 問25-2へ      2 利用したことはない

問25-2 問25-1で、「1」に○をした方にお伺いします。

オペレーターの案内は的確でしたか。（○は1つ）

1 的確だった      2 おおむね的確だった      3 的確ではなかった

問26 あなたは、新宿区総合案内用AIチャットボット（同封資料参照）を知っていますか。(○は1つ)

<input checked="" type="checkbox"/> 1 知っている	→ 問26-1へ
<input type="checkbox"/> 2 知らない	

問26-1 問26で「1」に○をした方にお伺いします。

新宿区総合案内用AIチャットボットを利用したことはありますか(○は1つ)

<input checked="" type="checkbox"/> 1 利用したことがある	→ 問26-2、問26-3へ
<input type="checkbox"/> 2 利用したことはない	

問26-2 問26-1で「1」に○をした方にお伺いします。

新宿区総合案内用AIチャットボットをどのような目的で利用しましたか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

<input type="checkbox"/> 1 新宿区で行う手続きに関する情報を得るため(住民票、戸籍、ごみの捨て方など)
<input type="checkbox"/> 2 新宿区以外(東京都等)で行う手続きに関する情報を得るため(パスポート、運転免許証など)
<input type="checkbox"/> 3 その他 ( )

問26-3 問26-1で「1」に○をした方にお伺いします。

新宿区総合案内用AIチャットボットを利用して必要な情報を得ることができましたか。(○は1つ)

<input type="checkbox"/> 1 得ることができた
<input type="checkbox"/> 2 おおむね得ることができた
<input type="checkbox"/> 3 得ることができなかった

## テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について

新宿区は、区政に関する苦情を公正・中立な立場で処理する機関である区民の声委員会を設置しています。区民の声委員会とは、区民の方などから寄せられた区政に関する苦情を3人の委員が第三者的な立場から公正・中立に処理する機関です。例えば「受けられるはずのサービスが受けられなかった」「区には直接言いたくない」等のことについてご相談いただけます。

※「区民の声委員会」については、同封の資料をご覧ください。

問27 あなたは、苦情の申し立てをできる、相談できる制度として「区民の声委員会」が、区にあることを知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている

2 知らない

問28 あなたは、苦情処理機関「区民の声委員会」を利用したいと思うことがありますか。(〇は1つ)

1 現在ある

2 過去にあった

3 ない

—— 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ——

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、次ページ以降の回答者の属性もご記入ください。

※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはございません。

## 回答者の属性

問ア あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（〇は1つ）

1 四谷	6 戸塚
2 簗笥町	7 落合第一
3 榎町	8 落合第二
4 若松町	9 柏木
5 大久保	10 角筈・区役所

問イ 性別をお答えください。（〇は1つ）

1 男性	2 女性	3 ( )
------	------	-------

問ウ あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（〇は1つ）

1 18～19歳	8 50～54歳
2 20～24歳	9 55～59歳
3 25～29歳	10 60～64歳
4 30～34歳	11 65～69歳
5 35～39歳	12 70～74歳
6 40～44歳	13 75～79歳
7 45～49歳	14 80歳以上

問エ あなたのご職業を、次の中からお選びください。（〇は1つ）

<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;">                 1 会社員・団体職員                  2 会社役員・団体役員                  3 パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など                  4 自営業、自由業（開業医、弁護士、司法書士なども含む）                  5 学生             </div>	→ 問エー1へ
6 専業主婦・主夫	
7 無職	
8 その他 ( )	

問エー1 問エで、「1」～「5」に〇をした方にお伺いします。現在のあなたの職場・学校はどこにありますか。（〇は1つ）

1 新宿区内	2 新宿区外
--------	--------



問キ 現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

一戸建て	集合住宅
1 持ち家の一戸建て	5 分譲マンション・アパート (自己所有のものを含む)
2 賃貸の一戸建て	6 賃貸マンション・アパート
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	7 賃貸のUR都市機構(旧公団) ・公社のマンション・アパート
4 その他 ( )	8 賃貸の都営・区営住宅
	9 社宅・公務員官舎
	10 その他 ( )

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

**整理票を取り外さず、**

**10月15日(水) までにご返送ください。**

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065 (直通)

FAX 03-5272-5500



## 令和7年度第3回新宿区区政モニターアンケート

令和8年1月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町1-4-1

電話(03)5273-4065(直通)

刊行物作成番号

2025-21-2106

この刊行物は、業者委託により100部印刷製本しています。その経費として、1部あたり935円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。